Canon

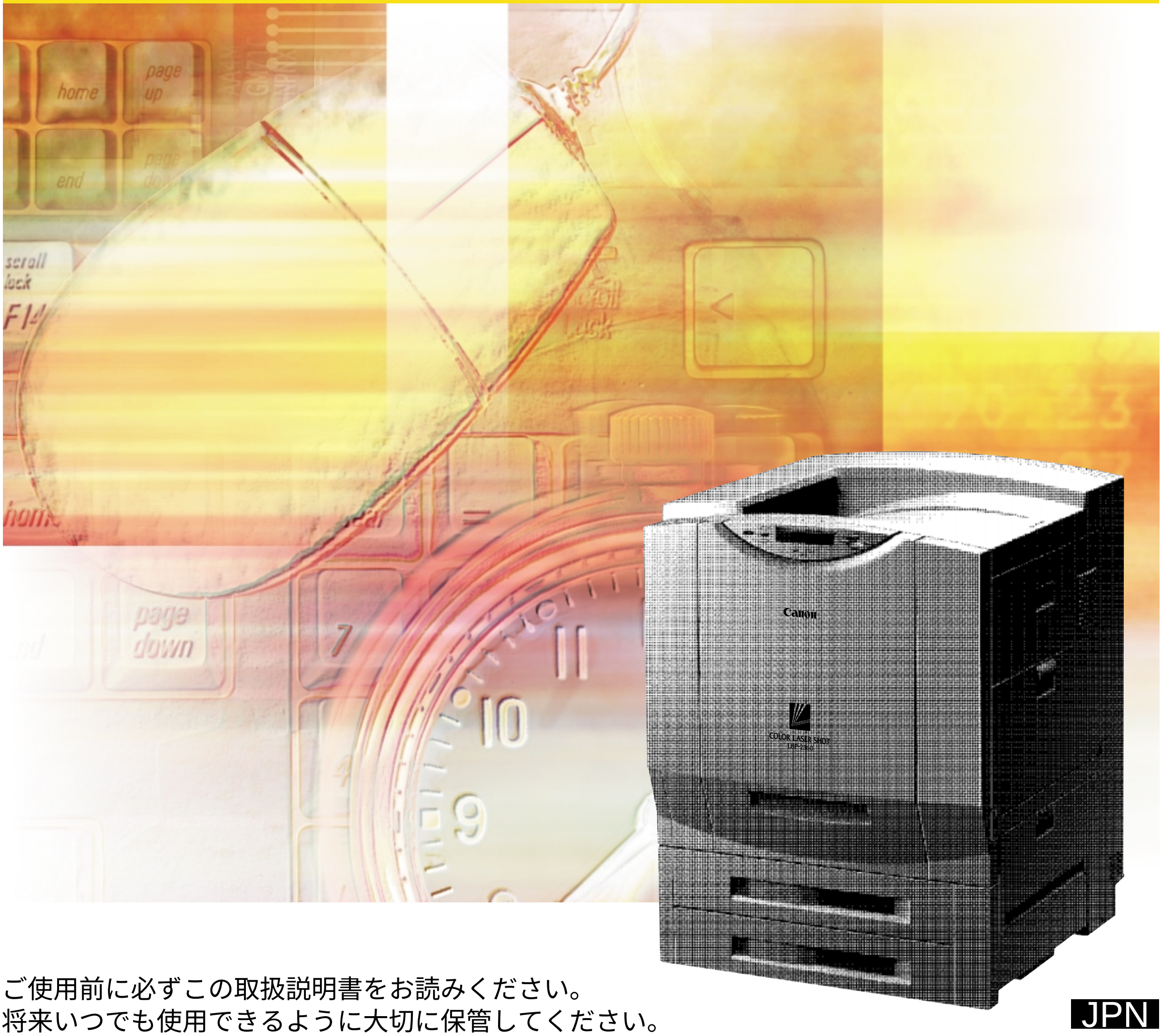
COLOR
LASER
SHOT

カラーレーザビームプリンタ

COLOR LASER SHOT

LBP-2360/2300

ＬＩＰＳ機能ガイド



ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

マニュアルの構成について

キヤノン　COLOR LASER SHOT LBP-2360/2300をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本プリンタには、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本プリンタを十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も大切に保管しておいてください。

本体添付のマニュアル

- プリンタを設置したい → **設置ガイド**
- パソコンと接続したい → **設置ガイド**



- プリンタの基本的な使いかたを知りたい → **ユーザーズガイド**
- 困ったときには → **ユーザーズガイド**



- プリンタドライバをインストールしたい → **LIPSソフトウェアガイド**
- 印刷したい → **LIPSソフトウェアガイド**



- ネットワークと接続して使いたい → **ネットワークガイド（LBP-2360のみ）**



- より詳しく知りたい → **LIPS機能ガイド（本書）**
  操作パネルによるメニュー機能の使いかたなどを解説しています。
  プリンタが持つ機能に関するリファレンス的なマニュアルです。



- Webブラウザからプリンタを操作・設定したい → **リモートUIガイド（LBP-2360のみ）**
  Webブラウザによるメニュー機能の設定方法などを解説しています。
  付属のCD-ROMにPDFファイルで収録されています。



＊上記はLBP-2360の表紙例です。

その他のマニュアル

＊別売のマニュアルやオプション品のお求めについては販売店にご相談ください。

- LIPS対応のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。 → **プログラマーズマニュアル（別売）**
- オプション品に付属されております取扱説明書は、本プリンタ専用には記載されておりません。オプション品を本プリンタと併せてご使用になる場合は、本プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。 → **オプション品に付属のマニュアル**

●本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

●本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

LIPS 機能ガイドの使いかた

本書は本プリンタの操作パネルを使ってできる設定内容や操作のしかたについて説明しています。お使いになるパソコンやアプリケーションソフトによって本プリンタの環境設定を変える場合などに、必要に応じてお読みください。

第1章　メニュー機能の使いかた

プリンタの操作パネルに表示されるメニューの機能と種類、操作キーの使いかた、ディスプレイの見かたについて説明しています。

第2章　メニューの機能と操作

メニューの構造とプリンタの操作パネルでプリント環境を設定する方法について説明しています。

第3章　共通セットアップメニューの設定項目

共通セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明しています。

第4章　LIPS専用セットアップメニューの設定項目

LIPSモードに固有のLIPS専用セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明しています。

第5章　ESC/P専用セットアップメニューの設定項目

ESC/Pモードに固有のESC/P専用セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明しています。

第6章　セットアップ以外のメニューの設定項目

セットアップメニュー以外のメニューで設定できる項目の内容について説明しています。

付　録

動作モードメニュー、ユーティリティメニューから出力できるリストの内容などについて説明しています。

- 本マニュアルの巻末に、各機能のメニューが一目で理解できる「メニュールートマップ」が添付されています。各メニューの設定項目や内容を知りたいときに参考にしてください。
- 本製品に付属のソフトウェア「NetSpot」を使い、パソコンからリモートでプリンタを設定する場合は、添付の「LIPSソフトウェアガイド」もお読みください。

目次

第３章　共通セットアップメニューの設定項目

第４章　LIPS専用セットアップメニューの設定項目

第５章　ESC/P専用セットアップメニューの設定項目

第６章　セットアップ以外のメニューの設定項目

付録

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作するうえでの制限や参考にしていただきたい事の説明には、次のようなマークを付けています。

お願い
- **操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。**

メモ
- **操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。**

キーの表記について

本書の説明文中で、操作パネルのキーを表すときは、キーの名称を（　　）の枠で囲んでいます。

例)（オンライン）：操作パネルの「オンライン」キーを表しています。

イラストについて

本書の説明文中では、LBP-2360のイラストを例に説明しています。イラストがご使用の機械と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。HDDランプはLBP-2300にはありません。

略称について

EUCは、Extended Unix Codeの略称です。
本書ではMicrosoft® Windows®をWindowsと表記しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

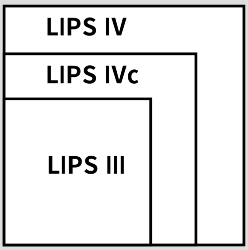
本プリンタが対応しているコントロールコマンドについて

● LIPS コントロールコマンドに標準対応

本プリンタは標準で LIPS コントロールコマンドに対応しています。
コントロールコマンドとは、プリンタを制御するためのコマンド体系のことで、パソコンからのデータをプリントするという一連の作業は、すべてパソコンから送られてくるコントロールコマンドによって指示されています。

本プリンタが標準で対応しているコントロールコマンドLIPSは、LBP Image Processing System の略で、キヤノンのページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。
ESC/Pエミュレーションコマンドは ESC/P 準拠プリンタをエミュレートする（まねをする）コマンドです。

LIPS には、現在 LIPS II、LIPS II$^+$、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IV のバージョンがあります。これらのうち本プリンタでは、LIPS II$^+$、LIPS III、LIPS IV に対応しています。



＊LIPS II$^+$ 対応アプリケーションソフトを使用する場合、従来のレーザショットシリーズで行ったプリントとは解像度が異なります。
＊LIPS IVc 対応アプリケーションソフトからも本プリンタでプリントすることができますが、解像度の違いにより、プリント結果の見た目も異なります。

＊本プリンタを IBM5577、HP-GL などの標準プリンタとしてエミュレートさせることもできます。この場合、オプションのコントロール ROM が必要です。

●コントロールコマンドごとの動作モード

それぞれのコントロールコマンドを認識してプリントできる状態にするには、「動作モード」を各コントロールコマンドに対応させる必要があります。LIPSのコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「LIPSモード」、ESC/Pのコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「ESC/P エミュレーションモード」に切り替えます。
本プリンタでは、操作パネルの動作モードメニューで動作モードを切り替えたり、プリントするときの環境を設定することができます。
詳しくは第 6 章「動作モードメニューの設定項目」（→ P.102）をご覧ください。

第 1 章

メニュー機能の使いかた

1 メニュー機能

メニュー機能とは

プリント時には、プリント枚数や用紙サイズなどを設定します。これらの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタドライバで行います。
しかし、本プリンタには、プリント枚数や用紙サイズ設定などのほかにも多数の設定項目が用意されており、多様な用途に応じてプリントできます。本プリンタの設定項目の中には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できないものもあり、その場合は「メニュー機能」で設定します。
メニュー機能では、多数の設定項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。
メニュー機能を設定する方法には次の3種類があります。

●プリンタ前面の操作パネルで設定する方法
　→プリンタのディスプレイの表示を見ながらキーを押して操作します。

●本プリンタに付属のソフトウェア、「NetSpot」で設定する方法
　→操作パネルで行う設定とほぼ同様の設定が、パソコン側から行うことができます。

●「リモートUI」で設定する方法（LBP-2360のみ）
　→操作パネルで行う設定の一部が、パソコン側からWebブラウザを使用して行うことができます。

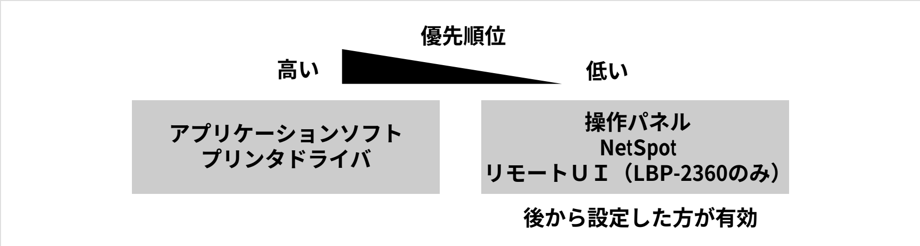
本書では操作パネルでメニュー機能を設定する場合に限って説明します。NetSpotやリモートUIで設定する方法については、「LIPSソフトウェアガイド」および「リモートUIガイド」をご覧ください。

メモ

● メニュー機能の設定内容は、通常は電源を切っても消えないメモリ（NVRAM）に登録されます。したがって電源を入れ直しても、電源を切る前と同じ設定で起動します。

設定の優先順位

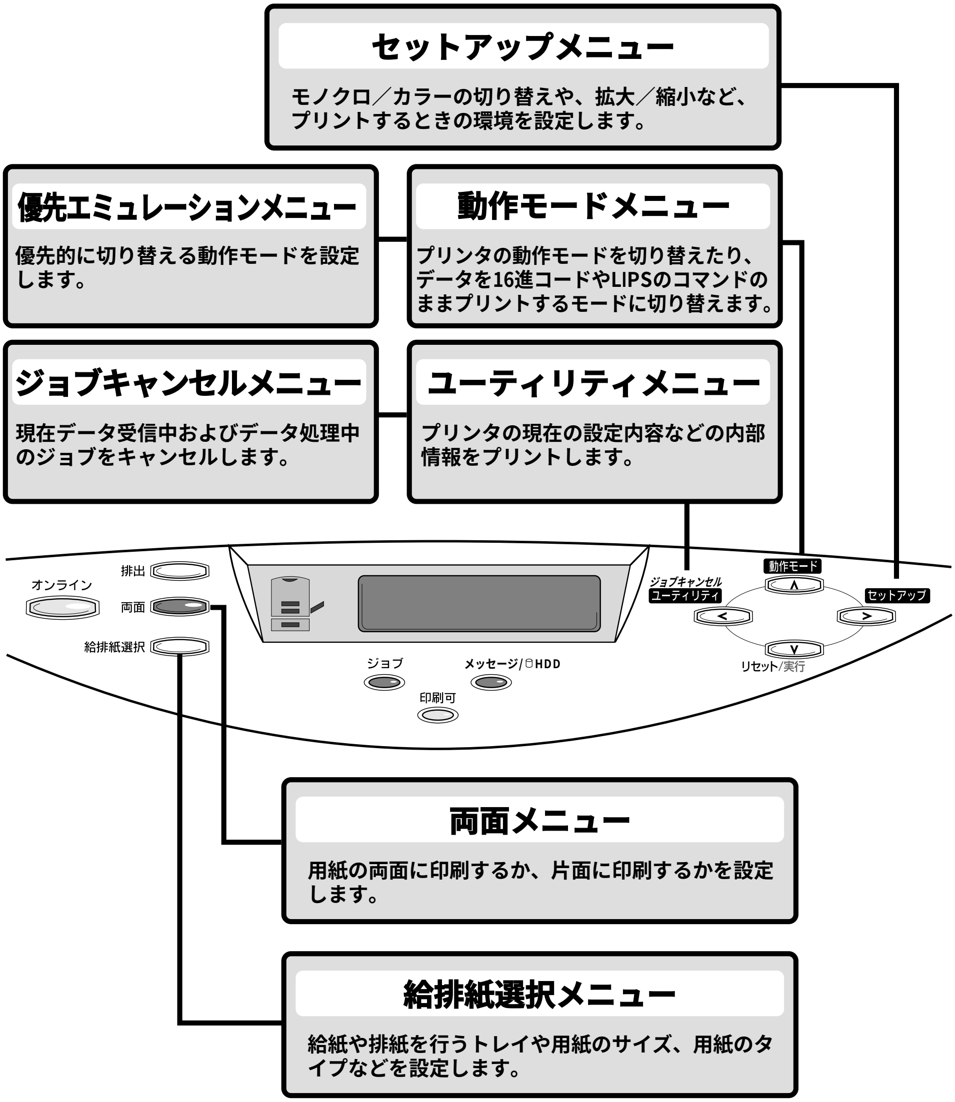
メニュー機能とアプリケーションソフトやプリンタドライバとで、同じ設定項目がある場合には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定した内容のほうが有効になります。また、メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合とNetSpotやリモートUIで行う場合では、後から設定した方の内容が有効になります。



＊プリンタドライバやNetSpot、リモートUIは本プリンタに付属しています。操作については、「LIPSソフトウェアガイド」および「リモートUIガイド」をご覧ください。
＊設定項目によっては、プリンタの電源を入れ直すか、ハードリセットを行ったときに有効になるものもあります。

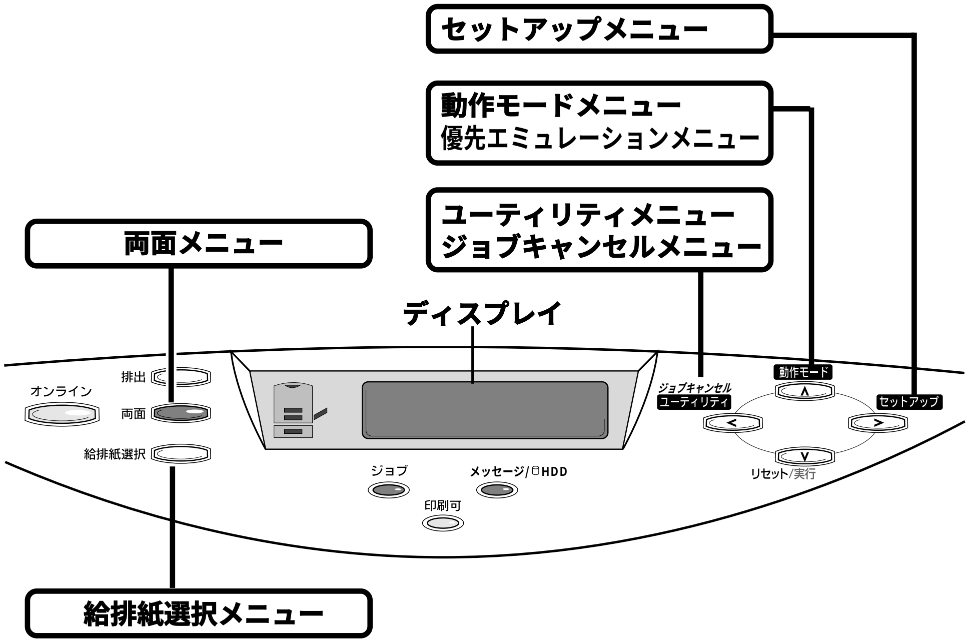
メニューの種類

メニューには、下の図で示した７種類があります。
それぞれのメニューは、プリンタをオフラインにした状態で操作パネルの以下のキーを押して、ディスプレイに表示します。
各メニューの機能と構造および操作の流れについては、第２章「メニューの機能と操作」をご覧ください。
また、各メニューの内容については、第３章「共通セットアップメニューの設定項目」、第４章「LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」、第５章「ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」、第６章「セットアップ以外のメニューの設定項目」をご覧ください。



2 操作キーの使いかた

メニューの操作には、以下のキーを使います。
それらのうち、動作モードキー、セットアップキー、ユーティリティ／ジョブキャンセルキー、給排紙選択キーには、メニューを表示する機能があります。



＊ひとつのキーが２つのメニューに割り当てられている場合は、キーを押す時間の長さによって、どちらのメニューが表示されるかが決まります。

メモ

- **ユーティリティ／ジョブキャンセルキーは、オフライン状態で有効ですが、ジョブランプが消灯した状態ではユーティリティキーとして、ジョブランプが点灯または点滅した状態（ジョブのデータ処理中またはデータ受信中）ではジョブキャンセルキーとしてはたらきます。**
- **両面メニューはディスプレイには表示されません。両面ランプを点灯させたり（両面時）消灯させたり（片面時）することで、両面／片面プリントの設定を行います。両面プリントを行う場合は、オプションの両面ユニットが必要です。オプションの両面ユニットについては、「設置ガイド」または「ユーザーズガイド」をご覧ください。**

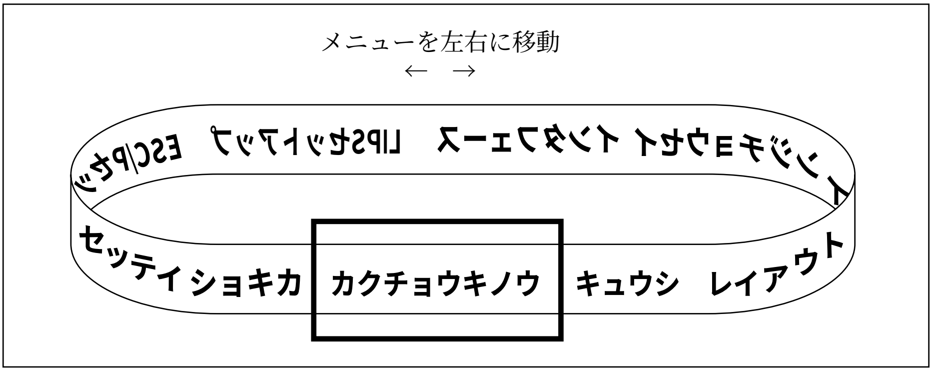
各キーの機能は次のとおりです。

キー	機能	
オンライン	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューの操作は、すべてこのキーを押してオフライン状態に切り替えてから行います。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。 本文中では（オンライン）キーと表記します。	
	オフライン状態に切り替えた直後	**メニューの表示中**
セットアップ >	セットアップメニューを表示します。本文中では（セットアップ）キーと表記します。	同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では（>）キーと表記します。
動作モード ∧	動作モードメニューまたは優先エミュレーションメニューを表示します。本文中では（動作モード）キーと表記します。	上の階層の項目を表示します。本文中では（∧）キーと表記します。
ジョブキャンセル ユーティリティ <	ジョブランプが消灯している状態のときは、ユーティリティメニューを表示します。本文中では（ユーティリティ）キーと表記します。 ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）のときは、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では（ジョブキャンセル）キーと表記します。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では（<）キーと表記します。
∨ リセット/実行	1秒以上押すと、ソフトリセットを行います。 5秒以上押すと、ハードリセットを行います。本文中では（リセット／実行）キーと表記します。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では（∨）キーと表記します。
排出	用紙を強制的に排出します。本文中では（排出）キーと表記します。	
給排紙選択	給排紙選択メニューを表示します。本文中では（給排紙選択）キーと表記します。	
両面	両面プリントの設定ができます。両面プリントの設定になっているときは、このキーが点灯します。 本文中では（両面）キーと表記します。	

3 ディスプレイの見かた

メニューの構造

メニューは下の図のように、１つのつながった輪のような構造（ループ構造）になっており、この輪の中の一項目がディスプレイに表示されています。したがって、〈キーや〉キーを押して、同じ方向に続けてメニューを移動すると、最初の項目が再び表示されます。
メニューは、階層ごとにそれぞれ別のループ構造になっています。



メニュー操作に入ることができる状態

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にしてメニュー操作を行うことができます。
プリント可能な状態とは、次の２つの条件を満たしている状態です。

1. ジョブランプとメッセージ／HDD ランプが消灯している
2. ディスプレイに「00　■■■■」のメッセージが表示されている

例）
動作モード自動選択の場合のプリント可能表示

```
00  インサツ  カノウ        A4
```

LIPS モードの場合のプリント可能表示

```
00  LIPS                    A4
```

ESC/P エミュレーションモードの場合のプリント可能表示

```
00　ESC／P　　　　　A4
```


ディスプレイの見かた

ディスプレイは上下２段表示になっています。上の段には前の階層で選択した項目が、下の段には現在の階層内で選択できる項目が表示されます。
同じ階層の中で他に選択できる項目がある場合は、ディスプレイの右端に「→」が表示されます。

```
カクチョウ　キノウ
コピーマイスウ　　　　　→
```

現在の階層の下にさらに階層がある場合は、ディスプレイの右端に「↓」が表示されます。

```
カクチョウ　キノウ
コピーマイスウ　　　　　↓
```

他に選択できる項目と、下の階層が同時にある場合は「→」と「↓」が交互に表示されます。

表示中の設定値がこれまでメモリ（NVRAM）に記憶されていた設定と同じ場合は、ディスプレイの左端に「＝」が表示されます。

```
コピーマイスウ
＝1　　　　　　　　　　→
```

第 2 章

メニューの機能と操作

1 共通セットアップメニューの機能と操作

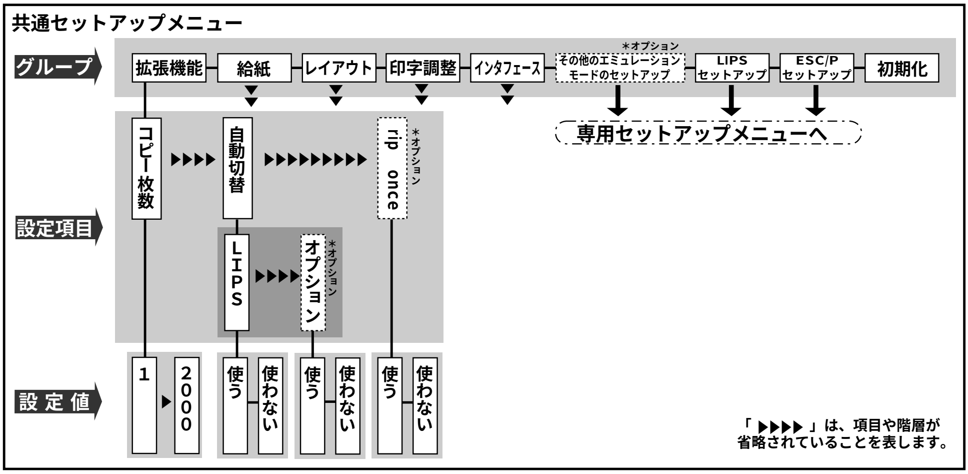
共通セットアップメニューの機能と構造

●共通セットアップメニューの機能

共通セットアップメニューでは、印字する位置や、文字の種類、パソコンと接続するときのインタフェースの選択などをはじめ、さまざまなプリント環境を設定することができます。通常、プリント環境は、接続しているパソコンのアプリケーションソフトで設定できます。しかし、中にはインタフェースの設定など、プリンタの共通セットアップメニューでしか行えないものもあります。また、印刷条件を設定できないアプリケーションソフトを使用しているときや、MS-DOS のコマンドで直接プリントするときなども、プリンタの共通セットアップメニューでプリント環境を設定します。

●共通セットアップメニューの構造

共通セットアップメニューは「グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層に分かれています。グループは、いくつかの設定項目が機能別にまとめられたもので、その中から設定項目を選び、設定項目ごとに設定値が選択できる構造になっています。
グループの階層で「LIPS セットアップ」や「ESC/P セットアップ」、あるいはオプションのコントロール ROM によるエミュレーションモードを選択すると、いずれかの専用セットアップメニューに移行します。



メモ

- 項目によっては、上図の「拡張機能」グループの「自動切替」のように、設定項目の階層が２つに分かれているものがあります。
- 「初期化」はグループの下の階層がありません。初期化の操作方法については、「セットアップメニューの初期化」（→ P.32）をご覧ください。
- 動作モードメニューで、特定の動作モード（LIPS や ESC/P）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用セットアップメニューに移行することはできません。

第２章　メニューの機能と操作

● **点線枠の項目は、オプションのコントロールROMの装着時やハードディスク（LBP-2360のみ）が使用可能な場合にのみ追加して表示され、選択できるようになります。オプションエミュレーションの専用セットアップメニューについては、オプションのコントロールROMのマニュアルをご覧ください。**

共通セットアップメニューの操作の流れ

共通セットアップメニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。
ここでは、拡張機能グループのコピー枚数の項目を「４枚」に設定する手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	（オンライン）キーを押す
2	セットアップメニューを表示する	（セットアップ）キーを押す セットアップメニューが表示されます。
3	**グループを選択する** 「拡張機能」グループを選択した場合 セットアップ カクチョウ　キノウ　→	（＞）キーまたは（＜）キーを押す 目的のグループが表示されます。
4	**設定項目を表示／選択する** カクチョウ　キノウ コピーマイスウ　→	（∨）キーを押す 選択したグループの設定項目が表示されます。 （＞）キーまたは（＜）キーを押す 目的の設定項目が表示されます。
5	**設定値を表示／選択する** コピーマイスウ 4　→	（∨）キーを押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。 （＞）キーまたは（＜）キーを押す 目的の設定値が表示されます。
6	選択した値を確定する	（∨）キーを押す
7	オンライン状態に戻す	（オンライン）キーを押す

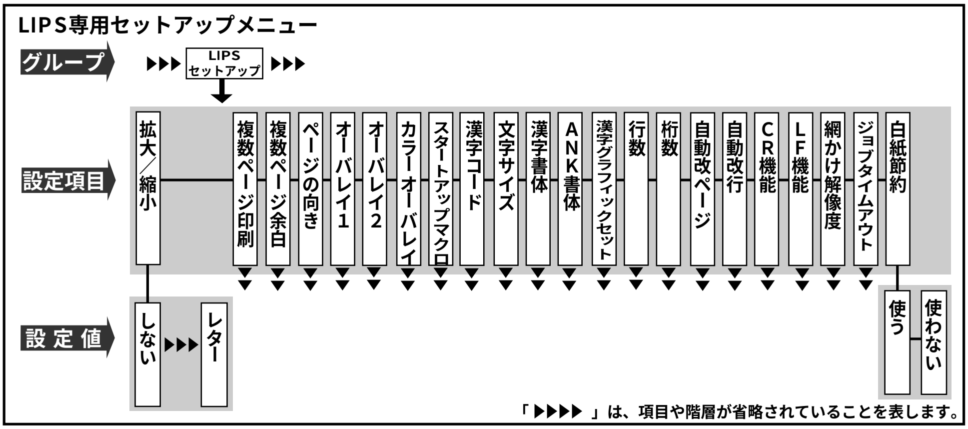
メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ／HDDランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で(∧)キーを押すと、１つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で(オンライン)キーを押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。
- グループの階層で、「LIPSセットアップ」または「ESC/Pセットアップ」を選択した場合は、「 LIPS専用セットアップメニューの機能と操作」(→P.13)、「ESC/P専用セットアップメニューの機能と操作」(→ P.15) をご覧ください。
- 項目によっては、設定項目の階層が２つの階層に分かれている場合があります。
- 「初期化」の機能は、グループの下の階層がありません。初期化の操作の方法については「セットアップメニューの初期化」(→ P.32) をご覧ください。

2 LIPS専用セットアップメニューの機能と操作

LIPS 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「LIPS セットアップ」を選択すると、LIPS 専用セットアップメニューに移行します。
LIPS 専用セットアップメニューは、「設定項目」と「設定値」の２つの階層に分かれています。



LIPS 専用セットアップメニューの操作の流れ

LIPS 専用セットアップメニューは「設定項目」と「設定値」の２つの階層で、目的の項目を選択します。
ここでは、LIPS専用セットアップメニューの「複数ページ印刷」の項目を「2ページ（左）」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	（オンライン）キーを押す
2 セットアップメニューを表示する	（セットアップ）キーを押す セットアップメニューが表示されます。

3 グループで「LIPSセットアップ」を選択する

```
セットアップ
LIPS　セットアップ　　→
```

(>) キーまたは (<) キーを押す

4 設定項目を表示する

```
LIPS　セットアップ
カクダイ／シュクショウ →
```

(∨) キーを押す

LIPSセットアップの設定項目が表示されます。

5 設定項目を選択する

「複数ページ印刷」を選択した場合

```
LIPS　セットアップ
フクスウページインサツ →
```

(>) キーまたは (<) キーを押す

目的の設定項目が表示されます。

6 設定値を表示する

```
フクスウページインサツ
＝シナイ　　　　　　　→
```

(∨) キーを押す

選択した設定項目の設定値が表示されます。

7 設定値を選択する

「2ページ（左）」を選択した場合

```
フクスウページインサツ
　２ページ（ヒダリ）　→
```

(>) キーまたは (<) キーを押す

目的の設定値が表示されます。

8 選択した値を確定する

(∨) キーを押す

9 オンライン状態に戻す

(オンライン) キーを押す

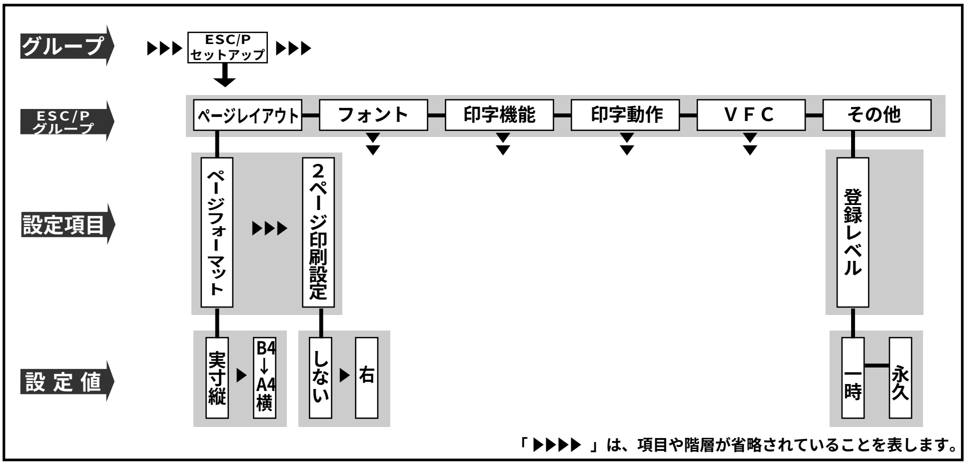
メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ／HDDランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で (∧) キーを押すと、１つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で (オンライン) キーを押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。

3 ESC/P 専用セットアップメニューの機能と操作

ESC/P 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「ESC/P セットアップ」を選択すると、ESC/P 専用セットアップメニューに移行します。
ESC/P 専用セットアップメニューは、「ESC/P グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層に分かれています。



ESC/P 専用セットアップメニューの操作の流れ

ESC/P 専用セットアップメニューは、「ESC/P グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層で目的の項目を選択します。
ここでは、ESC/P 専用セットアップメニューの「フォント」グループの「国別文字」の項目を「USA」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	（オンライン）キーを押す
2 セットアップメニューを表示する	（セットアップ）キーを押す セットアップメニューが表示されます。

3 グループで「ESC/Pセットアップ」を選択する

セットアップ
ESC/P　セットアップ　→

＞キーまたは＜キーを押す

4 ESC/Pグループを表示する

ESC/P　セットアップ
ページレイアウト　→

∨キーを押す

ESC/Pグループが表示されます。

5 ESC/Pグループを選択する

「フォント」を選択した場合
ESC/P　セットアップ
フォント　→

＞キーまたは＜キーを押す

目的のESC/Pグループが表示されます。

6 設定項目を表示する

フォント
カンジショタイ　→

∨キーを押す

選択したESC/Pグループの設定項目が表示されます。

7 設定項目を選択する

「国別文字」を選択した場合
フォント
クニベツモジ　→

＞キーまたは＜キーを押す

目的の設定項目が表示されます。

8 設定値を表示する

クニベツモジ
＝ニホン　→

∨キーを押す

選択した設定項目の設定値が表示されます。

9 設定値を選択する

「USA」を選択した場合
クニベツモジ
USA　→

＞キーまたは＜キーを押す

目的の設定値が表示されます。

10 選択した値を確定する

∨キーを押す

11 オンライン状態に戻す

オンラインキーを押す

第2章　メニューの機能と操作

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ／HDDランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で（∧）キーを押すと、１つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で（オンライン）キーを押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。

4 動作モードメニューの機能と操作

動作モードメニューの機能と構造

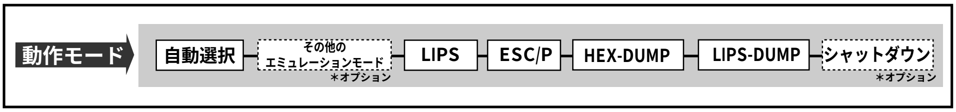
●動作モードメニューの機能

動作モードメニューでは、お使いのアプリケーションソフトで選択したプリンタの種類に合わせて、LIPSモード、ESC/Pモード、オプションのコントロールROMのエミュレーションモードのいずれで動作するのかを設定することができます。ただし、工場出荷時の設定で自動的に切り替わるようになっていますので、通常はこの設定を変える必要はありません。また、データを文字や図形に変換せずに16進コードやLIPSのコントロールコマンドの状態でプリントするモードに切り替えることもできます。

詳しい項目の内容については第6章「動作モードメニューの設定項目」(→P.102)をご覧ください。

●動作モードメニューの構造

動作モードメニューの階層は１つです。



メモ

● **点線枠の項目は、オプションのコントロールROMの装着時やハードディスク(LBP-2360のみ)が使用可能な場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。**

動作モードメニューの操作の流れ

動作モードメニューは、「動作モード」の階層で目的の項目を選択します。
ここでは、動作モードを「LIPS」に切り替える手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	（オンライン）キーを押す
2	動作モードメニューを表示する	（動作モード）キーを押す 動作モードメニューが表示されます。
3	動作モードを選択する 「LIPS」を選択した場合 ドウサ　モード LIPS　→	（＞）キーまたは（＜）キーを押す 目的の動作モードが表示されます。
4	動作モードを確定する	（∨）キーを押す
5	オンライン状態に戻す	（オンライン）キーを押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ／HDDランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で（オンライン）キーを押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。

5 優先エミュレーションメニューの機能と操作

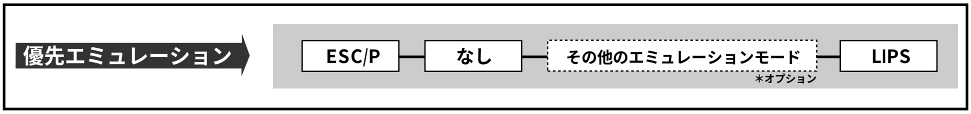
優先エミュレーションメニューの機能と構造

●優先エミュレーションメニューの機能

優先エミュレーションメニューでは、動作モードの自動切り替えを設定した状態で、プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。
詳しい項目の内容については第6章「優先エミュレーションメニューの設定項目」（→P.105）をご覧ください。

●優先エミュレーションメニューの構造

優先エミュレーションメニューの階層は１つです。



メモ

● **点線枠の項目は、オプションのコントロールROMを装着している場合のみ、名前が追加して表示され、選択できるようになります。**

優先エミュレーションメニューの操作の流れ

優先エミュレーションメニューは、「優先エミュレーション」の階層で目的の項目を選択します。
ここでは、優先エミュレーションモードを「LIPS」に切り替える手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	オンライン キーを押す
2	優先エミュレーションメニューを表示する	動作モード キーを約３秒押す 優先エミュレーションメニューが表示されます。
3	優先エミュレーションを選択する 「LIPS」を選択した場合 ユウセン　エミュレーション LIPS →	> キーまたは < キーを押す 目的の優先エミュレーションが表示されます。
4	優先エミュレーションを確定する	∨ キーを押す
5	オンライン状態に戻す	オンライン キーを押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ／HDDランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で オンライン キーを押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。

6 ユーティリティメニューの機能と操作

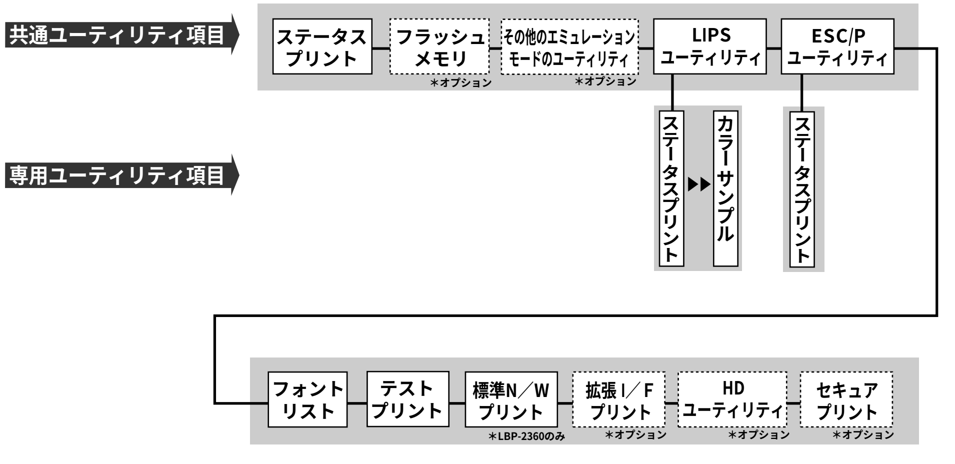
ユーティリティメニューの機能と構造

●ユーティリティメニューの機能

ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容や、搭載されているフォントなどの情報をプリントして確認することができます。
詳しい項目の内容については第6章「ユーティリティメニューの設定項目」（→P.106）をご覧ください。

●ユーティリティメニューの構造

ユーティリティメニューは、LIPSやESC/P、オプションのエミュレーションなどの各動作モードに共通して選択できる「共通ユーティリティ項目」と、各動作モードごとに選択する「専用ユーティリティ項目」の２つの階層に分かれています。



「▶▶▶▶」は、項目や階層が省略されていることを表します。

メモ

- 点線枠の項目は、オプションのコントロールROMの装着時やハードディスク（LBP-2360のみ）が使用可能な場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。
- 動作モードメニューで、特定の動作モード（LIPSなど）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用ユーティリティ項目を設定することはできません。

ユーティリティメニューの操作の流れ

ユーティリティメニューには、「共通ユーティリティ項目」と、「専用ユーティリティ項目」の２つの階層があります。専用ユーティリティ項目は、共通ユーティリティ項目の階層で「LIPS ユーティリティ」を選択した場合のみ表示されます。
それぞれの階層で目的の項目を選択します。
ここでは、「LIPSユーティリティ」の「フォントリスト」をプリントする手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	オンライン キーを押す
2 ユーティリティメニューを表示する	ユーティリティ キーを押す ユーティリティメニューが表示されます。
3 共通ユーティリティ項目を選択する 「LIPSユーティリティ」を選択した場合 ユーティリティ LIPS　ユーティリティ　→	＞ キーまたは ＜ キーを押す 目的の共通ユーティリティメニューが表示されます。
4 専用ユーティリティ項目を表示する LIPS　ユーティリティ ステータス　プリント　→	∨ キーを押す 専用ユーティリティ項目が表示されます。
5 専用ユーティリティ項目を選択する 「フォントリスト」を選択した場合 LIPS　ユーティリティ フォント　リスト　→	＞ キーまたは ＜ キーを押す 目的の専用ユーティリティ項目が表示されます。
6 選択した項目を確定する	∨ キーを押す フォントリストがプリントされます。
7 オンライン状態に戻す	オンライン キーを押す

メモ

● **専用ユーティリティ項目（LIPS ユーティリティなど）を選択しなかった場合は、操作の手順４～５の設定はありません。**

第2章　メニューの機能と操作

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ／HDDランプが消灯している状態です。
- 操作の途中、またはリストのプリント中に（オンライン）キーを押すと、操作またはプリントを中止して、オンライン状態に戻ります。
- 操作の途中で（∧）キーを押すと、１つ前の階層に戻ります。
- LIPSのオーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリントは、データが登録されている場合のみプリントされます。データが登録されていない場合はブザーが鳴り、何もプリントされません。

7 ジョブキャンセルメニューの機能と操作

ジョブキャンセルメニューの機能

●ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューを使うと、データ受信中およびデータ処理中のジョブだけをキャンセルすることができます。
キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの（ジョブキャンセル）キーを押すと、ジョブキャンセル処理が開始されます。

メモ

- **本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります**
- **ジョブキャンセルの処理は約2秒間行われます。この間にデータの受信を完了しなかった場合、ジョブスキップ処理に移行します。ジョブキャンセル処理が開始されると、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、この状態（ジョブキャンセル状態）ではリセット処理はできません。**
- **ジョブスキップ処理に時間がかかり、ジョブスキップを途中で中止したいときは、リセット処理を行ってください。ジョブスキップ状態に移行すると、ディスプレイに「00　ジョブ　スキップ」と表示され、この状態（ジョブスキップ状態）でリセット処理が行えるようになります。**
- **すでにデータ処理が終わり印刷処理中のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、ご注意ください。**
- **オフライン状態で、かつジョブランプが消灯している場合、（ジョブキャンセル）／（ユーティリティ）キーは、（ユーティリティ）キーとして動作します。**

ジョブキャンセルメニューの操作の流れ

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの（ジョブキャンセル）キーを押すと、ディスプレイに「03 ジョブ キャンセル」と表示され、ジョブキャンセル処理が開始されます。

操作の手順	キー操作
1 ジョブの処理中にオフライン状態に切り替える	（オンライン）キーを押す キャンセルしたいジョブがデータ処理中またはデータ受信中で、ジョブランプが点灯または点滅している状態で操作します。
2 ジョブをキャンセルする 03 ジョブ キャンセル	（ジョブキャンセル）キーを押す メッセージが表示されると同時にオンライン状態になります。 ジョブキャンセル状態が約2秒間続き、ジョブのキャンセル処理が終了すると、プリント可能な状態に戻ります。
	プリントデータの受信が完了していない場合、ジョブキャンセル状態が続くと、次のメッセージが表示されます。 00 ジョブ スキップ セントロニクス ジョブのスキップが終了すると、プリント可能な状態に戻ります。

メモ

● **ジョブスキップの処理中は、処理中のジョブのインタフェース名（「セントロニクス」、「USB」など）がディスプレイに表示されます。**

8 給排紙選択メニューの機能と操作

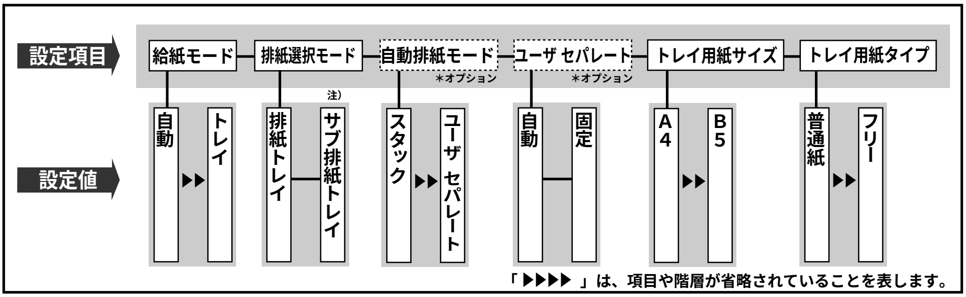
給排紙選択メニューの機能と構造

●給排紙選択メニューの機能

給排紙選択メニューでは、どの給紙カセットまたは給紙トレイの用紙を使ってプリントするか、どのトレイに排紙させるか、トレイの用紙サイズ、用紙のタイプなどを選択できます。選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。
詳しい項目の内容については第6章「給排紙選択メニューの設定項目」（→P.110）をご覧ください。

●給排紙選択メニューの構造

給排紙選択メニューの階層は２つの階層に分かれています。



メモ

- **トレイ用紙サイズ、トレイ用紙タイプについては、セットアップメニューの給紙グループでも同様の設定ができます。**
- **点線枠の項目は、オプションの７ビンソータを装着している場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。**
- **注）の設定値は、オプションの７ビンソータを装着している場合は表示される設定値が変わります。**

給排紙選択メニューの操作の流れ

給排紙選択メニューは､設定項目と設定値の２つの階層があります｡それぞれの階層で目的の項目を選択します｡
ここでは、トレイ用紙サイズの項目を「B5」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	（オンライン）キーを押す
2 給排紙選択メニューを表示する	（給排紙選択）キーを押す 給排紙選択メニューが表示されます。
3 設定項目を選択する 「トレイ用紙サイズ」を選択した場合 キュウハイシ　センタク トレイ　ヨウシ　サイズ →	（＞）キーまたは（＜）キーを押す 目的の設定項目が表示されます。
4 設定値を表示する トレイ　ヨウシ　サイズ ＝Ａ４　→	（∨）キーを押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。
5 設定値を選択する 「B5」を選択した場合 トレイ　ヨウシ　サイズ Ｂ５　→	（＞）キーまたは（＜）キーを押す 目的の設定値が表示されます。
6 選択した値を確定する	（∨）キーを押す
7 オンライン状態に戻す	（オンライン）キーを押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ／HDDランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で（オンライン）キーを押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。また、操作の途中で誤操作をした場合も、そのとき表示していた設定値で設定されます。
- 給紙モードの「カセット1」は、LBP-2300の場合はオプションになります。共通セットアップメニューの給紙グループの「カセット1使用」を「スル」に設定している場合にのみ表示されます。
- 給紙モードの「カセット3」、「カセット4」、「ペーパーデッキ」は、オプションの2000枚ペーパーデッキ、または2×500枚ペーパーデッキを装着している場合にのみ表示されます。

9 両面メニューの機能と操作

両面メニューの機能と構造

●両面メニューの機能

用紙の両面にプリントするか片面にプリントするかを設定します。
ただし、オプションの両面ユニットが装着されているときにのみ機能します。両面ユニットが装着されていないときは、（両面）キーを押してもランプは点灯せず、1回ブザーが鳴ります。
詳しい項目の内容については第6章「両面メニューの設定項目」（→P.115）をご覧ください。

●両面メニューの構造

両面メニューの階層は１つです。

両面モード → 片　　面 ― 両　　面
＊オプション

メモ

- **両面メニューは、オフラインのときに（両面）キーが押された場合に、ランプが点灯または消灯するだけです。ステータスは表示されません。**
- **ランプが点灯した場合は両面印刷、ランプが消灯した場合は片面印刷の設定になります。**
- **オプションの両面ユニットについては、「設置ガイド」または「ユーザーズガイド」をご覧ください。**

両面メニューの操作の流れ

両面メニューは、「両面モード」の階層で目的の項目を選択します。両面メニューはディスプレイには表示されずに、（両面）キーのランプが点灯するか、消灯するかで設定を行います。また、両面ユニットが装着されていないときは、このメニューは機能しません。
ここでは、「両面」を設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	（オンライン）キーを押す
2 「両面」に設定する	（両面）キーを押す （両面）キーのランプが点灯します。
3 オンライン状態に戻す	（オンライン）キーを押す

メモ

● オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ／HDDランプが消灯している状態です。

10 セットアップメニューの初期化

セットアップメニュー初期化の機能

セットアップメニューを初期化すると、共通セットアップメニューや専用セットアップメニューで設定した内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

セットアップメニュー初期化の操作の流れ

初期化は、セットアップメニューの「グループ」の階層で「パネル設定初期化」の項目を選択して行います。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	（オンライン）キーを押す
2 セットアップメニューを表示する	（セットアップ）キーを押す セットアップメニューが表示されます。
3 グループで「パネル設定初期化」を選択する セットアップ パネル セッテイ ショキカ→	（>）キーまたは（<）キーを押す
4 初期化を実行する パネル セッテイ ショキカ ジッコウ　シマスカ？↓	（∨）キーを押す 確認メッセージが表示されます。
5 メッセージを確認後、さらに実行する	（∨）キーを押す 初期化の実行中は「ショキカ　チュウ」が表示されます。終了すると、「ショキカ　シュウリョウ」が表示されます。
6 オンライン状態に戻す	（オンライン）キーを押す

お願い

● 初期化の最中に電源を切らないでください。プリンタのメモリが故障することがあります。

メモ

● 操作の途中で オンライン キーを押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。ただし、ディスプレイに「ショキカ　チュウ」と表示されているときは、オンライン キーを押しても操作は中止できません。
● 共通セットアップメニューのインタフェースグループの「標準（拡張）ネットワーク」の項目は初期化されません。

第 3 章

共通セットアップメニューの設定項目

共通セットアップメニュー　設定項目一覧

設定項目	設定値	内容
＜拡張機能グループ＞　→ P.40		
コピー枚数	1 ～ 2000	プリントの部数を設定します。
タイムアウト	5 ～ 15 ～ 300 ビョウ、シナイ	動作モード自動切り替えのタイマーを設定します。
スリープモード	30プン、60プン、180プン、15フン	プリンタを使わないときに消費電力を節約するタイマーを設定します。
ブザー	1カイ、レンゾク	エラー時のブザーの鳴り方を設定します。
警告表示	スル、シナイ	警告時のメッセージを表示するかどうかを設定します。
トナー節約	ツカワナイ、ツカウ	トナーを節約してプリントするかどうかを設定します。
定着モード	モード 1、モード 2	厚めの普通紙にプリントがきれいに定着しない場合、定着温度を上げるかどうかを設定します。
キャリブレーション	モード 1、モード 2	キャリブレーション（色の補正）を実行するタイミングを設定します。
ハイレジストモード	ツカワナイ、ツカウ	色のずれを解消するために、印刷開始位置などを調整するかどうかを設定します。
トナー濃度 C、M、Y、K	1 ～ 8 ～ 15	プリントするときの印字濃度を色ごとに設定します。
警告処理	ケイゾク、テイシ	警告状態が発生したときに、プリントを継続するか、停止するかを設定します。
自動エラースキップ	ツカワナイ、ツカウ	エラー時も自動的にプリントを続行するかどうかを設定します。
表示言語	ニホンゴ、ENGLISH	ディスプレイの表示言語を設定します。
自動切替	LIPS ……… ツカウ、ツカワナイ ESC/P …… ツカウ、ツカワナイ オプション* .. ツカウ、ツカワナイ	LIPS、ESC/P、オプションの各エミュレーションについて、動作モード自動切り替えの対象にするかどうかを設定します。
ハードディスク *	ツカワナイ、ツカウ	オプションのハードディスクを装着している場合に特有の機能を使うかどうかを設定します。
割り込み印刷許可 *	スル、シナイ	印刷データの割り込みの機能を使うかどうかを設定します。
セキュアプリント消去 *	1ジカン、2ジカン、3ジカン、6ジカン、12ジカン、24ジカン	セキュアプリントのデータを消去する時間を設定します。
rip once*	ツカワナイ、ツカウ	複数部数をプリントするときに便利な rip once（リップワンス）機能を使うかどうかを設定します。
＜給紙グループ＞　→ P.48		
トレイ用紙サイズ	A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、フウトウY4、フウトウK2、A5、B5	トレイ給紙時の用紙サイズを設定します。
デフォルト用紙サイズ	A4、B4、A3、A5、B5	プリンタの初期状態の処理サイズを設定します。
用紙の向き	ジドウ、タテオクリ、ヨコオクリ	用紙の置きかたを設定します。

トレイ優先	**シナイ、スル**	自動給紙の場合に、給紙トレイから順に給紙口を検知するかどうかを設定します。
自動選択	**トレイ .... ツカウ、ツカワナイ** **カセット 1* .... ツカウ、ツカワナイ** **カセット 2 ...... ツカウ、ツカワナイ** **カセット 3* .... ツカウ、ツカワナイ** **カセット 4* .... ツカウ、ツカワナイ** **ペーパーデッキ * ... ツカウ、ツカワナイ**	自動給紙の場合に、どの給紙トレイ／カセットを自動給紙の対象とするのかを設定します。
デフォルト用紙タイプ	**フツウシ、アツガミ、OHP、コウタクフィルム**	通常使用する用紙の種類を設定します。
トレイ用紙タイプ	**フツウシ、アツガミ、OHP、コウタクフィルム、フリー**	給紙トレイの用紙の種類を設定します。
ハガキ優先	**ガシツ、スピード**	ハガキにプリントするときの動作モードを設定します。
手差し両面	**1 メンメ、2 メンメ**	給紙トレイから手動で両面プリントするときの印字面を設定します。
カセット 1 使用 *	**シナイ、スル**	LBP-2300の場合に、オプションのカセット1を使用するかどうかを設定します。
＜レイアウトグループ＞　→ P.53		
縦補正	**-50.0mm ～ 0.0mm ～ +50.0mm**	印字位置を 0.5mm 単位で縦方向に調整します。
横補正	**-50.0mm ～ 0.0mm ～ +50.0mm**	印字位置を 0.5mm 単位で横方向に調整します。
とじ方向	**ナガテ、ミジカテ**	とじ代の位置を、用紙の長い辺にするか短い辺にするかを設定します。
とじ幅	**-30.0mm ～ 0.0mm ～ +30.0mm**	とじ代用の余白をあけてプリントするときの、余白の幅を設定します。
＜印字調整グループ＞　→ P.56		
スーパースムーズ	**ツカウ、ツカワナイ**	スムージング処理を使うかどうかを設定します。
データ処理	**ファイン、クイック**	モノクロデータの解像度を設定します。
階調処理	**コウカイチョウ 1、コウカイチョウ 2、ヒョウジュン**	600dpi のデータの階調を設定します。
カラーモード	**ジドウ、カラー、モノクロ**	カラー印刷を行うかモノクロ印刷を行うかを設定します。
モノクロ中間調	**パターン 1、パターン 2**	モノクロデータの中間調の表現方法を設定します。
カラー中間調	**テキスト ....** **カイゾウド、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド** **グラフィック ....** **カイゾウド、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド** **イメージ ....** **カイゾウド、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド**	カラーデータの、テキスト、グラフィック、イメージといったデータの種類ごとに、最適なディザパターンを設定します。

特殊中間調	**ツカワナイ、ツカウ**	カラーデータとプリンタの持つディザパターンが干渉し合い、色味が異なる場合に、特殊なディザパターンを使うかどうかを設定します。
バンド制御	**スル、シナイ**	バンド制御を行うかどうかを設定します。
画質警告	**ケイゾク、テイシ**	画質の品位低下のメッセージを表示するかどうかを設定します。
フォームキャッシュメモリ	**ツカワナイ、ツカウ＊**	フォーム画像を保持するメモリを確保するかどうかを設定します。
印字動作	**ジドウ、ガシツユウセン、トウロクユウセン**	用途に合わせたメモリ（RAM）の配分のしかたを設定します。

＜インタフェースグループ＞ → P.63

インタフェース選択	**ジドウ、セントロニクス、USB、ヒョウジュンネットワーク＊、カクチョウ ネットワーク＊**	パソコンと接続するときのインタフェースの種類を設定します。
セントロニクス設定＊	**busy-ack......... A-B-A、A-B、B-A**	BUSY信号とACKNLG信号の出力順序を変更します。
	セントロ受信速度 .... コウソク、チュウソク、テイソク	セントロニクスのデータの受信速度を設定します。
	セントロ送信速度 .... コウソク、チュウソク、テイソク	セントロニクスのデータの送信速度を設定します。
	インプットプライム .... ドウサモード イゾン、リセット	パソコンからインプットプライム（プリンタのリセット信号）を受信したときの処理を設定します。
	双方向... ECP、ニブル、ツカワナイ	データの双方向通信を設定します。
標準ネットワーク＊	**TCP/IP フレームタイプ ..... ETHERNET2、ムコウ IP モード .... シュドウ、ジドウ プロトコル DHCP .... オフ、オン BOOTP .... オフ、オン RARP .... オフ、オン アドレス IP アドレス ... 192.168.0.215 サブネットマスク ..... 0.0.0.0 ゲートウェイアドレス .. 0.0.0.0**	LBP-2360に標準のネットワークボードのTCP/IP設定を行います。
	設定登録	「標準ネットワーク」の「TCP/IP」（前項目）の設定内容を登録します。
	設定初期化	LBP-2360に標準のネットワークボードの設定を、工場出荷値に戻します。

拡張ネットワーク *（工場出荷時の設定値は、装着するネットワークボードによって異なります。）	**TCP/IP** **フレームタイプ** **..... ETHERNET2、ムコウ** **IP モード** **............ シュドウ、ジドウ** **プロトコル** **DHCP .... オフ、オン** **BOOTP .... オフ、オン** **RARP .... オフ、オン** **アドレス** **IP アドレス ....（数値）** **サブネットマスク .....（数値）** **ゲートウェイアドレス .（数値）**	LBP-2360/2300にオプションで搭載された拡張ネットワークボードの TCP/IP 設定を行います。
	設定登録	「拡張ネットワーク」の「TCP/IP」（前項目）の設定内容を登録します。
	設定初期化	LBP-2360/2300にオプションで搭載された拡張ネットワークボードの設定を、工場出荷値に戻します。
コネクション認識 *	**スル、シナイ**	標準／拡張ネットワークボードを使用していて、正しいプリント結果が得られない場合に設定します。

＊「*」印の付いている項目や設定値は、プリンタの機種やオプションの有無、他の設定項目の内容によって、表示されるときと表示されないときがあります。

＊グレーで示されている設定値は、工場出荷時の値です。

1 拡張機能グループの設定項目

コピー枚数　　1 ～ 2000

プリントの部数を設定します。
設定値で指定した部数だけプリントされます。

タイムアウト　　5 ～ 15 ～ 300 ビョウ、シナイ

動作モード自動切り替えを設定している場合、プリンタは、データを受信するとコントロールコマンドを認識して、動作モードを切り替えてプリントを開始し、データの終了を認識すると動作モードを終了します。この処理を「ジョブ」といいます。
プリンタ側ではジョブが終了しないと、次に違う種類のコントロールコマンドのデータがきても動作モード自動切り替えができません。このような場合に本項目でタイマーを設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にジョブを終了することができます。
また、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないために、プリンタ内にデータが残ったままの状態のときも、本項目を設定しておくと、自動的に排紙することができます。
設定値で指定した時間が経過すると、自動的にジョブを終了します。また、「シナイ」に設定した場合は自動ジョブ終了の機能を使いません。

お願い

- **自動ジョブ終了を設定した場合、パソコン側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しいプリント結果が得られないことがあります。その場合は、タイムアウトの設定時間を調節してください。**
- **オプションのハードディスク（LBP-2360のみ）を使用している場合は、次のように設定してください。**
  - **本項目を「シナイ」以外に設定してください。なるべく工場出荷時の状態の「15秒」に設定しておくことをおすすめします。**
  - **LIPS専用セットアップメニューの「ジョブタイムアウト」（→P.80）を「スル」に設定してください**

メモ

- **ジョブ中は操作パネルのジョブランプが点灯します。**
- **オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。**

スリープモード　30 プン、60 プン、180 プン、15 フン

パネル操作を行わなかったり、パソコンからのデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が一定時間経過したときに、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。
スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になり、ディスプレイの表示が消えます。また、オンライン状態では印刷可ランプ以外のランプが消え、オフライン状態ではメッセージランプ以外のランプが消えるので、消費電力が少なくてすみます。

メモ

- **セキュアプリントやrip once（リップワンス）機能を使ったプリントなどのように、すぐにプリントせず、いったんプリンタのハードディスクに保管されるプリントデータを受信した場合、スリープモードであっても、ジョブランプが点灯します。**
- **操作パネルのキーが押されたり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではパソコンからのデータを受信してもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。**
- **本プリンタはオフライン状態でもスリープモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードに移行しません。**
  - **・サービスコール（「nn-nn　××」{nn は 2 桁の英数字}）が表示されている**
  - **・LBP-2360 でハードディスクのシャットダウン中または初期化中**
  - **・紙づまりしている状態**
  - **・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中**

ブザー　1 カイ、レンゾク

エラーが発生した場合に、ブザー音が1回だけ鳴るのか、連続して鳴るのかを設定します。連続して鳴るように設定した場合は、エラーを解除するか操作パネルのいずれかのキーを押すと止まります。

メモ

- **エラーの種類によっては、ブザーが鳴っているときに［オンライン］キーを押すと、エラーをスキップして、オンライン状態に戻すことができます。**

警告表示　スル、シナイ

プリンタの状態を警告するメッセージ（警告メッセージ）を表示するかどうかを設定します。メッセージを表示してもしなくてもプリントは行われます。

メモ

- **本項目を「シナイ」に設定して表示されなくなるメッセージについては、ユーザーズガイド　第 4 章「メッセージが表示されたときは」をご覧ください。**

トナー節約　　ツカワナイ、ツカウ

トナーを節約してプリントするモードを使うかどうかを設定します。

メモ

- **本項目を「ツカウ」に設定すると、トナーは節約できますが、プリント結果が薄くなり、細い線や濃度の薄いプリントが不鮮明になることがあります。**

定着モード　　モード1、モード2

重量$105g/m^2$の厚めの普通紙を使用するときに定着性／転写性を上げるためのモードです。
通常の定着モードでプリントする場合は「モード1」を設定します。冬季に朝一番でお使いのときや温度が低く乾燥した環境でお使いのときなど、定着不良が発生した場合は「モード2」を設定します。

メモ

- **通常は「モード1」で使用してください。**
- **本項目を「モード2」に設定すると、ウォームアップに時間がかかります。**
- **モノクロ印刷時に「モード1」から「モード2」に変更した直後は、プリントに時間がかかることがあります。**

キャリブレーション　　モード1、モード2

本プリンタでは、温度、湿度などの環境が変わったときや、一定枚数プリントしたときなどに、キャリブレーション（色の補正）を実行します。キャリブレーションは画質を維持するために必要な機能ですが、ジョブの途中で実行してしまうと、ジョブの途中から色味が変わってしまうことがあります。これを避けるためには、本項目を「モード1」に設定しておきます。「モード1」に設定しておくと、キャリブレーションが必要な状態になっても、ジョブが終了してジョブランプが消える時点まで待ってキャリブレーションが実行されます。
「モード2」に設定しておくと、ジョブの途中であっても必要に応じてキャリブレーションを実行します。

メモ

- **「モード1」に設定している場合で大量のジョブが連続する場合は、ジョブランプが消えていなくてもキャリブレーションが実行されることがあります。この場合でもジョブ中には実行されず、ジョブとジョブの間に実行されます。**
- **「モード2」に設定していても、「rip once（リップワンス）」機能（→P.46）を使って複数部数をプリントしている最中は、キャリブレーションは実行されません。**

ハイレジストモード　ツカワナイ、ツカウ

印刷の際の色のずれを解消するために、印刷の開始位置を調整します。本プリンタは使用環境によっては色ずれが生じることがあります。指定した色が正しく印刷されないときや、カラー文字がぼけて見えるときは、「ツカウ」を設定します。「ツカワナイ」を設定すると、通常の動作で印刷します。

メモ
- **通常は、「ツカワナイ」で使用してください。**
- **本項目を「ツカウ」に設定すると、プリント速度が遅くなります。**
- **「ツカワナイ」から「ツカウ」に変更した直後は、プリントに時間がかかることがあります。**

トナー濃度 C　1 ～ 8 ～ 15

プリントするときのシアンの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

メモ
- **通常の使用時には調整しないでください。**
- **本プリンタをネットワークと接続し、複数台（2台以上）同時に使用しているときに、この項目でプリンタ間の濃度のバラツキを微調整します。**

トナー濃度 M　1 ～ 8 ～ 15

プリントするときのマゼンタの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

メモ
- **通常の使用時には調整しないでください。**
- **本プリンタをネットワークと接続し、複数台（2台以上）同時に使用しているときに、この項目でプリンタ間の濃度のバラツキを微調整します。**

トナー濃度 Y　1 ～ 8 ～ 15

プリントするときのイエローの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

メモ
- **通常の使用時には調整しないでください。**
- **本プリンタをネットワークと接続し、複数台（2台以上）同時に使用しているときに、この項目でプリンタ間の濃度のバラツキを微調整します。**

トナー濃度 K　　1 ～ 8 ～ 15

プリントするときの黒の印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

メモ

- **通常の使用時には調整しないでください。**
- **本プリンタをネットワークと接続し、複数台（２台以上）同時に使用しているときに、この項目でプリンタ間の濃度のバラツキを微調整します。**

警告処理　　ケイゾク、テイシ

トナーが残り少なくなったり、ドラムの寿命が近づいた時に、メッセージの表示だけを行いプリントを続けるか、プリントを中断するかを設定します。
「ケイゾク」を設定した場合、「16　トナー　コウカン」または「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」というメッセージを表示しながらプリントを続けます。「テイシ」を設定した場合、同様のメッセージを表示してプリントを停止します。その後、メッセージにしたがって警告状態を解除するとプリントが再開されます。

お願い

- **「16　トナー　コウカン」が表示されプリントが中断した場合は、トナーカートリッジを振ってトナーを均一にするか、トナーカートリッジを交換した後、再度プリントを行ってください。**
  「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」が表示されプリントが中断した場合は、ドラムを交換した後、再度プリントを行ってください。

自動エラースキップ　　ツカワナイ、ツカウ

エラーが起きたときに、エラーを一時的に解除してプリントを続ける機能（エラースキップ）を、自動的に使うかどうかを設定します。
「ツカワナイ」を設定した場合、（オンライン）キーを押してエラースキップさせる必要があります。
「ツカウ」を設定した場合、（オンライン）キーを押さなくても自動的にエラースキップされます。

メモ

- **エラースキップとはあくまでエラーを一時的に解除するものです。したがって、正しくプリントされないことがあります。**
- **自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類については、ユーザーズガイド　第4章「メッセージが表示されたときは」をご覧ください。**
- **本項目を「ツカウ」に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、すべてのエラーに対して自動的にエラースキップします。**

表示言語

ニホンゴ、ENGLISH

ディスプレイに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。

メモ
- **ENGLISH 表示の場合のメニュールートマップはありません。**

自動切替

LIPS .... ツカウ、ツカワナイ
ESC/P .... ツカウ、ツカワナイ
オプション＊........... ツカウ、ツカワナイ

＊「オプション」は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ、その名前が表示されます。

動作モード自動切り替えが設定されている場合の、自動切り替えの対象となる動作モードを設定します。LIPS エミュレーション、ESC/P エミュレーション、オプションのエミュレーションの各モードについて設定します。
「ツカウ」を設定した場合、そのモードを自動切り替えの対象とします。「ツカワナイ」を設定した場合、そのモードを自動切り替えの対象としません。

メモ
- **動作モード自動切り替えは、動作モードメニューで設定します（→ P.102）。**
- **本項目で、すべてのモードを自動切り替えの対象としない設定にしたときに、動作モード自動切り替えが設定された場合は、優先エミュレーションメニューで設定されたモードで動作します。**
- **オプションのエミュレーションが複数搭載されている場合、本項目の設定はすべてのオプションエミュレーションに対して有効になります。**

ハードディスク＊

ツカワナイ、ツカウ

＊LBP-2360 でオプションのハードディスクが装着されていて、32MB 以上の拡張メモリ（RAM）が増設されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクを装着している場合に特有の機能を使うかどうかを設定します。特有の機能とは、
・印刷データの割り込み
・印刷データの順番の変更
・印刷データの属性（出力先や印刷部数など）の変更
・印刷データの処理の一時停止／再開
・印刷データをハードディスクに保管する（再プリントが可能）
・セキュアプリント（→ P.109）
・rip once（リップワンス）（→ P.46）
などです。
通常は「ツカウ」に設定しておいてください。ハードディスクを使った機能で不具合がある場合に、「ツカワナイ」に設定してください。

お願い

● 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

割り込み印刷許可＊ スル、シナイ

＊LBP-2360でオプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクを装着している場合に、印刷データの割り込みの機能を使うかどうかを設定します。

メモ

●「ハードディスク」の項目が「ツカワナイ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、割り込み印刷はできません。

セキュアプリント消去＊ 1ジカン、2ジカン、3ジカン、6ジカン、12ジカン、24ジカン

＊LBP-2360でオプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

あらかじめパソコン側でドキュメント名、ユーザ名、パスワードを設定した「セキュアプリント」のデータを消去する時間を設定します。
セキュアプリントデータはハードディスクに保存されていて、通常はプリントしないと消去されませんが、データの処理が終了してから本項目で設定した時間が経過すると、プリントしていなくても自動的に消去されます。

メモ

- **セキュアプリントデータのプリントは、ユーティリティメニューの「セキュアプリント」（→ P.109）で行います。**
- **「ハードディスク」の項目が「ツカワナイ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、セキュアプリントデータの消去はできません。**
- **本項目で設定した時間が経過していない場合でも、プリンタの電源を切るかハードリセットやソフトリセット操作を行うと、セキュアプリントデータは消去されます。**
- **ドキュメント名、ユーザ名、パスワードの設定は、プリンタドライバで行います。**

rip once* ツカワナイ、ツカウ

＊LBP-2360でオプションのハードディスクが装着されていて、32MB以上の拡張メモリ（RAM）が増設されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクを装着している場合に、「rip once（リップワンス）」の機能を使うかどうかを設定します。rip once（リップワンス）とは、複数部数をプリントするときのために、1部目のデータをハードディスクに保存しておいて2部目以降のプリントを高速に行う機能です。
大量の部数をプリントする場合や、複雑なデータ（多数の図形や画像が含まれるデータなど）を複数部数プリントする場合に効果があります。

お願い

- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ

- 本項目を「ツカウ」に設定するには、64MB 以上の拡張メモリ（RAM）を増設する必要があります。メモリが不足している場合は、「ツカワナイ」にしか設定できません。
- 「ハードディスク」の項目が「ツカワナイ」に設定されているときは、本項目の設定は自動的に「ツカワナイ」になり、rip once（リップワンス）の機能は使えません。
- 文字だけのデータなどのように比較的単純なデータや、部数の少ないデータでは、あまり効果がでないことがあります。

2 給紙グループの設定項目

トレイ用紙サイズ **A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、フウトウ Y4、フウトウ K2、A5、B5**

給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。

メモ

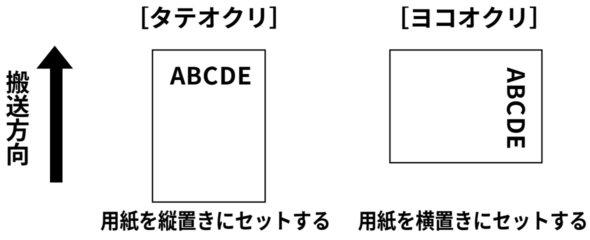
- **本項目を「フリー」に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、「9A MPガイド フセイ」というメッセージが表示され、プリントが中断します。このときエラースキップを行うとプリントは再開しますが、データが欠けてプリントされることがあります。**
- **「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、オンラインキーを押してエラーを解除してプリントしてください。**
- **「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。**
- **「フウトウ Y4」は洋形4号に、「フウトウ K2」は角形2号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10mm内側までとなります。詳しくは、ユーザーズガイド「用紙について」をご覧ください。**
- **給排紙選択メニューでも同様の設定ができます（→ P.112）。**

デフォルト用紙サイズ **A4、B4、A3、A5、B5**

アプリケーションソフトで用紙サイズが設定できない場合など、プリンタが処理を行う用紙サイズを決定できないときのための論理上の用紙サイズを設定します。

用紙の向き **ジドウ、タテオクリ、ヨコオクリ**

横置きにも縦置きにもセットできる用紙を使うときに、用紙の置きかたを設定します。
給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙の置きかたが、横置きのときは「ヨコオクリ」に、縦置きのときは「タテオクリ」に設定してください。自動的に認識させたいときは「ジドウ」に設定します。
なお、本項目は置き方を設定するだけなので、本項目を変更しても用紙に印字する向きは変わりません。



メモ

- **A4とレターサイズの場合は、トレイから給紙することで縦置きと横置きができます。カセットから給紙するときは横置きだけです。**
- **A5とB5サイズの場合は、専用のオプションカセットで給紙すると、縦置きができるようになります。**
- **LIPSモードの場合、印字の向きは、LIPS専用セットアップメニューの「ページの向き」（→ P.73）で設定できます。**
- **LIPS以外のモードの場合、「ジドウ」に設定すると、自動的に「ヨコオクリ」として処理されます。**

トレイ優先　シナイ、スル

給排紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合に、プリンタが給紙トレイから順に給紙口を検知するかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、次の順序で行われます。

カセット 1 → カセット 2 → カセット 3 → カセット 4 → ペーパーデッキ → 給紙トレイ

「スル」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、給紙トレイから次の順序で行われます。

給紙トレイ → カセット 1 → カセット 2 → カセット 3 → カセット 4 → ペーパーデッキ

メモ

- **自動給紙は、給排紙選択メニューの「給紙モード」（→ P.110）で設定します。**
- **本項目は、給排紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合にのみ有効です。**
- **本項目を「スル」に設定しても、給紙トレイの用紙サイズと受信データの用紙サイズが異なるときは、給紙トレイからは給紙されません。**
- **自動給紙では、受信データの用紙サイズが現在選択されている給紙口の用紙サイズと合致する場合は、優先的に現在選択されている給紙口から給紙されます。この場合は、本項目が「スル」に設定されていても給紙トレイから給紙されません。**
- **LBP-2300では、カセット1、カセット3、カセット4、ペーパーデッキはオプションです。**
- **LBP-2360では、カセット3、カセット4、ペーパーデッキはオプションです。**

自動選択

トレイ .... ツカウ、ツカワナイ
カセット 1* .... ツカウ、ツカワナイ
カセット 2............. ツカウ、ツカワナイ
カセット 3* .... ツカウ、ツカワナイ
カセット 4* .... ツカウ、ツカワナイ
ペーパーデッキ * ... ツカウ、ツカワナイ

＊「カセット 1」は、LBP-2300 では「カセット 1 使用」が「スル」に設定されている場合にのみ表示されます。
＊「カセット 3」、「カセット 4」は、オプションの 2 × 500 枚ペーパーデッキが装着されている場合にのみ表示されます。
＊「ペーパーデッキ」は、オプションの 2000 枚ペーパーデッキが装着されている場合にのみ表示されます。

自動給紙が設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙口を設定します。給紙トレイ、給紙カセット、ペーパーデッキのそれぞれについて設定します。「ツカウ」に設定すると、それぞれの給紙口を自動給紙の対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、それぞれの給紙口を自動給紙の対象としません。

メモ

- **自動給紙は、給排紙選択メニューの「給紙モード」（→ P.110）で設定します。**
- **「カセット 1」は、LBP-2300 ではオプションです。**

デフォルト用紙タイプ　フツウシ、アツガミ、OHP、コウタクフィルム

通常使用する用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。
厚紙（106g/m^2 ～ 135g/m^2）に印刷する場合は「アツガミ」、光沢フィルムの場合は「コウタクフィルム」、OHP フィルムの場合は「OHP」、ラベル用紙の場合は「アツガミ」に設定します。
給紙トレイを使う場合で、プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）からプリントする場合は、必ずデフォルト用紙タイプとトレイ用紙タイプの設定を一致させます。

メモ

- **「アツガミ」、「コウタクフィルム」、「OHP」のいずれかに設定した場合、両面印刷は行えません。また、印刷速度が遅くなります。**
- **封筒の場合は、「トレイ用紙サイズ」が「フウトウ Y4」または「フウトウ K2」に設定されていれば、このメニューで設定する必要はありません。**
- **はがきの場合は、「トレイ用紙サイズ」が「ハガキ」に設定されていれば、このメニューで設定する必要はありません。**

トレイ用紙タイプ　フツウシ、アツガミ、OHP、コウタクフィルム、フリー

給紙トレイにセットする用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された給紙トレイの用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。

厚紙（106g/m^2～135g/m^2）に印刷する場合は「アツガミ」、光沢フィルムの場合は「コウタクフィルム」、OHPフィルムの場合は「OHP」、ラベル用紙の場合は「アツガミ」に設定します。

給紙トレイを使う場合で、プリンタドライバを使用できないOS（MS-DOSやUNIXなど）からプリントする場合は、必ずトレイ用紙タイプとデフォルト用紙タイプの設定を一致させます。

お願い

- **本プリンタでは、給紙トレイにセットされた用紙のタイプに応じて、内部的に最適な印刷モードに切り替えて印刷します。給紙トレイにセットした用紙のタイプと印刷モードが異なると、エンジンに重大な故障が生じる恐れがあります。**
  WindowsやMacintoshから給紙トレイを使ってプリントする場合は、給紙トレイにセットされた用紙のタイプと「トレイ用紙タイプ」の設定、およびプリンタドライバの「用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタの設定とプリンタドライバの設定が一致していないとエラーメッセージが表示され、プリンタは停止します。
  また、プリンタドライバを使用できないOS（MS-DOSやUNIXなど）からプリントする場合は、給紙トレイにセットされた用紙のタイプと「トレイ用紙タイプ」の設定、および「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
- **「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定したメディアタイプのチェックを行いません。プリンタドライバで設定した用紙と給紙トレイにセットした用紙のタイプが合っているかを必ず確認してお使いください。**
- **OHPフィルムにプリントする場合は、本プリンタ専用の「キヤノンカラーレーザOHP用紙TR-3 A4（A4サイズ）」をお使いください。**
- **光沢フィルムにプリントする場合は、本プリンタ専用の「キヤノン カラーレーザ 光沢フィルム GF-1 A4」をお使いください。**

メモ

- **「アツガミ」、「コウタクフィルム」、「OHP」のいずれかに設定した場合、両面印刷は行えません。また、印刷速度が遅くなります。**
- **封筒の場合は、「トレイ用紙サイズ」が「フウトウ Y4」または「フウトウ K2」に設定されていれば、この項目で設定する必要はありません。**
- **はがきの場合は、「トレイ用紙サイズ」が「ハガキ」に設定されていれば、このメニューで設定する必要はありません。**
- **給排紙選択メニューでも同様の設定ができます（→ P.113）。**

ハガキ優先　ガシツ、スピード

ハガキにプリントする場合に、印字品位を優先するかプリントする速度を優先するかを設定します。
「ガシツ」を設定すると、印字品位を保つために速度を通常の1/3に落としてプリントします。
「スピード」を設定すると、通常の速度でプリントします。

手差し両面　1メンメ、2メンメ

給紙トレイにセットした普通紙や厚紙を手動で両面プリントするときの印刷面を設定します。
表面（最初にプリントする面）にプリントするときは「1メンメ」を設定します。
裏面（すでに表面にプリント済み）にプリントするときは、「2メンメ」を設定します。

お願い

- **本プリンタで一度プリントした用紙の裏面にプリントする場合は、必ず「2メンメ」を設定してください。**
- **はがきに両面プリントする場合は、先に裏面（文面側の面）をプリントしてください。次に「2メンメ」を設定して表面（宛名側の面）をプリントしてください。**

カセット1使用*　シナイ、スル

＊LBP-2300の場合にのみ表示されます。

LBP-2300の場合に、オプションのカセット1を使用するかどうかを設定します。
LBP-2300ではオプションの500枚カセットを、カセット1として上段カセット部に装着しても自動的に検知しません。したがって必ず本項目で設定する必要があります。

お願い

- **オプションの500枚カセットを装着した場合、必ず本項目を「スル」に設定してください。「スル」に設定しないと、「カセット1」（上段カセット部に装着したオプションの500枚カセット）を使用することはできません。**
  また、上段カセット部にオプションの500枚カセットを装着していない場合は、本項目を「スル」に設定しないでください。500枚カセットを装着していない状態で本項目を「スル」に設定した場合、設定後に電源を入れ直したり、ハードリセット操作を行うと、「17　カセット1　ヨウシ　ナシ」が表示されます。
- **カセット1を使用する場合は、本項目を「スル」に設定したうえでプリンタドライバ側での設定を行ってください。設定の方法については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。**
- **本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。**

3 レイアウトグループの設定項目

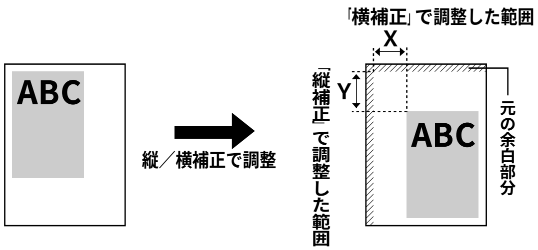
縦補正
横補正

-50.0mm 〜 0.0mm 〜 +50.0mm

設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらして調整します。
設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

●縦補正
　設定値が増えると用紙の Y 方向の余白が広くなります。
　設定値が減ると用紙の Y 方向の余白が狭くなります。

●横補正
　設定値が増えると用紙の X 方向の余白が広くなります。
　設定値が減ると用紙の X 方向の余白が狭くなります。



お願い

● **印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けてプリントされますのでご注意ください。**

メモ

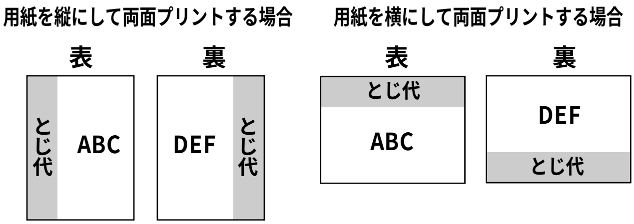
● **>キーを押すたびに設定値が0.5mmずつ増え、<キーを押すたびに設定値が0.5mmずつ減ります。また、>キーあるいは<キーから指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。**

とじ方向

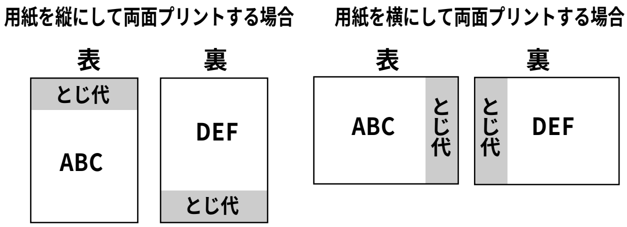
ナガテ、ミジカテ

とじる位置を、用紙の長い辺（長手）にするか短い辺（短手）にするかを設定します。両面プリントをしてとじるときには、表面と裏面とで、とじ代の位置も自動的に調整します。
とじ代用の余白の幅や、上／下／左／右とじのいずれにするのかは、「とじ幅」で設定します（→次項目）。

●長手の場合



●短手の場合

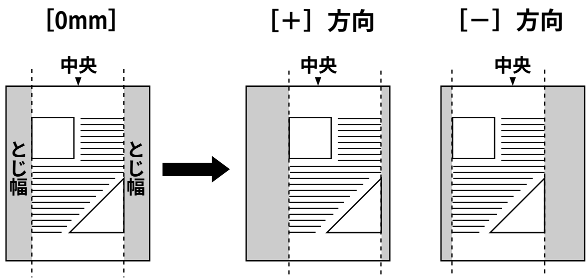


メモ

- **本項目だけを設定してもとじ代をあけることはできません。「とじ幅」と組み合わせて設定することによってとじ代をあけることができます。**

とじ幅　-30.0mm ～ 0.0mm ～ +30.0mm

とじ代用の余白をあけてプリントするときの、余白の幅を設定します。設定した値だけ画像をずらして余白を作ります。「＋」の値で画像を＋方向にずらし、「－」の値で画像を－方向にずらします。



用紙の長短どちらの辺にとじ代をあけるのかは「とじ方向」（→前項目）で設定します。用紙の上下左右のどの辺にとじ代をあけるかは、「とじ方向」の設定と本項目の設定を「＋」にするか「－」にするかの組み合わせにより決まります。

お願い

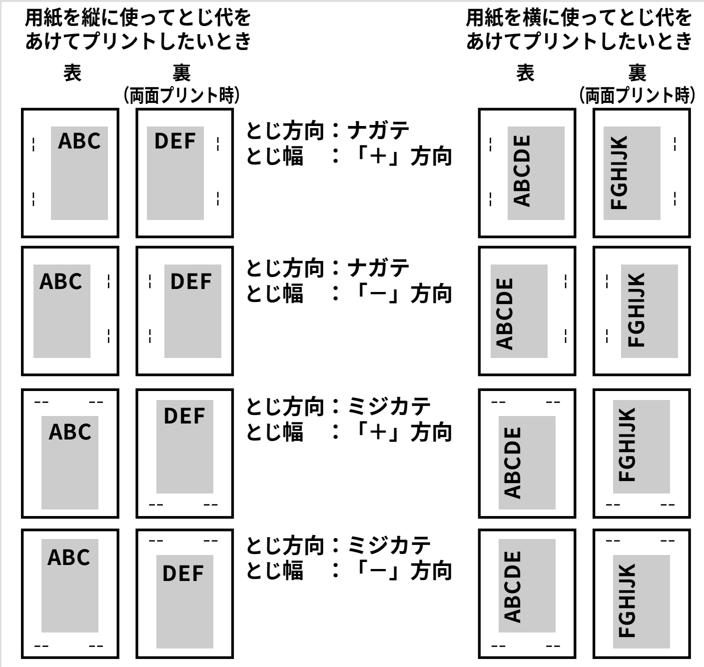
- とじ幅を設定した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けてプリントされますのでご注意ください。

メモ

- ⊳キーを押すたびに設定値が0.5mmずつ増え、⊲キーを押すたびに設定値が0.5mmずつ減ります。また、⊳キーあるいは⊲キーから指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。
- 「縦補正」「横補正」と本項目を同時に設定した場合は、「縦補正」「横補正」の処理が行われたあとで本項目の処理が行われます。

▶とじ方向ととじ幅の設定

下図の仕上りイメージを参考にして、とじ方向ととじ幅を設定してください。



用紙を縦に使ってプリントするか、横に使ってプリントするかは、アプリケーションソフトなどで設定します。

4 印字調整グループの設定項目

スーパースムーズ　ツカウ、ツカワナイ

文字や図形のギザギザの輪郭をなめらかにプリントするスムージング処理を使うかどうかを設定します。
「ツカウ」を設定した場合スムージング処理を使ってプリントします。「ツカワナイ」を設定した場合スムージング処理を使わずにプリントします。

メモ

- **スーパースムージングの効果は、文字やグラフィックのパターンによって異なります。**
- **「カラー中間調」（→ P.58）の項目が「カイチョウ」で、「階調処理」（→ P.57）の項目が「ヒョウジュン」に設定されている場合は、スムージング処理は行われません。**

データ処理　ファイン、クイック

モノクロデータの解像度を設定します。
解像度は1インチあたりのドット数を示すdpi（dot per inch）という単位で表され、数値が大きいほど高い精度でプリントできます。
「クイック」を設定した場合、解像度300dpiでプリントします。印字の精度がそれほど必要とされない場合にこのモードをお使いください。ファインモードよりも高速でプリントできます。
「ファイン」を設定した場合、解像度600dpiのファインモードでプリントします。クイックモードよりも若干、印刷時間がかかることがありますが、高解像度でプリントできます。
カラーデータの場合は、本項目の設定に関わらず、常に600dpiでプリントされます。

お願い

- **データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、ファインモードでプリントされない場合があります。そのような場合は、「印字動作」（→ P.60）の項目を「ガシツユウセン」に設定してください。**
- **モノクロデータを300dpiの解像度でプリントしたいときは、本項目を「クイック」に設定するとともに、「カラーモード」（→ P.57）の項目を「モノクロ」に設定してください。「カラーモード」の項目を「ジドウ」に設定すると、600dpiの解像度でプリントされます。**

階調処理　コウカイチョウ1、コウカイチョウ2、ヒョウジュン

600dpiのカラー／モノクロデータを、標準の階調で印刷するか、高階調で印刷するかを設定します。
線画や解像度の低いデータなど、それほど高い階調が必要ないときは「ヒョウジュン」に、写真などを一般的な品質でプリントするときは「コウカイチョウ1」に、より高い品質でプリントするときは「コウカイチョウ2」に設定すると効果的です。

メモ
- **本項目は解像度が600dpi のデータに有効な処理なので、クイックモードのモノクロデータには無効です。**
- **データのサイズによって、高階調モードでプリントできずに標準モードでプリントされることがあります。その場合は、標準のRAM（32MB）に加えてオプションの拡張RAMを増設してください。**

カラーモード　ジドウ、カラー、モノクロ

カラープリントを行うか、モノクロプリントを行うかを設定します。「ジドウ」に設定した場合は、アプリケーションでの指示にしたがって切り替わります。この場合、解像度は、モノクロ、カラーともに600dpi になり、「階調処理」で設定した品位でプリントされます。

お願い
- **「ジドウ」の場合は、モノクロ／カラーに関わらず、600dpiの解像度でプリントされます。モノクロデータを300dpiの解像度でプリントしたいときは、「データ処理」（→P.56）の項目を「クイック」に設定したうえで、本項目を「モノクロ」に設定してください。**

モノクロ中間調　パターン1、パターン2

モノクロデータの微妙な階調（中間の階調）の表現方法を設定します。
「パターン1」を設定した場合、テキストデータは輪郭がはっきりと見えるディザパターンで、グラフィックデータやイメージデータは微妙な階調をなめらかに再現するディザパターンで処理されます。
「パターン2」を設定した場合は、テキスト、グラフィック、イメージといったデータの種類に関わらず同じディザパターンで処理されます。

メモ
- **パターン1でプリントされるのは、ファインモードの場合のみです。**

カラー中間調

テキスト............ カイゾウド、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド
グラフィック .... カイゾウド、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド
イメージ............ カイゾウド、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド

テキスト、グラフィック、イメージといったカラーデータの種類ごとに、最適なディザパターンを設定します。
「カイゾウド」に設定した場合は、解像度重視の線数の高いディザパターンを使用します。エッジ部分のギザギザが目立たず、一般的な文字やグラフィックなどをプリントするときに向いています。
「カイチョウ」に設定した場合は、階調を優先したディザパターンを使用します。グラデーションなどの微妙な階調をなめらかに再現するときに向いています。
「シキチョウ」に設定すると、色調を優先したディザパターンを使用します。色ずれなどが発生するイメージをプリントするときに向いています。安定した色調でプリントされます。
「コウカイゾウド」に設定すると、「カイゾウド」よりさらに線数の高いディザパターンを使用します。小さい文字や特に細い線をプリントするときに向いています。

特殊中間調

ツカワナイ、ツカウ

カラーデータの階調部分で、ディザパターンと網掛けパターンが干渉し合っているとき、本項目を設定します。
通常は「ツカワナイ」に設定しておきますが、カラープリントで色抜けが発生したり、用紙を縦に使う場合と横に使う場合とで色が異なる場合に本項目を「ツカウ」に設定します。「ツカウ」に設定すると、カラーデータの中間調をランダムなディザパターンで表現します。

メモ

- **本項目はLIPS モードにおける文字やグラフィックの単色カラーのみが対象です。他のイメージデータなどには無効です。**
- **本項目を「ツカウ」に設定すると、処理に若干時間がかかります。**

バンド制御

スル、シナイ

本プリンタでは、最小限のメモリで高画質のプリントを実現するために、「バンド制御」という処理を行っています。
通常は「スル」に設定しておいてください。「21　プリント　オーバーラン」というメッセージが表示される場合に、必要に応じて「シナイ」に設定してください。

> **▶バンド制御とは**
> **本プリンタでは、標準32MBのメモリ容量で、A3サイズまでのデータを600dpiの高解像度で印字可能にするために、「バンド制御」という処理を行っています。**
> **バンド制御を行わない場合は、パソコンからのデータを１ページ分まとめてビットマップ展開してから出力します。これに対して、バンド制御を行う場合は、パソコンから受信したデータを解析し、プリントに必要な部分のみを順次ビットマップ展開するので、メモリが少なくてすみ、高速に処理できます。**
> **しかし、バンド制御の処理では、データが複雑であるとビットマップ展開に時間がかかり、出力とのタイミングがずれてしまうことがあります。そのようなときは、「21　プリント　オーバーラン」というエラーメッセージが表示されます。**
> **このエラーが起きる場合に、バンド制御をしない設定にしてください。**

画質警告

ケイゾク、テイシ

「データ処理」（→P.56）の項目が「ファイン」に設定されていたり、「階調処理」（→P.57）の項目が「コウカイチョウ」に設定されていても、高品位のプリントを通常の品位に落としてプリントすることがあります。それは、大量のデータや複雑なデータなどを受信して処理に必要なメモリが不足したためです。本項目では、そのようなときにエラーメッセージを表示するかどうかを設定します。
「ケイゾク」を設定した場合は、メッセージを表示せずに、自動的に品位を落としてプリントします。「テイシ」を設定した場合は、メッセージを表示してプリントを停止します。その場合、（オンライン）キーを押すと、品位を落としてプリントを再開します。

メモ

- **本項目を「テイシ」に設定したとき、エラーが発生すると「36　カイチョウ　テイカ」あるいは「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが表示されます。この場合、（オンライン）キーを押してエラーを解除することもできますが、処理スピードや印字品位が低下することがあります。**
- **本項目を「テイシ」に設定して、「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下のように設定してプリントしてください。**
  1.「印字動作」（→P.60）の項目を「ガシツユウセン」に設定する
  2. 1の対処を行ってもメッセージが表示される場合は、「階調処理」（→P.57）の項目を以下のように設定する
  ・「コウカイチョウ2」に設定されているときは「コウカイチョウ1」に設定
  ・「コウカイチョウ1」に設定されているときは「ヒョウジュン」に設定
  ＊ただし、この場合、階調を落としてプリントされます。
  3. 2の対処を行ってもメッセージが表示される場合や、階調を落とさずにプリントしたい場合は、オプションの拡張RAMを増設する

- **本項目を「テイシ」に設定して、「36　カイチョウ　テイカ」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下のように設定してプリントしてください。**
  1.「階調処理」（→ P.57）の項目が「コウカイチョウ2」に設定されているときは「コウカイチョウ1」に設定する
  ＊ただし、この場合、階調を落としてプリントされます。
  2. 1の対処を行ってもメッセージが表示される場合や、階調を落とさずにプリントしたい場合は、オプションの拡張 RAM を増設する
- **本項目を「テイシ」に設定すると、受信するデータの種類によって処理に必要なメモリが不足した場合に「28　ビョウガメモリ　フル」というメッセージを表示してプリントを停止するようにもなります。この場合、オンラインキーを押すとエラーを解除してプリントを続けることができます。ただし、正しくプリントされないことがあります。**

フォームキャッシュメモリ　ツカワナイ、ツカウ *

＊「ツカウ」は、32MB 以上の拡張メモリ（RAM）が増設されている場合にのみ表示されます。

オーバレイプリントに使用するフォーム画像を保持するメモリを確保するかしないかを設定します。
フォームキャッシュ機能は、登録されたフォームデータをあらかじめ画像として展開した状態でメモリ上に保持し、必要に応じて再利用します。より高速のオーバレイプリントが可能になります。

お願い

- **本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。**

メモ

- **搭載されている RAM 容量や、ハードディスクや rip once（リップワンス）機能のために配分されているメモリの容量によっては、フォーム画像のためのメモリ領域が保持できない場合があります。**
- **本項目は、別売のアプリケーション「FormCraft Pro.」によるオーバレイ出力時に利用します。LIPS 専用セットアップメニューの「オーバレイ 1」「オーバレイ 2」では利用できません。**

印字動作　ジドウ、ガシツユウセン、トウロクユウセン

メモリ（RAM）の配分のしかたや、データの処理方法について設定します。
本プリンタに搭載されている RAM（標準で 32MB）は、データを展開するための描画メモリ、図形などの処理のためのシステムワークメモリ、受信したデータを一時的にためておくための受信バッファなど、いろいろな用途に使われます。
本プリンタでは各用途ごとに個別に設定しなくても自動的にメモリを配分し、最適な環境を実現します。
ただし、複雑で大量のデータをプリントする場合や、ハードディスクを搭載して多彩な機能を使う場合（LBP-2360 のみ）などは、必要に応じて本項目でメモリの配分のしかたを設定しておきます。

また、本項目の設定はメモリの配分のしかたを変えるだけではなく、データの処理方法も変えるので、効率よく目的に合ったプリントを行うことができます。
「ジドウ」に設定すると、描画メモリ、システムワークメモリ、受信バッファ用にそれぞれ自動的にメモリを配分します。通常はこの設定にしておいてください。
「ガシツユウセン」に設定すると、描画メモリとシステムワークメモリを優先して確保します。また、できるだけ画質が低下しないようなデータの処理方法にするので、より確実に高品位なプリントができるようになります。ただし、プリントのスピードが若干遅くなることがあります。「ジドウ」に設定していて「36　カイチョウ　テイカ」や「38　ガシツ　テイカ」などのエラーが表示される場合に設定してください。
「トウロクユウセン」に設定すると、描画メモリは「ガシツユウセン」の場合より少なく、システムワークメモリや受信バッファは適切な値に設定します。そしてフォントや、オーバレイプリントに使用するフォームデータなどの登録用の領域のための空き容量を確保します。

お願い

- **本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。**

メモ

- **「ガシツユウセン」に設定していても、オプションを装着していたり、複雑で大量のデータをプリントする場合、高品位な画質でプリントできないことがあります。**

▶「ガシツユウセン」に設定した場合

プリンタの搭載メモリや、フォームキャッシュメモリ、ハードディスク、rip once（リップワンス）の設定内容によって、プリントできるデータサイズ（印字保証サイズ）の目安は次のようになります。大量で複雑なデータの場合でも印字保証サイズ以下であれば、指定した解像度と階調で画質を落とさずにプリントすることができます。

－：設定不可　○：「使う」　×：「使わない」

総RAM容量（拡張RAM容量）	印字保証サイズ	フォームキャッシュメモリ	ハードディスク 注2	rip once 注2（リップワンス）
32（標準）	B4	－	－	－
64（＋32MB）注1	B4×2	×	×	－
	B4×2	×	○	－
	B4×2	○	×	－
	LG×2	○	○	－
96（＋64MB）	LG×4	×	×	×
	LG×4	×	○	×
	B4	×	○	○
	LG×4	○	×	×
	A3×2	○	○	×
160（＋128MB）	A3×4	×	×	×
	A3×4	×	○	×
	LG×4	×	○	○
	A3×4	○	×	×
	A3×4	○	○	×
	LG×4	○	○	○
256（＋256MB）	B4×8	×	×	×
	B4×8	×	○	×
	B4×4	×	○	○
	B4×8	○	×	×
	B4×8	○	○	×
	B4×4	○	○	○

注1：表中に（＋●●MB）とあるのは、標準のRAM（32MB）に加えて必要な拡張RAM（オプション）の容量を示します。
注2：ハードディスク、rip once（リップワンス）が設定できるのはLBP-2360のみです。

上記の印字保証サイズは「データ処理」の項目が「ファイン」、「階調処理」の項目が「ヒョウジュン」に設定されていて、片面プリントの場合の値です。プリント時のデータ処理解像度や階調によって、次のように印字保証可能なサイズが変わります。上記の表の用紙サイズから換算してください。

データ処理........ クイック：4倍、ファイン：等倍
階調 .... 標準：等倍、高階調1：1/2倍、高階調2：1/4倍
両面モード........ 片面：等倍、両面：1/2倍

印字保証サイズはプリンタの空きメモリ（RAM）容量によって、上記の表のサイズよりも小さくなる場合があります。空きメモリ（RAM）容量は、オプションのコントロールROMを装着したり、フォントやオーバレイのデータをプリンタに登録したときなどに少なくなります。また、印字保証サイズは本項目を「ガシツユウセン」に設定しているときのみ、ステータスプリントで確認することができます。

5 インタフェースグループの設定項目

インタフェース選択　**ジドウ、セントロニクス、USB、ヒョウジュン ネットワーク*、カクチョウネットワーク***

＊「ヒョウジュンネットワーク」は、LBP-2360の場合にのみ表示されます。
＊「カクチョウネットワーク」は、LBP-2360/2300でオプションの拡張インタフェースボードが搭載されている場合にのみ表示されます。

パソコンと接続するときのインタフェースの種類を設定します。
「ジドウ」に設定した場合は、パソコンに応じて、接続しているインタフェースを自動的に切り替えてプリントすることができます。先にデータを受信したインタフェースに自動的に切り替えるので、種類の異なるインタフェースに同時に接続しているときでも、そのつどプリンタ側で設定を変更する必要がありません。
「セントロニクス」、「USB」、「ヒョウジュン ネットワーク」、「カクチョウネットワーク」は、それぞれのインタフェースのみを使用する場合に設定します。

お願い

- **本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。**

メモ

- **本項目を「ジドウ」ではなくセントロニクス、USBなど、個別のインタフェースに設定すると、データ処理速度が速くなることがあります。**

セントロニクス設定 *　**A-B-A、A-B、B-A**

busy-ack

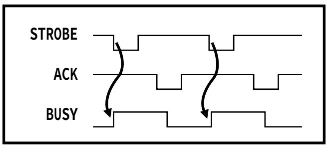
＊「インタフェース選択」の項目で「ジドウ」または「セントロニクス」を設定した場合にのみ表示されます。

BUSY信号とACKNLG信号の出力順位を変更します。通常は「A-B-A」に設定しておいてください。

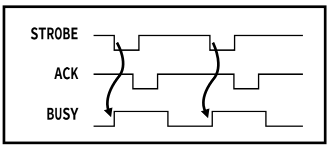
メモ

- **各設定値ごとのBUSY信号とACKNLG信号の出力順位は次のとおりです。**

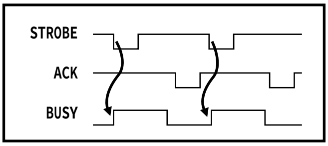
「A-B-A」：



「A-B」　：



「B-A」　：



セントロニクス設定 * コウソク、チュウソク、テイソク
セントロ受信速度

*「インタフェース選択」の項目で「ジドウ」または「セントロニクス」を設定した場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータを受信する速度を設定します。
通常は「コウソク」に設定しておいてください。

メモ

●「コウソク」に設定されている場合に、プリンタのデータ受信の速度が速すぎて、パソコンからのデータ送信が間に合わなくなり、プリントが行われないことがあります。このような場合は、「チュウソク」または「テイソク」に設定してください。

セントロニクス設定 * コウソク、チュウソク、テイソク
セントロ送信速度

*「インタフェース選択」の項目で「ジドウ」または「セントロニクス」を設定した場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースからデータを送信する速度を設定します。
通常は「コウソク」に設定しておいてください。

セントロニクス設定 * ドウサモード イゾン、リセット
インプットプライム

*「インタフェース選択」の項目で「ジドウ」または「セントロニクス」を設定した場合にのみ表示されます。

パソコンからインプットプライム（プリンタのリセット信号）を受信したときの処理を設定します。
「ドウサモード　イゾン（動作モード依存）」は、インタフェースの種類の設定で「ジドウ」または「セントロニクス」を選択している場合に機能します。インプットプライムを受信すると、動作中のモード（LIPS、ESC/P、オプションのエミュレーションのいずれか）の処理に依存します。
「リセット」は、インタフェースの種類の設定で「セントロニクス」を選択している場合にのみ機能します。インプットプライムを受信すると、プリンタをリセットします。

メモ

- **リセットを行うと、いったん受信したデータがキャンセルされます。プリント中の場合は、プリントを中止して、残りのデータは破棄されます。**
- **インプットプライムを受信したときは、「03　インプット　プライム」と表示されます。**
- **本項目を「ドウサモード イゾン」に設定した場合、LIPSモードではジョブを終了します。エミュレーションモードでは、各モードのエミュレーションの対象となるプリンタ（ESC/Pエミュレーションでは ESC/P 準拠プリンタ）と同じ処理を行います。**

セントロニクス設定双方向 * ECP、ニブル、ツカワナイ

＊「インタフェース選択」の項目で「ジドウ」または「セントロニクス」を設定した場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータの双方向通信を設定します。通常は「ECP」に設定しておいてください。
「ECP」を設定した場合は、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ECPモード、ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。
「ニブル」を設定した場合は、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。
「ツカワナイ」を設定した場合は、パソコンからプリンタへのデータ伝送は行いますが、プリンタからパソコンへのデータ伝送は行いません。

メモ

- **本プリンタのパラレルインタフェースは、IEEE 1284.4規格に準拠しています。これは従来のセントロニクスインタフェースを拡張したもので、パソコンとプリンタとの双方向通信、データ伝送速度の高速化、パケットプロトコルを実現しています。本プリンタはIEEE 1284.4 規格の中の ECP モード、ニブルモード、バイトモードのプロトコルに対応しています。**
- **お使いのパソコンやインタフェースケーブルが、プリンタと双方向でデータを伝送する機能を持っているかどうか、あるいはどのプロトコルに対応しているかについては、パソコンのマニュアルをご覧ください。**
- **パソコン側に、プリンタと双方向でデータを伝送する機能がない場合は、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。**
- **Windows を使って本プリンタと双方向通信を行う場合は、本プリンタに付属している専用プリンタドライバをお使いください。**
- **Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコン側にエラーメッセージが表示された場合には、再度プリントを行うか、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。**
- **Windowsを使って双方向通信をしているときに、パソコンによっては、「ECP」に設定するとデータをプリントできない場合があります。その場合は、「ニブル」または「ツカワナイ」に設定してプリントしてください。**
- **本項目を「ツカワナイ」に設定したときは、Windows のプリンタドライバの設定で双方向通信機能を使わないように設定してください。設定については「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。**

標準ネットワーク＊ TCP/IP

フレームタイプ ..... ETHERNET 2、ムコウ
IP モード .... シュドウ、ジドウ
プロトコル
DHCP .... オフ、オン
BOOTP .... オフ、オン
RARP .... オフ、オン
アドレス
IP アドレス 192.168.0.215
サブネットマスク ..0.0.0.0
ゲートウェイアドレス ..0.0.0.0

＊ LBP-2360 の場合にのみ表示されます。

LBP-2360 に標準で搭載されているネットワークボードの TCP/IP 設定を行います。「フレームタイプ」、「IP モード」、「プロトコル」、「アドレス」について設定します。
「プロトコル」はさらに「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」の項目に分かれているので、使う項目をそれぞれオンで設定します。
「アドレス」はさらに「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の項目に分かれているので、それぞれの数値を入力します。

お願い
- **本項目で設定した後、必ず「標準ネットワーク」の「設定登録」（→次項目）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんのでご注意ください。**

メモ
- **「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」で入力する数値は、「192.168.0.215」などのように「.」で区切られた 4 つのフィールドからなります。まず (>) キーや (<) キーを押して目的のフィールドを選択して、(∨) キーを押します。そのフィールドが点滅し、数値を入力できるようになります。**
続いて、(>) キーや (<) キーを押すと、0 〜 255 の間で数値が増減するので、目的の数値を選択してから (∨) キーを押します。
- **設定の内容については、ネットワークガイド　第 2 章「TCP/IP ネットワークで使用するには」をご覧ください。**

標準ネットワーク＊ 設定登録

＊ LBP-2360 の場合にのみ表示されます。

LBP-2360 に標準で搭載されているネットワークボードの設定を登録します。
「標準ネットワーク」の「TCP/IP」（→前項目）の設定内容を登録します。

標準ネットワーク＊設定初期化

＊LBP-2360の場合にのみ表示されます。

LBP-2360に標準で搭載されているネットワークボードの設定を工場出荷値に戻します。

メモ
● **標準ネットワークを選択した後、次の階層で「セッテイ　ショキカ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで〔∨〕キーを押すと初期化が行われます。〔∨〕キーを押さずに〔オンライン〕キーを押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。**

拡張ネットワーク＊TCP/IP

フレームタイプ ..... ETHERNET 2、ムコウ
IPモード .... シュドウ、ジドウ
プロトコル
DHCP .... オフ、オン
BOOTP .... オフ、オン
RARP .... オフ、オン
アドレス
IPアドレス .... （数値）
サブネットマスク ..（数値）
ゲートウェイアドレス ..（数値）

＊操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが搭載されている場合にのみ表示されます。
＊工場出荷時の設定値は、装着するネットワークボードによって異なります。

LBP-2360/2300にオプションで搭載された拡張ネットワークボードのTCP/IP設定を行います。
「フレームタイプ」、「IPモード」、「プロトコル」、「アドレス」について設定します。
「プロトコル」はさらに「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」の項目に分かれているので、使う項目をそれぞれオンで設定します。
「アドレス」はさらに「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の項目に分かれているので、それぞれの数値を入力します。

お願い
● **本項目で設定した後、必ず「拡張ネットワーク」の「設定登録」（→次項目）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんのでご注意ください。**

メモ

- **工場出荷時の設定値は、装着するネットワークボードによって異なります。**
- **「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」で入力する数値は、「192.168.0.215」などのように「.」で区切られた 4 つのフィールドからなります。まず(>)キーや(<)キーを押して目的のフィールドを選択して、(∨)キーを押します。そのフィールドが点滅し、数値を入力できるようになります。**
  続いて、(>)キーや(<)キーを押すと、0～255 の間で数値が増減するので、目的の数値を選択してから(∨)キーを押します。
- **設定の内容については、オプションの拡張ネットワークボードに付属の取扱説明書をご覧ください。**

拡張ネットワーク * 設定登録

＊オプションの拡張ネットワークボードが搭載されている場合にのみ表示されます。

LBP-2360/2300にオプションで搭載された拡張ネットワークボードの設定を登録します。
「拡張ネットワーク」の「TCP/IP」（→前項目）の設定内容を登録します。

拡張ネットワーク * 設定初期化

＊オプションの拡張ネットワークボードが搭載されている場合にのみ表示されます。

LBP-2360/2300にオプションで搭載された拡張ネットワークボードの設定を、工場出荷値に戻します。

メモ

- **拡張ネットワークを選択した後、次の階層で「セッテイ　ショキカ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ ?」という確認のメッセージが表示されます。ここで(∨)キーを押すと初期化が行われます。(∨)キーを押さずに(オンライン)キーを押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。**

コネクション認識 * スル、シナイ

＊「インタフェース選択」の項目で「ジドウ」または「ヒョウジュンネットワーク」、「カクチョウネットワーク」を設定した場合にのみ表示されます。

標準／拡張ネットワークボードを使用してプリントした場合に、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けやオーバレイプリントが正しくできない等）があります。そのような場合に、本項目を「シナイ」に設定してください。

お願い

- **本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。**

第 4 章

LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

LIPS 専用セットアップメニュー　設定項目一覧

設定項目	設定値	内容
拡大／縮小	シナイ、→A3、→B4、→A4、→B5、→A5、→ハガキ、→リーガル、→レター	拡大または縮小プリントの設定をします。
複数ページ印刷	シナイ、2ページ(ヒダリ)、2ページ(ミギ)、4ページ(ヨコ-ヒダリ)、4ページ(ヨコ-ミギ)、4ページ(タテ-ヒダリ)、4ページ(タテ-ミギ)	複数のページを縮小して並べ、1ページにプリントします。
複数ページ余白	パターン1、パターン2	「複数ページ印刷」時の余白のとりかたを設定します。
ページの向き	タテ、ヨコ	用紙を縦に使うか横に使うかを設定します。
オーバレイ1／2	シナイ、0 〜 32767	オーバレイプリントを行うかどうかを設定します。
カラーオーバレイ	シナイ、スル	カラーオーバレイページを使うか否かを設定します。
スタートアップマクロ	0 〜 30 〜 32767	スタートアップマクロ機能を使用するかどうかを設定します。
漢字コード	JIS 、シフト JIS、EUC、DEC	コンピュータで使用している漢字コードに合わせて、漢字コードを設定します。
文字サイズ	10 ポイント、12 ポイント、8ポイント	印字する文字の大きさ（文字の高さ）を設定します。
漢字書体	ミンチョウ、ゴシック	漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。
ANK 書体	ミンチョウ、ゴシック、ラインプリンタ	半角英数字や半角カナなどの ANK 文字の書体を設定します。
漢字グラフィックセット	JIS90、JIS78	JIS 漢字コードで使用する漢字グラフィックセットを設定します。
行数	6LPI、8LPI、10 〜 99	1インチまたは1ページにプリントする行数を設定します。
桁数	ジドウ、10CPI、12CPI、15CPI、10 〜 200	1インチまたは1行にプリントする文字数を設定します。
自動改ページ	スル、シナイ	改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページしてプリントするかどうかを設定します。
自動改行	スル、シナイ	復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に改行してプリントするかどうかを設定します。
CR 機能	CR ノミ、CR+LF	復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。
LF 機能	LF ノミ、LF+CR	改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。
網かけ解像度	クイック、ファイン	ファインモード時の網かけデータの解像度を設定します。
ジョブタイムアウト	シナイ、スル	共通セットアップメニューで設定した「タイムアウト」を有効にするかどうかを設定します。
白紙節約	ツカウ、ツカワナイ	白紙ページを排出するか否かを設定します。

＊　グレーで示されている設定値は、工場出荷時の値です。

拡大／縮小

シナイ、→ A3、→ B4、→ A4、→ B5、→ A5、→ハガキ、→リーガル、→レター

拡大または縮小プリントの設定をします。
アプリケーションソフトで作成したデータサイズと、設定値で指定した出力用紙サイズから、自動的に倍率を計算して、拡大／縮小してプリントします。

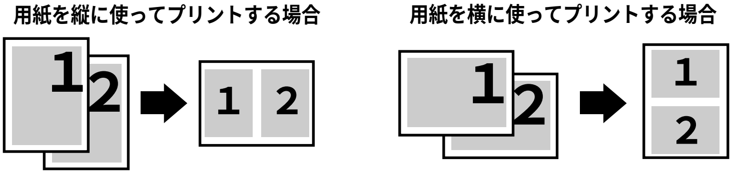
メモ

- **アプリケーションソフトで作成するデータのサイズが定形サイズ（A4、B5 など）でない場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。**
- **拡大／縮小の処理は、データの左上端を基点として処理します。**
- **拡大／縮小でプリントすると、線の太さにムラが生じたり、細い線が消えたりすることがあります。**
- **アプリケーションソフトからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小してプリントされないことがあります。**
- **拡大／縮小率が 25 ～ 200%の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍でプリントされます。この場合正しいプリント結果にはなりません。**

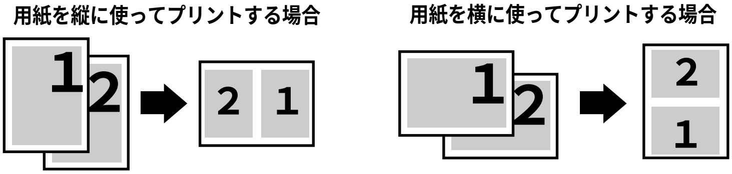
複数ページ印刷

シナイ、2ページ（ヒダリ）、2ページ（ミギ）、4ページ（ヨコ - ヒダリ）、4ページ（ヨコ - ミギ）、4ページ（タテ - ヒダリ）、4ページ（タテ - ミギ）

アプリケーションソフト側で作成したデータを、2ページ分または4ページ分を並べて1ページにプリントできます。
「2ページ（ヒダリ）」を設定した場合は、2ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

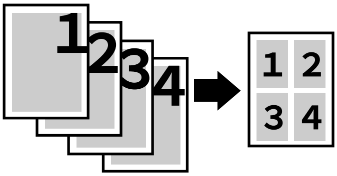


「2ページ（ミギ）」を設定した場合は、2ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

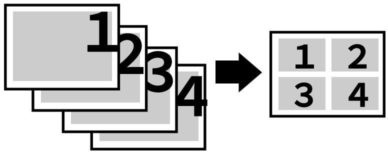


「4ページ（ヨコーヒダリ）」を設定した場合は、4ページ分のデータを、左上から横方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

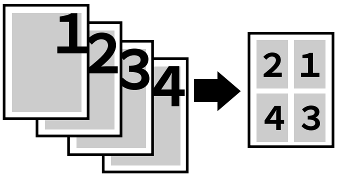


用紙を横に使ってプリントする場合

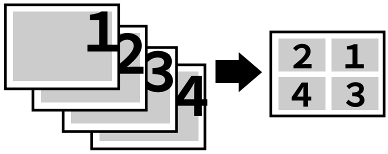


「4ページ（ヨコーミギ）」を設定した場合は、4ページ分のデータを、右上から横方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

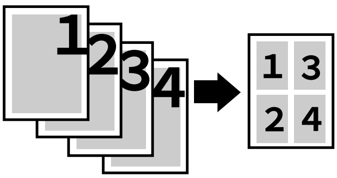


用紙を横に使ってプリントする場合

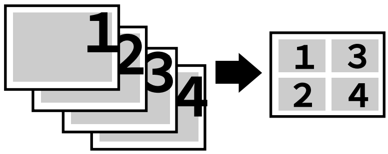


「4ページ（タテーヒダリ）」を設定した場合は、4ページ分のデータを、左上から縦方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

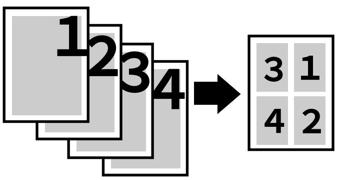


用紙を横に使ってプリントする場合

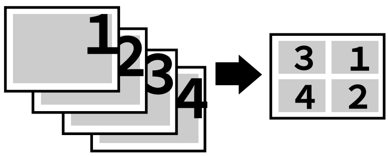


「4ページ（タテーミギ）」を設定した場合は、4ページ分のデータを、右上から縦方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合



用紙を横に使ってプリントする場合

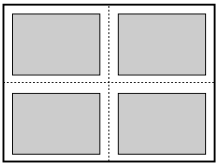


メモ

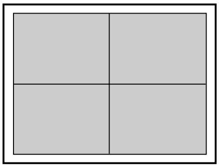
- **異なるサイズのページデータを並べて１ページにプリントすることはできません。**
- **拡大／縮小と複数ページ印刷を同時に設定し縮小率が25%より小さくなる場合、複数ページ印刷は行われず正しいプリント結果にはなりません。**

複数ページ余白　パターン1、パターン2

「複数ページ印刷」（→P.71）の機能を使って２ページ分または４ページ分を並べてプリントする場合の、余白のとりかたを設定します。
「パターン1」を設定した場合は、各ページが接する部分に余白をつけてレイアウトします。



「パターン2」を設定した場合は、各ページが接する部分に余白をつけずにレイアウトします。

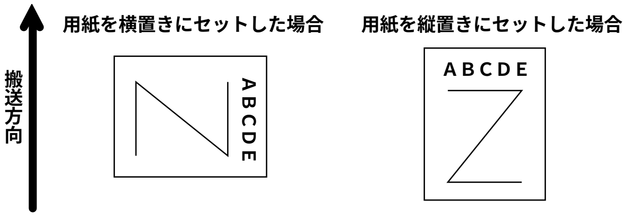


メモ

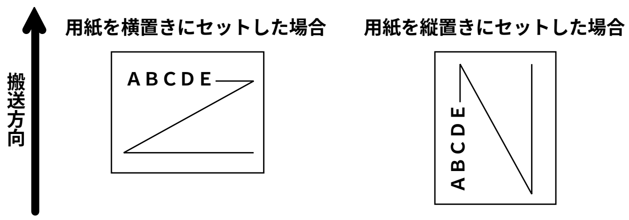
- **「パターン1」と「パターン2」とでは余白のとりかたが違うため、画像の縮小率が異なります。「パターン1」よりも「パターン2」のほうが若干画像が大きくなります。**
- **「パターン2」に設定した場合でも、用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白がつくことがあります。**

ページの向き　タテ、ヨコ

用紙を縦に使ってプリントするのか、横に使ってプリントするのかを設定します。
「タテ」を設定した場合は、用紙をセットした向き（置き方）に関わらず、用紙を縦に使ってプリントします。



「ヨコ」を設定した場合は、用紙をセットした向き（置き方）に関わらず、用紙を横に使ってプリントします。



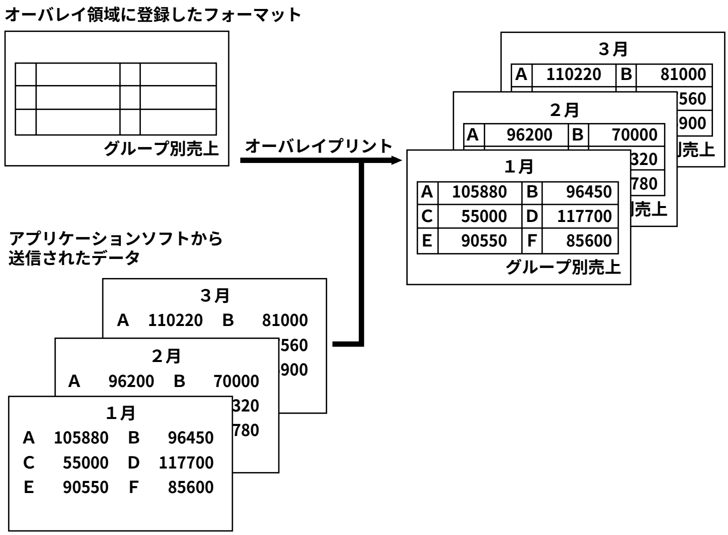
オーバレイ１
オーバレイ２

シナイ、0 ～ 32767

オーバレイプリントを行うかどうかを設定します。オーバレイプリントを行う場合は、オーバレイプリントで使うフォーマットデータの番号を指定します。

オーバレイプリントとは、各ページに共通するタイトルや表組みなどのフォーマットを、あらかじめプリンタのオーバレイ領域に登録し、後から別のデータを重ねてプリントする機能です。オーバレイプリントを行うと、各ページ共通のデータを、ページごとにアプリケーションソフト側から送る必要がないため、効率良くプリントすることができます。

オーバレイ領域には、１ページ分のフォーマットを最大で32,768種類登録することができます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側からLIPSのコントロールコマンドで行います。登録の際にはフォーマットに０～32767の番号をつけて登録します。本項目では、オーバレイ１あるいはオーバレイ２として、どの番号のフォーマットを選択するかという設定だけを行います。



メモ

- **オーバレイの内容は、電源を切るかハードリセット操作を行うと削除されます。**
- **オーバレイ領域に登録したフォーマットデータの内容や番号、サイズは、LIPS専用ユーティリティの「オーバレイプリント」、「オーバレイリスト」で確認することができます（→ P.107）。**
- **登録するフォーマットをLIPSのコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」をご覧ください。**

カラーオーバレイ　シナイ、スル

オーバレイプリントのモノクロのフォーマットを登録する際に、モノクロデータをカラーモードで使用可能にするかどうかを設定します。本項目では、モノクロのフォーマットをカラー化するかどうかを設定するだけで、登録そのものは行いません。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側からLIPSのコントロールコマンドで行います。また、オーバレイプリントを行うかどうかは、「オーバレイ１」、「オーバレイ２」（→前項目）で設定します。
「シナイ」を設定するとオーバレイプリントのモノクロのフォーマットをカラーデータ化しません。「スル」を設定するとオーバレイプリントのモノクロのフォーマットをカラーデータ化します。

メモ

- **本項目は、セットアップメニューの印字調整グループの「カラーモード」（→ P.57）を「カラー」に設定してあるときに有効になります。**

スタートアップマクロ　0 ～ 30 ～ 32767

スタートアップマクロ機能を使用するかどうかを設定します。使用しない場合は「0」を、使用する場合は実行したいマクロ番号を指定します。
スタートアップマクロ機能は、あらかじめパソコン側で作成したLIPSのコントロールコマンドのプログラムを、プリンタのマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド（ハードリセット、ソフトリセット、パラメータリセット）で実行するようにする機能です。
マクロ領域には、最大で１～32767番までの32,767種類のプログラムを登録することができます。登録は、アプリケーションソフト側からLIPSのコントロールコマンドで行います。プリンタ側では、本項目で実行したいマクロの番号の選択だけを行います。選択した番号のマクロはリセットを行うたびに実行されます。

メモ

- **登録したマクロの番号やサイズなどは、LIPS専用ユーティリティの「マクロリスト」で確認することができます（→ P.107）。**
- **登録するプログラムをLIPSのコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」をご覧ください。**

漢字コード

JIS 、シフト JIS、EUC、DEC

コンピュータで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。
通常は「JIS」に設定しておきますが、次のような場合に「JIS」以外の設定値を設定します。

- アプリケーションソフトを使わず、MS-DOSのテキストデータをそのままプリントするときには「シフト JIS」を設定します。
- UNIXをOSとするワークステーションやパソコンを使用するときには「EUC」（Extended Unix Code：UNIX 拡張コード）を設定します。
- DEC 漢字コードを採用しているワークステーションを使用するときには「DEC」（DEC コード）を設定します。

各漢字コードの文字セットは、次のようにG0～G3の割り当てテーブルに割り当てられます。

	シフトJIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字

GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0～G1	G0～G1	解除	解除

お願い

- **「シフトJIS」を設定した場合は、LIPS のC1制御命令は使用できなくなりますが、ビット長を 7 ビット形式で送信すれば、LIPS のコマンドとして動作します。**

メモ

- **指定された文字セットが存在しない場合は、近い属性の文字セットを使用してプリントします。**
- **本項目で漢字コードを設定するということは、漢字コード体系に応じて文字セットを割り当てテーブルに割り当てるということです。JISで規定されていない拡張文字などはプリントされません。**
  上記以外の漢字コードを使用する場合は、アプリケーションソフト側で文字セットを割り当ててください。
- **JIS 漢字コードには「新 JIS 」と「旧 JIS 」があります。新 JIS と旧JIS の切り替えは、「漢字グラフィックセット」（→ P.78）で設定します。**
- **UNIX では EUC を採用していますが、中には OS のデバイスドライバが JIS 漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、コンピュータの操作説明書をご覧ください。**

文字サイズ

10 ポイント、12 ポイント、8 ポイント

印字する文字の大きさ（文字の高さ）をポイント数で設定します。
1 ポイントは約 0.35mm（1/72"）です。
コントロールコマンドで LIPS III または LIPS IV を使用しているときと、LIPS II⁺ を使用しているときとでは同じ設定値でも、実際にプリントされる大きさが次のように異なります。

- 「10 ポイント」：
  LIPS III ／ IV ＝ 10 ポイント　LIPS II⁺ ＝ 9.6 ポイント
- 「12 ポイント」：
  LIPS III ／ IV ＝ 12 ポイント　LIPS II⁺ ＝ 12 ポイント
- 「８ポイント」：
  LIPS III ／ IV ＝８ポイント　LIPS II⁺ ＝ 7.2 ポイント

設定値	LIPS III／IV	LIPS II⁺
8ポイント	8　文字サイズ	7.2　文字サイズ
10ポイント	10　文字サイズ	9.6　文字サイズ
12ポイント	12　文字サイズ	12　文字サイズ

メモ

- **LIPS II⁺ のときのポイント数（7.2、9.6）はディスプレイに表示されません。**

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック

漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。

「ミンチョウ」	「ゴシック」
明朝体	**ゴシック体**

ANK 書体

ミンチョウ、ゴシック、ラインプリンタ

半角英数字や半角カナなどの ANK 文字の書体を設定します。
ANK とは、Alphabet、Numeric、Kana の略です。

ミンチョウ	123　ABC　ﾐﾝﾁｮｳﾀｲ
ゴシック	123　ABC　ｺﾞｼｯｸﾀｲ
ラインプリンタ	123　ABC　ﾗｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀ

漢字グラフィックセット JIS90、JIS78

「漢字コード」(→P.76)の種類で「JIS」を選択した場合に使用する漢字グラフィックセットを設定します。
JIS 漢字コードには「新 JIS（JIS90）」と「旧 JIS （JIS78 ）」があります。新 JIS コードは、旧 JIS コードに特殊記号、ケイ線、漢字などを追加、変更したものです。

メモ

- **グラフィックセットとは、パソコンからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。**
- **新 JIS と旧 JIS の漢字コード表は付属の CD-ROM に収録されています。CD-ROM をご覧ください。**

行数 6LPI、8LPI、10 〜 99

１インチまたは１ページにプリントする行数を設定します。
LPI は Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数の単位を表します。
「6LPI」を設定した場合は、１インチに６行プリントします。
「8LPI」を設定した場合は、１インチに８行プリントします。
「10 〜 99」を設定した場合は、１ページにプリントする行数を 10 〜 99 行の範囲で設定します。「10」を選択してから▷キーを押すと行数が増え、◁キーを押すと行数が減ります。

桁数 ジドウ、10CPI、12CPI、15CPI、10 〜 200

１インチまたは１行にプリントする文字数を設定します。
CPI は、Characters Per Inch の略で、１インチあたりの文字数の単位を表します。
「自動」を設定した場合は、現在選択しているフォントに応じた文字数でプリントします。
「10CPI」を設定した場合は、１インチに 10 桁プリントします。
「12CPI」を設定した場合は、１インチに 12 桁プリントします。
「15CPI」を設定した場合は、１インチに 15 桁プリントします。
「10 〜 200」を設定した場合は、１行にプリントする文字数を 10 〜 200 の範囲で設定します。「10」を選択してから▷キーを押すと桁数が増え、◁キーを押すと桁数が減ります。

自動改ページ　スル、シナイ

印字位置が有効印字領域の下端を超えようとしたとき、改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページしてプリントするかどうかを設定します。

メモ

- **「シナイ」に設定した場合は、パソコンから改ページコード（FF）が送られるまで印字位置を変更しません。**

自動改行　スル、シナイ

印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に改行してプリントするかどうかを設定します。

メモ

- **「シナイ」に設定した場合は、パソコンから復帰コード（CR）、改行コード（LF）が送られるまで印字位置を変更しません。**

CR 機能　CR ノミ、CR+LF

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。
「CR ノミ」を設定した場合は、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置をその行の第一文字目（左マージン）に移動します。
「CR ＋ LF」を設定した場合は、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

LF 機能　LF ノミ、LF+CR

改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。
「LF ノミ」を設定した場合は、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行に移動します。桁位置はそのままです。
「LF ＋ CR」を設定した場合は、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

網かけ解像度　クイック、ファイン

ファインモードでプリントするときの、網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。
「クイック」を設定した場合は、300dpi用にデザインされたパターンを2倍に拡大して使用します。
「ファイン」を設定した場合は、600dpi用にデザインされたパターンを使用します。「クイック」よりも高精度でプリントできます。

メモ

- **本項目は、共通セットアップメニューの「データ処理」（→ P.56）の項目が、「ファイン」に設定されている場合にのみ有効です。**
- **データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、ファインモードでプリントされない場合があります。その場合は、本項目を「クイック」に設定していた場合よりも、「ファイン」に設定していた場合のほうが、印字の精度が低下することがあります。**

ジョブタイムアウト　シナイ、スル

共通セットアップメニューの「タイムアウト」（→P.40）の設定を有効にするかどうかを設定します。

お願い

- **オプションのハードディスク（LBP-2360のみ）を使用している場合は、次のように設定してください。**
  - **・本項目を「スル」に設定してください。**
  - **・共通セットアップメニューの「タイムアウト」（→ P.40）を「シナイ」以外に設定してください。なるべく工場出荷時の状態の「15秒」に設定しておくことをおすすめします。**

メモ

- **LIPS対応のアプリケーションソフトからESC/Pなどの他のエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われない場合に、本項目を「スル」に設定すると、タイムアウトでLIPSモードのジョブを終了して自動切り替えが行われるようになります。**

白紙節約　ツカウ、ツカワナイ

アプリケーションソフトから送られた改ページコード（FF）と改ページコードの間に印字するデータがない場合、そのページを白紙で排出するか否かを設定します。
「ツカウ」を設定すると白紙を排出しません。「ツカワナイ」を設定すると白紙を排出します。
この機能を使うと、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

第 5 章

ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

ESC/P セットアップメニュー　設定項目一覧

設定項目	設定値	内容
＜ページレイアウトグループ＞　→ P.84		
ページフォーマット	ジッスンタテ、ジッスンヨコ、10"→A4 タテ、15"→A4 ヨコ、15"→B4 ヨコ、B4→A4 タテ、B4→A4 ヨコ	ESC/P準拠プリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本プリンタ用の用紙サイズに変換します。
上余白	-127 ～ +000 ～ +127	印字開始位置を上下方向にずらします。
用紙位置微調整	-127 ～ +000 ～ +127	印字位置を左右方向にずらします。
領域	ヒョウジュン、ワイド	ページフォーマットにしたがったレイアウトでプリントするか、本プリンタの有効印字領域ほぼいっぱいにプリントするかを設定します。
右マージン既定値	136 ケタ、ミギハシ	実寸縦、実寸横のページフォーマットのときの、右マージンの位置を設定します。
用紙サイズ	カレントヨウシ、A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ	プリントする用紙のサイズを設定します。
2 ページ印刷設定	シナイ、ヒダリ、ミギ	２ページ分のデータを１ページにプリントするかを設定します。
＜フォントグループ＞　→ P.91		
漢字書体	ミンチョウ、ゴシック、マルゴシック *、ID	漢字などの全角文字の書体を設定します。
フォント ID*	001 ～ 002 ～ 999	オプションの漢字書体を指定します。
漢字サイズ	システム、8 ポイント、10 ポイント、12 ポイント	漢字などの全角文字のサイズを設定します。
文字コード	カタカナ、グラフィックス	1バイトコード表の文字セットを設定します。
国別文字	ニホン、ノルウェー、デンマーク2、スペイン 2、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン	国別文字を設定します。
＜印字機能グループ＞　→ P.93		
イメージの補正	シナイ、スル	矩形罫線や網掛けなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。
縮小文字	シナイ、スル	縮小文字プリントを設定します。
＜印字動作グループ＞　→ P.94		
改行機能	LF コマンドヲマツ、カイギョウ	復帰コード受信時の動作を設定します。

＜ VFC グループ＞　→ P.95		
連続用紙長	**システム、1ギョウ ～ 199ギョウ**	連続用紙で有効になるページ長を選択します。
単票用紙長	**システム、1ギョウ ～ 199ギョウ**	カット紙で有効になるページ長を選択します。
ミシン目スキップ	**シナイ、1 ギョウ～ 31 ギョウ**	ページ長で設定されている行数のうち、下端からプリントしない（スキップする）行数を設定します。
＜その他のグループ＞　→ P.97		
登録レベル	**イチジ、エイキュウ**	登録文字を保存するレベルを設定します。
カラーモード自動時	**カラー、モノクロ**	ESC/Pモードのデータを、カラーとモノクロのどちらでプリントするかを設定します。

＊グレーで示されている設定値は、工場出荷時の値です。

＊「*」印の付いている項目や設定値は、プリンタの機種や他の設定項目の内容によって、表示されるときと表示されないときがあります。

1 ページレイアウトグループの設定項目

ページフォーマット　**ジッスンタテ、ジッスンヨコ、10" → A4 タテ、15" → A4 ヨコ、15" → B4 ヨコ、B4 → A4 タテ、B4 → A4 ヨコ**

ESC/P準拠プリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本プリンタ用の用紙サイズに変換します。
アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、付録「ESC/P エミュレーションのページフォーマット」（→ P.122）も併せてご覧ください。なお、本プリンタにセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの「用紙サイズ」で設定します。
各設定値を設定した場合の処理は次のようになります。

メモ

● **用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。**

●「ジッスンタテ」
データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をESC/P 準拠プリンタに縦置きにセットしたときと同じプリント結果になります。
- **ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.89）は、データと同じ用紙サイズに設定します。**
- **「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます（→ P.88）。**

●「ジッスンヨコ」
データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をESC/P 準拠プリンタに横置きにセットしたときと同じプリント結果になります。
- **ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.89）は、データと同じ用紙サイズに設定します。**
- **「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます（→ P.88）。**

●「10" → A4 タテ」
10"×11"連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（80文字×66行）をA 4サイズに縮小してポートレイトでプリントします。

- **ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.89）は、A ４サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。**
- **ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます（→ P.88）。**
- **10" × 11" 連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。**

●「15" → A4 ヨコ」

15" × 11" 連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136 文字× 66 行）を A ４サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

- **ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.89）は、A ４サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。**
- **ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます（→ P.88）。**
- **15" × 11" 連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。**

●「15" → B4 ヨコ」

15" × 11" 連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136 文字× 66 行）を B ４サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

- **ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.89）は、B ４サイズが基本ですが、A3 サイズも選択できます。**
- **ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます（→ P.88）。**
- **15" × 11" 連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。**

●「B4 → A4 タテ」

B4サイズの実寸縦用のデータを3/4のサイズに縮小してA4サイズのポートレイトでプリントします。

- **ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.89）は、A ４サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。**
- **ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます（→ P.88）。**

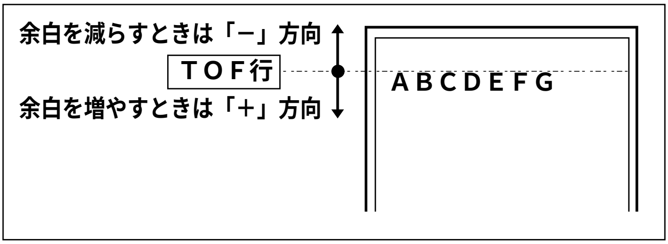
●「B4 → A4 ヨコ」

B4サイズの実寸横用のデータを3/4のサイズに縮小してA4サイズのランドスケープでプリントします。

- **ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→ P.89）は、A ４サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。**
- **ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます（→ P.88）。**

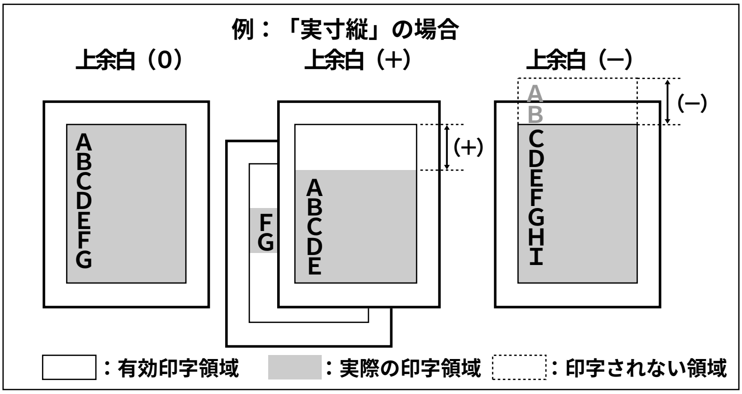
上余白　　-127 ～ +000 ～ +127

それぞれのページフォーマットで設定されている１行目（TOF）の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。
「＋」の値で下方向、「－」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。



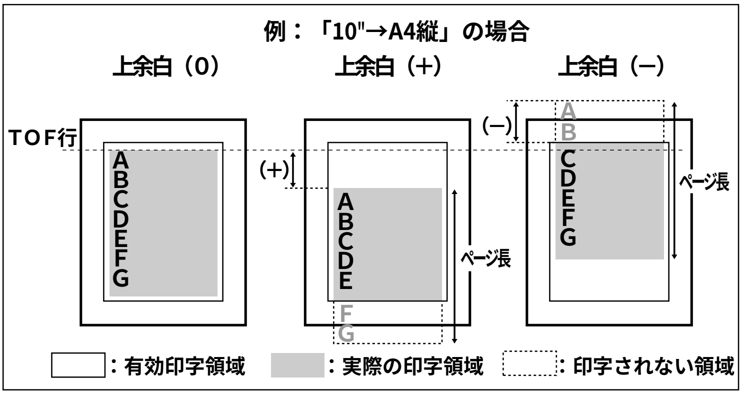
また、上余白を調整した結果は次のようになります。

● カット紙のページフォーマットの場合



・上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を超える場合は、次のページの１行目の位置からプリントされます。
・上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分はプリントされません。下端はボトム位置までプリントされます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

● 連続用紙のページフォーマットの場合



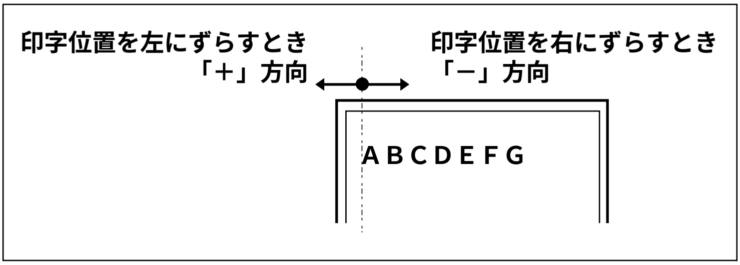
- **上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の１行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータはプリントされません。**
- **上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータはプリントされません。このとき、下端はページ長までのデータをプリントします。**

メモ

- **設定値が１増えると、ずらす位置が約 0.35mm（1/72"）増えます。**
- **用紙の上端を基準とした実寸縦のときの印字開始位置の目安は、「-127」で -23mm、「+000」で +22mm、「+127」で +67mm です。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域によって印字開始位置は変わります。**

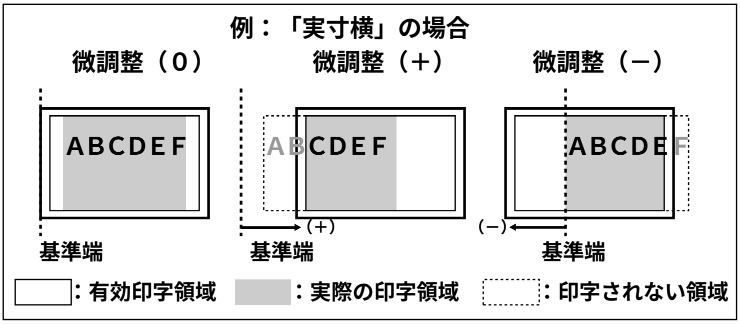
用紙位置微調整　-127 ～ +000 ～ +127

用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。
「＋」の値で左方向、「－」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。

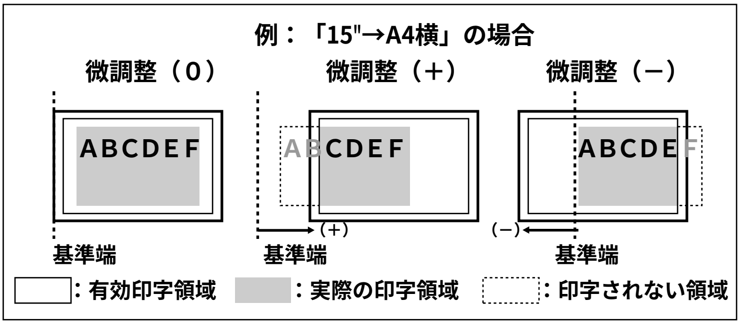


また、用紙位置を調整した結果は次のようになります。

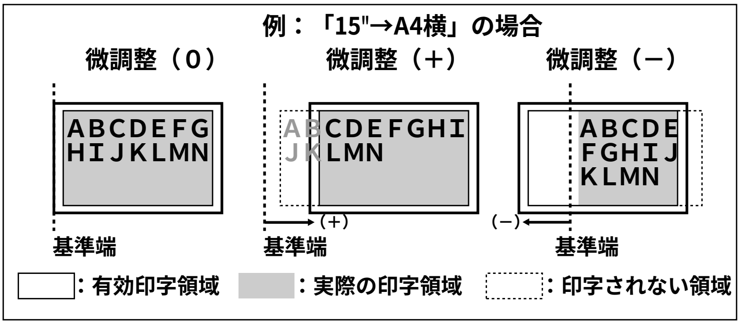
◆ 標準領域モードでの印字動作
　実寸サイズでプリントするページフォーマットの場合



縮小プリントするページフォーマットの場合



◆ ワイド領域モードでプリントする場合



メモ

- **設定値が１増えると、ずらす位置が約 0.35mm（1/72"）増えます。**
- **用紙の左端を基準とした実寸縦のときの印字開始位置の目安は、「-127」で +50mm、「+000」で +5mm、「+127」で -40mm です。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域モードによって印字開始位置が変わります。**
- **データに左端が欠けてプリントされる場合は、本項目の設定を調節して本プリンタの印字領域内（上下左右 5mm 以内）に入るようにしてください。**

領域

ヒョウジュン、ワイド

それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトでプリントする（標準）か、または本プリンタの有効印字領域ほぼいっぱいにプリントする（ワイド）かを設定します。実寸縦、実寸横で「用紙サイズ」が A3 のとき、および 10"→ A4 縦、15" → A4 横、15" → B4 横、B4 → A4 縦、B4 → A4 横のページフォーマットの場合に有効です。
ワイドに設定してプリントした場合、ESC/P準拠プリンタのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使ってプリントすることができます。レイアウトについては、付録「ESC/P エミュレーションのページフォーマット」（→ P.122）も併せてご覧ください。

メモ
- **用紙のサイズが小さい場合、「ワイド」に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。詳しくは、付録「ページフォーマットと印字範囲」（→P.126）をご覧ください。**

右マージン既定値　136 ケタ、ミギハシ

実寸サイズでプリントするページフォーマット（実寸縦、実寸横）のときの、右マージンの位置を設定します。
「136 ケタ」に設定した場合は、136 桁目の位置を右マージンとします。
「ミギハシ」に設定した場合は、現在の用紙サイズの有効印字領域の右端の位置を右マージンとします。

用紙サイズ　カレントヨウシ、A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ

プリントする用紙のサイズを設定します。
「カレントヨウシ」に設定した場合は、現在選択されている給紙口の用紙サイズを設定します。

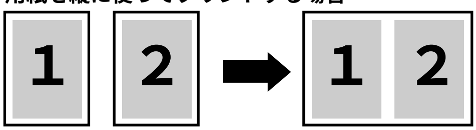
メモ
- **「カレントヨウシ」以外を設定したときに、本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。**
- **共通セットアップメニューの「トレイ用紙サイズ」（→ P.48）を「フリー」に設定して、給紙トレイからプリントする場合は、「カレントヨウシ」以外の設定値を選択してください。**

２ページ印刷設定　シナイ、ヒダリ、ミギ

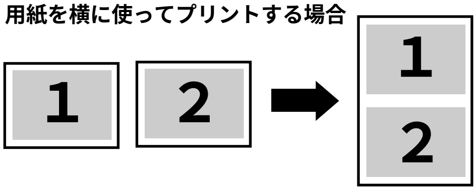
２ページ分のデータを並べて１ページにプリントするかどうかを設定します。アプリケーションソフト側で作成したデータがA4またはB5サイズの場合に限り有効です。

「ヒダリ」に設定した場合は、2ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

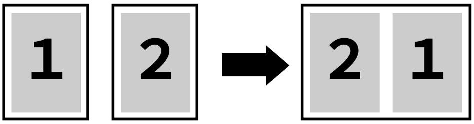


用紙を横に使ってプリントする場合

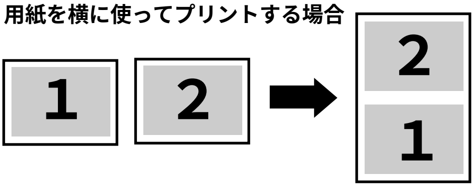


「ミギ」に設定した場合は、2ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合



用紙を横に使ってプリントする場合



メモ

- **この機能では、縮小はせずに原寸でプリントするので、アプリケーションソフト側で作成したデータがA4サイズのときはA3サイズの用紙にプリントされ、B5サイズのときはB4サイズの用紙にプリントされます。**
- **A4とB5サイズの異なるサイズのデータを並べて1ページにプリントすることはできません。**
- **A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態でプリントされます。**

2 フォントグループの設定項目

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック、マルゴシック*、ID

＊「マルゴシック」は LBP-2360 の場合にのみ表示されます。

漢字などの全角文字の書体を設定します。
オプションで追加した漢字書体を使用するときは、本項目を「ID」に設定したうえで、書体を ID 番号で指定します。ID 番号は「フォント ID」（→次項目）で指定します。

明朝体	明朝
ゴシック体	ゴシック
丸ゴシック体	丸ゴシック

フォントＩＤ*

001 ～ 002 ～ 999

＊「漢字書体」を「ID」に設定した場合にのみ表示されます。

「漢字書体」（→前項目）で「ID」を選択した場合に、実際に使用する書体の ID 番号を指定します。

お願い
- **装着されていないオプション書体の番号を指定しないでください。**

メモ
- **オプション書体の ID 番号については、付録「共通フォントリスト」（→ P.130）をご覧ください。**

漢字サイズ

システム、8 ポイント、10 ポイント、12 ポイント

漢字などの全角文字のサイズを設定します。
「システム」を設定した場合は、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズでプリントします。実寸縦、実寸横、10" → A4 縦、15" → B4 横、のページフォーマットでは10ポイント相当、15"→A4 横、B4→A4 縦、B4→ A4横のページフォーマットでは８ポイント相当です。

文字コード　カタカナ、グラフィックス

１バイトコード表に、カタカナまたは拡張グラフィックスの文字セットをセットします。
「カタカナ」を設定した場合は、データに１バイトコードの文字があったとき、カタカナの１バイトコード表に対応した文字でプリントします。
「グラフィックス」を設定した場合は、データに１バイトコードの文字があったとき、拡張グラフィックスの１バイトコード表に対応した文字でプリントします。

メモ
- **この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの文字コード設定機能に対応しています。**

国別文字　ニホン、ノルウェー、デンマーク２、スペイン２、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン

１バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、指定の国の文字セットをセットします。

3 印字機能グループの設定項目

イメージの補正　シナイ、スル

矩形罫線や網かけなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は「シナイ」に設定しておきます。次のような現象が出てしまうときに、本項目を「スル」に設定して、イメージデータを補正します。

・罫線が離れる
・網かけ上に縞（白い部分）が入る
・網かけに線が入る

メモ
- **本項目を「スル」に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本プリンタの解像度がESC/P準拠プリンタとは異なるためです。**

縮小文字　シナイ、スル

１バイトコード文字（ANK文字）を縮小してプリントするかどうかを設定します。
「スル」に設定した場合は、１バイトコード文字の横幅を1/2程度に縮小してプリントします。

メモ
- **この機能は、ESC/P準拠プリンタのDIPスイッチの縮小印字機能に対応しています。**
- **15CPIの文字は縮小プリントされません。**

4 印字動作グループの設定項目

改行機能

LF コマンドヲマツ、カイギョウ

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。
「LF コマンドヲマツ」を設定した場合は、パソコンから改行コード（LF）が送られるまで改行しません。復帰のみ行い、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。
「カイギョウ」を設定した場合は、印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、改行コード（LF）を受信しなくても復帰／改行を行い、自動的に次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。

メモ

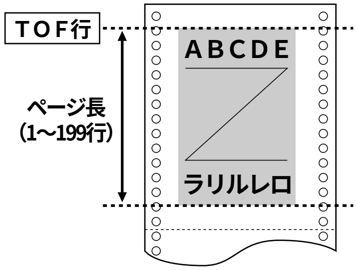
- **この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの自動改行に対応しています。**

5 VFC グループの設定項目

連続用紙長

システム、1 ギョウ ～ 199 ギョウ

連続用紙（10"→A4縦、15"→A4横、15"→B4横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか､操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。
「システム」を設定した場合は、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
「１ギョウ」～「199ギョウ」を設定した場合は、１ページにプリントする行数を１～199 行の範囲で設定します。



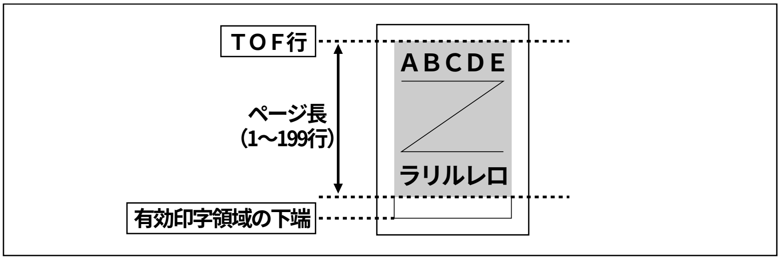
メモ

- 行間は１インチあたり６行（6LPI）です。（LPI は、Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数を表す単位です。）
- 設定値が１増えると、約 4.2mm（1/6"）ずつページ長が増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

単票用紙長

システム、1 ギョウ ～ 199 ギョウ

カット紙（実寸縦、実寸横、B4→A4縦、B4→A4横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか､操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。
「システム」を選択した場合は、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
「１ギョウ」～「199ギョウ」を選択した場合は、１ページにプリントする行数を１～199 行の範囲で設定します。



メモ

- 行間は１インチあたり６行（6LPI）です。（LPI は、Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数を表す単位です。）
- 設定値が１増えると、約 4.2mm（1/6"）ずつページ長が増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ　シナイ、1 ギョウ〜 31 ギョウ

ページ長で設定されている行数のうち、下端からプリントしない（スキップする）行数を設定します。
「シナイ」を設定した場合は、スキップしません。

メモ

- 行間は１インチあたり６行（6LPI）です。（LPI は、Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数を表す単位です。）
- 設定値が１増えると、約 4.2mm（1/6"）ずつスキップされる領域が増えます。
- 10" → A4 縦、15" → A4 横、15" → B4 横の連続用紙のページフォーマットと、B4 → A4 縦、B4 → A4 横のワイドモードで有効です。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

6 その他のグループの設定項目

登録レベル　イチジ、エイキュウ

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ保存するのか、電源をオフにするまで保存するのかを設定します。
「イチジ」を設定した場合は、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。
「エイキュウ」を設定した場合は、プリンタの電源をオフにするまで保存します。その場合、「ハードリセット」と表示されるまで（リセット）キーを押し続けてハードリセット操作を行うと、登録内容が削除されます。

メモ

- **プリンタはデータを受信すると、コントロールコマンドを認識してプリントを開始／終了します。この処理を「ジョブ」といいます。ジョブ中は、操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。**
- **登録データと通常のデータとを別々に送信する場合は「エイキュウ」に設定してください。**

カラーモード自動時　カラー、モノクロ

共通セットアップメニューの「カラーモード」（→P.57）が「ジドウ」に設定されている場合に、ESC/Pエミュレーションモードで受信したデータをカラーでプリントするか、モノクロでプリントするかを設定します。

メモ

- **共通セットアップメニューの「カラーモード」が「ジドウ」に設定されていない場合は、本項目の設定は無視され、共通セットアップメニューの「カラーモード」の設定にしたがってカラーまたはモノクロでプリントされます。**

第 6 章

セットアップ以外のメニューの設定項目

セットアップ以外のメニュー　設定項目一覧

設定項目	設定値	内容
<動作モードメニュー>　→ P.102		
自動選択		動作モードを自動的に切り替えます。
その他のエミュレーション *		動作モードを、オプションのエミュレーションモードに切り替えます。
LIPS		動作モードを LIPS モードに切り替えます。
ESC/P		動作モードを ESC/P モードに切り替えます。
HEX-DUMP		データを 16 進コードでプリントします。
LIPS-DUMP		データを LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。
シャットダウン *		オプションのハードディスクの機能を終了させ、電源を切れる状態にします。

優先エミュレーション		内容
<優先エミュレーションメニュー>　→ P.105		
ESC/P		ESC/P モードを優先エミュレーションにします。
なし		優先エミュレーションを設定しません。
その他のエミュレーションモード *		オプションのエミュレーションモードを優先エミュレーションにします。
LIPS		LIPS モードを優先エミュレーションにします。

共通ユーティリティ項目	専用ユーティリティ項目	内容
<ユーティリティメニュー>　→ P.106		
ステータスプリント		搭載している RAM の容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます
フラッシュメモリ *		オプションの拡張フラッシュメモリの内容消去を行います。
その他のエミュレーションモードのユーティリティ *		オプションのコントロール ROM を装着している場合に、そのエミュレーションのユーティリティを実行できます。
LIPS ユーティリティ *	ステータスプリント、フォントリスト、オーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリント、カラーサンプル	LIPS モードでのプリンタの内部情報をプリントします。
ESC/P ユーティリティ *	ステータスプリント	ESC/P モードでのプリンタの内部情報をプリントします。
フォントリスト		本プリンタに搭載されているフォントの ID 番号、名称、サンプルの一覧がプリントされます。

テストプリント		本プリンタの名称や、特徴などがプリントされます。
標準 N ／ W プリント ＊		LBP-2360 に標準で装着されているネットワークボードの情報をプリントします。
拡張 I ／ F プリント ＊		オプションの拡張インタフェースボードの情報をプリントします。
HD ユーティリティ ＊	**フォーマット1、フォーマット2**	オプションのハードディスクの内容消去を行います。
セキュアプリント ＊		セキュアプリントのデータをプリントします。

設定項目	設定値	内容
<給排紙選択メニュー>　→ P.110		
給紙モード	**ジドウ、カセット 1*、カセット 2、カセット3*、カセット4*、ペーパーデッキ *、トレイ**	給紙するカセットやトレイなどを選択します。
排紙選択モード	**ハイシトレイ *1、サブハイシトレイ *1**	排紙する場所を選択します。
	ジドウ *2、ビン 1 ハイシ *2 ～ビン7ハイシ*2、ハイシトレイ*2、ノンソートビン *2	
自動排紙モード ＊	**ユーザセパレート、ソート、スタック**	「排紙選択モード」（前項目）で「自動」を選択した場合の排紙モードを設定します。
ユーザセパレート ＊	**ジドウ、コテイ**	「自動排紙モード」（前項目）で「ユーザセパレート」を選択した場合のユーザセパレートモードを設定します。
トレイ用紙サイズ	**A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、フウトウ Y4、フウトウ K2、A5、B5**	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。
トレイ用紙タイプ	**フツウシ、アツガミ、OHP、コウタクフィルム、フリー**	給紙トレイの用紙の種類を設定します。

設定項目	設定値	内容
<両面メニュー>　→ P.115		
片面		用紙の片面にだけ印刷します。
両面 ＊		用紙の両面に印刷します。

＊グレーで表示されている項目は、工場出荷時の値です。

＊「*」印の付いている項目や設定値は、プリンタの機種やオプションの有無、他の設定項目の内容によって、表示されるときと表示されないときがあります。

＊排紙選択モードの「*1」印の付いている設定値は、オプションの7ビンソータを装着していない場合に表示されます。「*2」印の付いている設定値は、オプションの 7 ビンソータを装着している場合に表示されます。

1 動作モードメニューの設定項目

動作モードメニューでは、お使いのアプリケーションソフトのプリンタ選択画面で選択したプリンタ名の種類やプリントするデータの種類に合わせて、自動選択、LIPS、ESC/P、その他のオプションのいずれかの動作モードに切り替えることができます。また、HEX-DUMPやLIPS-DUMPなどでデータのダンプリストをプリントすることもできます。

自動選択
（自動モード）

パソコンから送信されたデータが、LIPSコマンドかESC/Pエミュレーションコマンド、あるいはその他のオプションのエミュレーションコマンドのいずれを使用しているのかを自動的に判別して、動作モードを切り替えます。アプリケーションソフトからプリントする場合、通常はこのモードでお使いください。
工場出荷時は自動選択が設定されています。

お願い

- **オプションのコントロールROMを装着している場合は、オプションのエミュレーションモードも含めて自動切り替えが行えます。ただし、本プリンタをIBM5577、HP-GLなどのプリンタのエミュレーションとしてお使いの場合で、パソコン側で専用のハンドシェークが必要な場合は、オプションのエミュレーションモードに固定してお使いください。**

メモ

- **工場出荷時の状態では、オプションのエミュレーションモードも含めてすべてのモードを対象に自動切り替えを行うように設定されていますが、自動切り替えの対象となるモードを限定することもできます。**

その他のエミュレーション *

＊オプションのコントロールROMを装着している場合にのみ表示されます。

オプションのエミュレーションモードに切り替えます。
オプションのコントロールROMを装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

LIPS
（LIPSモード）

LIPSモードに切り替えます。アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドがLIPSに限られる場合や、自動切り替えでうまくLIPSモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

ESC/P
（ESC/P エミュレーションモード）

ESC/Pエミュレーションモードに切り替えます。アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドがESC/Pに限られる場合や、自動切り替えでうまくESC/Pモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

HEX-DUMP
（ヘキサダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに16進コードでプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。
ヘキサダンプリストの見かたについては、付録「ダンプリスト」（→ P.127）をご覧ください。

LIPS-DUMP
（LIPS ダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずにLIPSのコントロールコマンドの形式でプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。
LIPSダンプリストの見かたについては、付録「ダンプリスト」（→ P.127）をご覧ください。

シャットダウン *

＊ LBP-2360でオプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクの機能を終了させます。
ハードディスクを装着している場合、いきなりプリンタの電源を切ると、ハードディスクのアクセス中に電源が切れてしまうおそれがあります。これを避けるため、本項目でハードディスクの機能を終了させてから電源を切るようにします。
動作モードメニューで「シャットダウン」を選択すると、シャットダウンを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。このとき（∨）キーを押すと、シャットダウンが実行されます。
シャットダウンが実行された後はデータ受信もパネル操作も行えない状態になります。再度プリントする場合は、電源を入れ直してください。

▶動作モードの自動切り替えについて

アプリケーションソフトのプリンタ選択画面で、常に特定のプリンタ名しか選択しない（特定のコントロールコマンドしか使わない）場合以外は、動作モードは自動切り替えに設定しておくと便利です。

自動切り替えに設定した場合は、受信したデータの順にコントロールコマンドの種類を認識して自動的に動作モードを切り替えてプリントします。

自動切り替えで正しく動作モードを切り替えたいときは、セットアップメニューの拡張機能グループの「タイムアウト」を設定しておく必要があります。ジョブタイムアウトは、データが入力されなくなってから一定時間以上たつと、それまで動作していた動作モードを終了し、次の動作モードに切り替われる状態にする機能です。工場出荷時は、データが入力されなくなってから15 秒たつと、動作モードを終了するように設定されています。

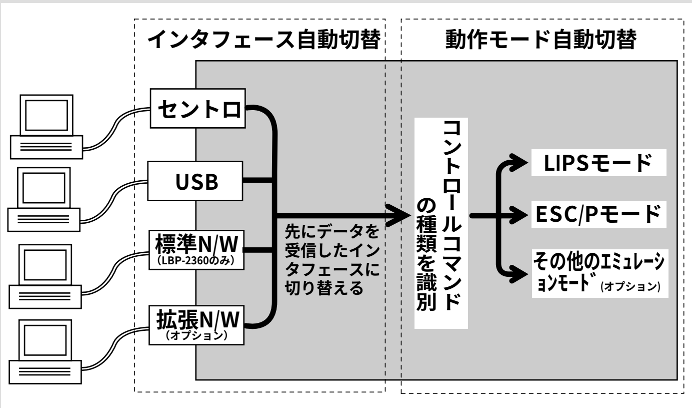
また、本プリンタにはインタフェースの種類を自動的に切り替える機能もあります。インタフェースの自動切り替えと動作モードの自動切り替えを同時に設定している場合は、次の順番で切り替えます。

①インタフェースを切り替える

データを先に受信したインタフェースに自動的に切り替えます。

②動作モードを切り替える

受信したデータのコントロールコマンドの種類を識別して、動作モードを自動的に切り替えます。



2 優先エミュレーションメニューの設定項目

優先エミュレーションメニューでは､動作モードの自動切り替えを設定した状態で､プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。

ESC/P
(ESC/P エミュレーションモード)

ESC/P エミュレーションモードを優先エミュレーションにします。
工場出荷時は､「ESC/P」に設定されています。

なし

優先エミュレーションを設定しません。
コントロールコマンドを識別できなかった場合は､以前の動作モードで引続き処理をします。

その他のエミュレーションモード *

＊オプションのコントロール ROM を装着している場合にのみ表示されます。

オプションのエミュレーションモードを優先エミュレーションにします。オプションのコントロールROM を装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

LIPS
（LIPS モード）

LIPS モードを優先エミュレーションにします。

3 ユーティリティメニューの設定項目

ユーティリティメニューでは、プリンタ内部の状態や、搭載されているフォントなどの情報をプリントすることができます。

メモ

- **共通ステータスプリント、共通フォントリスト、共通テストプリントの出力サンプルについては、付録「動作モード共通のリスト」（→ P.130）をご覧ください。LIPS のステータスプリントとフォントリスト、カラーサンプルの出力サンプルについては、付録「動作モード専用のリスト」（→ P.132）をご覧ください。**
- **各リストをA4より小さいサイズの用紙にプリントすると、画像が欠けてプリントされることがあります。**

ステータスプリント（共通ステータスプリント）

搭載しているRAMの容量や、セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

フラッシュメモリ *

＊オプションのフラッシュメモリを装着している場合にのみ表示されます。

オプションのフラッシュメモリの内容消去を行います。
ユーティリティメニューで「フラッシュ　メモリ」を選択してから「フォーマット」を選択し、内容を消去したいフラッシュメモリのブロックを選択します。

その他のエミュレーションモードのユーティリティ *

＊オプションのコントロールROMを装着している場合にのみ表示されます。

オプションのコントロールROMを装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。
詳しい内容はオプションのコントロールROMに添付のマニュアルをご覧ください。

LIPS ユーティリティ *（LIPS 専用ユーティリティ）

ステータスプリント、フォントリスト、オーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリント、カラーサンプル

＊「動作モード」が「自動選択」または「LIPS」に設定されている場合にのみ表示されます。

LIPS モードでのプリンタの内部情報をプリントします。

● ステータスプリント
共通ステータスプリントの内容に、LIPS 専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。
● フォントリスト
LIPS モードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。
● オーバレイリスト
オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータの番号とサイズを一覧にしてプリントします。登録されているフォーマットデータがない場合は、何もプリントされません。
● マクロリスト
マクロ領域に登録されているマクロの番号とサイズ、マクロが保存されている場所（RAM など）を一覧にしてプリントします。登録されているマクロがない場合は、何もプリントされません。
● フォームリスト
LIPS トランスレータで使用できるフォームをプリントします。フォームリストには、フォーム名称、フォームが格納されている場所、用紙サイズ、解像度、登録サイズなどがプリントされます。
● オーバレイプリント
オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、LIPS 専用セットアップメニューのオーバレイ１、２に設定されている番号のオーバレイの内容がプリントされます。オーバレイ１、２ともに設定されている場合は、両方の内容がプリントされます。設定されていない場合は何もプリントされません。
● カラーサンプル
LIPSトランスレータで使用できるカラー印字サンプルとして内蔵されているサンプルをプリントします。印字サンプルには、カラーテーブル、代表的なカラーパターンのサンプル、およびグレースケールがあります。

ESC/P ユーティリティ*（ESC/P 専用ユーティリティ）

ステータスプリント

＊「動作モード」が「自動選択」または「ESC/P」に設定されている場合にのみ表示されます。

ESC/P モードでのプリンタの内部情報をプリントします。
● ステータスプリント
共通ステータスプリントの内容に、ESC/P専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

フォントリスト（共通フォントリスト）

本プリンタに搭載されているフォントの ID 番号、名称、サンプルの一覧がプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

メモ
- **各エミュレータ内でのみ登録されるフォントは出力されません。**

テストプリント（共通テストプリント）

本プリンタの名称や、特長などがプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

標準 N ／ W プリント *

＊LBP-2360 の場合にのみ表示されます。

LBP-2360 に標準で装着されているネットワークボードのバージョン、設定内容などがプリントされます。

拡張 I ／ F プリント *

＊LBP-2360/2300 ともオプションの拡張ネットワークボードを装着している場合にのみ表示されます。

装着している拡張ネットワークボードの名称、バージョン、設定内容などがプリントされます。

HD ユーティリティ *　フォーマット 1、フォーマット 2

＊LBP-2360 でオプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクの内容消去を行います。
ユーティリティメニューで「HD ユーティリティ」を選択してから「フォーマット 1」または「フォーマット 2」を選択します。

- フォーマット 1
  ハードディスクのクイックフォーマットを行います。ハードディスクに異常が発生した場合に実行します。
- フォーマット 2
  ハードディスクの通常のフォーマットを行います。処理に数十分かかります。フォーマット 1 でも異常が解消しなかった場合に実行します。

セキュアプリント *

＊LBP-2360でオプションのハードディスクが装着されていて、セキュアプリントデータがある場合にのみ表示されます。

セキュアプリントのデータをプリントします。
セキュアプリントとは、あらかじめパソコン側でデータに設定しておいたドキュメント名、ユーザ名、パスワードを、プリンタの操作パネルで指定してプリントする機能です。本項目でドキュメント名やユーザ名、パスワードを指定しないとプリントできないので、ひとに見られたくないデータをプリントするときなどに便利な機能です。
本項目の操作の手順は次のとおりです。

1. ユーティリティメニューで「セキュアプリント」を選択します。
   →パソコン側であらかじめ設定してあるユーザ名が表示されます。
2. 該当するユーザ名を選択します。
   →パソコン側であらかじめ設定してあるドキュメント名が表示されます。
3. 該当するドキュメント名を選択します。
4. パスワードを入力します。
   →データがプリントされます。

メモ

- **パスワードは、数字のみ1文字以上7文字までで設定されています。本項目では、操作パネルで(>)キーや(<)キーを押して数字を選んでから(∨)キーを押すと、1文字指定されます。これを繰り返してパスワードのすべての数字を指定します。パスワードが6文字以内の場合、最後の数字を指定したあと、(∨)キーをもう一度押すとプリントされます。7文字の場合は、最後の数字を指定した時点でプリントされます。**
- **ドキュメント名、ユーザ名、パスワードの設定は、プリンタドライバで行います。**
- **セキュアプリントのデータは、プリントした後自動的に消去されます。また、電源を切るかハードリセットやソフトリセット操作を行うと消去されます。**
- **一定時間が経過すると、プリントされていないセキュアプリントデータを自動的に消去することができます。消去時間の設定は、セットアップメニューの拡張機能グループの「セキュアプリント消去」（→ P.46）で行います。**

4 給排紙選択メニューの設定項目

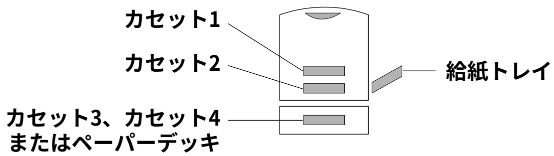
給排紙選択メニューでは、どの給紙元から給紙してどの排紙先に排紙するかや、給紙トレイにセットする用紙サイズを設定することができます。

給紙モード

ジドウ、カセット 1*、カセット 2、カセット 3*、カセット 4*、ペーパーデッキ *、トレイ

＊「カセット 1」は、LBP-2300 では「カセット 1 使用」が「スル」に設定されている場合にのみ表示されます。
＊「カセット 3」、「カセット 4」は、オプションの 2 × 500 枚ペーパーデッキが装着されている場合にのみ表示されます。
＊「ペーパーデッキ」は、オプションの 2000 枚ペーパーデッキが装着されている場合にのみ表示されます。

給紙するカセットやトレイなどを選択します。選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。



一番下の給紙元表示ランプは、2 × 500 枚ペーパーデッキが装着されている場合は、「カセット 3」、「カセット 4」共通の給紙元表示ランプとして点灯します。また、2000 枚ペーパーデッキを装着している場合は、「ペーパーデッキ」の給紙元表示ランプとして点灯します。

メモ

- **「カセット 1」は LBP-2300 ではオプションです。**
- **装着している給紙カセット、給紙トレイは、通常は自動給紙選択の対象となりますが、対象から外すこともできます。**
- **自動給紙選択で、2 つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。**
- **自動給紙選択時の給紙元表示ランプは、「トレイ優先」の設定が「シナイ」のときはカセット 1 が点灯し、「スル」のときは給紙トレイが点灯します。プリント中は自動給紙で選択された給紙元が点灯します。**
- **給紙トレイから給紙する場合は、必ず実際に使用する用紙サイズと「トレイ用紙サイズ」（→ P.112）の設定値を一致させてください。工場出荷時の設定は、給紙トレイは「A4 サイズ」に設定されています。**
- **給紙カセットに A4 ／レターサイズを、給紙トレイに A4 ／ A5 ／ B5 ／レター／エグゼクティブサイズをセットするときの置きかたは、セットアップメニューの給紙グループの「用紙の向き」（→ P.48）の設定と合わせてください。**

排紙選択モード

ハイシトレイ*1、サブハイシトレイ*1

ジドウ*2、ビン1ハイシ*2〜ビン7ハイシ*2、ハイシトレイ*2、ノンソートビン*2

＊オプションの7ビンソータを装着していない場合は、＊1の設定値が表示されます。
オプションの7ビンソータを装着している場合は、＊2の設定値が表示されます。

排紙先を選択します。
オプションの7ビンソータを装着している場合の「自動」は、プリンタで自動的に排紙先を切り替えて、「ユーザセパレート」、「ソート」、「スタック」のいずれかのモードで排紙します。モードの選択は「自動排紙モード」（→次項目）で行います。

メモ

- **「排紙トレイ」を選択した場合は、フェースダウン（印字面が下向きの状態）で、プリンタ上面の排紙トレイに排紙されます。**
- **「ビン1排紙〜ビン7排紙」を選択した場合は、フェースダウンで7ビンソータの各ビンに排紙されます。**
- **「サブ排紙トレイ」または「ノンソートビン」を選択した場合は、フェースアップ（印字面が上向きの状態）で、プリンタ左側面のサブ排紙トレイに排紙されます。**

自動排紙モード *

ユーザセパレート、ソート、スタック

＊オプションの7ビンソータを装着している場合にのみ表示されます。

「排紙選択モード」（→前項目）で「自動」を選択した場合の排紙モードを設定します。

- ユーザセパレート
  ネットワークでつながった複数のユーザからの排紙が混在しないように、排紙するビンをユーザごとに使い分ける機能です。常に排紙するビンを決めておく固定モードと、排紙するビンがそのつど変わる自動モードがあります。どちらで排紙するかは「ユーザセパレート」（→次項目）で設定します。
- ソート
  複数の部数を指定した場合に、同じページを違うビンに排紙し、それを繰り返してソートします。
- スタック
  大量に排紙する場合に使います。ひとつのビンが満載となったら、自動的に次のビンへ排紙されます。

メモ

- **MS-DOSやUNIXからプリントする場合にユーザセパレートを選択すると、プリンタ上面の排紙トレイに排紙されます。**
- **LBP-2360では、「ソート」で8部以上の部数が指定されている場合にオプションのハードディスクを装着しているかしていないかで、次のような状況になります。**
  ハードディスクを装着している場合：
  いったん7部まで排紙されてから、「1F　ヨウシヲ　トッテクダサイ」というメッセージが表示されます。用紙を取り除くと、8部以降の排紙が行われます。
  ただし、「rip once（リップワンス）」の機能（→ P.46）を使っている場合は、「1F　ヨウシヲ　トッテクダサイ」というメッセージは表示されません。

ハードディスクを装着していない場合：
データを受信すると、「4A　ソートハイシ　フカノウ」というメッセージが表示されます。エラースキップを行うと、ビンに7部と本体の排紙トレイに8部以降の排紙が行われます。

- **「スタック」で自動的にビンが切り替わっていく途中のビンに用紙が排紙されている場合は、「1F　ヨウシヲ　トッテクダサイ」というメッセージが表示されます。用紙を取り除くと引き続き排紙が行われます。**

ユーザセパレート＊ ジドウ、コテイ

＊オプションの7ビンソータを装着している場合にのみ表示されます。

「自動排紙モード」(→前項目)で「ユーザセパレート」を選択した場合のユーザセパレートモードを設定します。

- 自動
  各ビンの名称は決まっておらず、ジョブごとに自動的に空いているビンを選択して排紙します。どのビンに排紙したかはユーザに通知されます。ビンが満載になったら空いている別のビンが自動的に選択され、引き続き排紙されます。
- 固定
  あらかじめ各ビンに名称をつけておき、どの名称のビンに排紙するかを指定してプリントします。ビンが満載になったら、いったん用紙を取り除かないと、引き続き排紙はできません。
  ビンに名称を付けたり、排紙するビンの指定は、「NetSpot」やプリンタドライバの画面で行います。

メモ

- **「自動」を選択した場合で使用可能なビンがない場合は、「1F　ゼンビン　シヨウチュウ」というメッセージがディスプレイの2段目に表示され、本体の排紙トレイに排紙されます。**
- **「固定」を選択した場合で使用可能なビンがない場合は、「4A　ユーザセパレート　フカ」というメッセージが表示されます。エラースキップを行うと、本体の排紙トレイに排紙されます。**

トレイ用紙サイズ　A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　K2、A5、B5

給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。

メモ

- **セットアップメニューの給紙グループの「トレイ用紙サイズ」(→ P.48)でも同様の設定ができます。**
- **本項目を「フリー」に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、「9A　MPガイド　フセイ」というメッセージが表示され、プリントが中断します。このときエラースキップを行うとプリントは再開しますが、データが欠けてプリントされることがあります。**

- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、（オンライン）キーを押してエラーを解除してからプリントしてください。
- 「フウトウ　Y4」は洋形４号に、「フウトウ　K2」は角形２号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10mm内側までとなります。詳しくは、ユーザーズガイド「用紙について」をご覧ください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。

トレイ用紙タイプ　フツウシ、アツガミ、OHP、コウタクフィルム、フリー

給紙トレイにセットする用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された給紙トレイの用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。
厚紙（106g/m^2～135g/m^2）に印刷する場合は「アツガミ」、光沢フィルムの場合は「コウタクフィルム」、OHPフィルムの場合は「OHP」、ラベル用紙の場合は「アツガミ」に設定します。
給紙トレイを使う場合で、プリンタドライバを使用できないOS（MS-DOSやUNIXなど）からプリントする場合は、必ずトレイ用紙タイプと共通セットアップメニューの給紙グループの「デフォルト用紙タイプ」（→P.50）の設定を一致させます。

お願い

- 本プリンタでは、給紙トレイにセットされた用紙のタイプに応じて、内部的に最適な印刷モードに切り替えて印刷します。給紙トレイにセットした用紙のタイプと印刷モードが異なると、エンジンに重大な故障が生じる恐れがあります。
  WindowsやMacintoshから給紙トレイを使ってプリントする場合は、給紙トレイにセットされた用紙のタイプと「トレイ用紙タイプ」の設定、およびプリンタドライバの「用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタの設定とプリンタドライバの設定が一致していないとエラーメッセージが表示され、プリンタは停止します。
  また、プリンタドライバを使用できないOS（MS-DOSやUNIXなど）からプリントする場合は、給紙トレイにセットされた用紙のタイプと「トレイ用紙タイプ」の設定、および「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
- 「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定したメディアタイプのチェックを行いません。プリンタドライバで設定した用紙と給紙トレイにセットした用紙のタイプが合っているかを必ず確認してお使いください。
- OHPフィルムにプリントする場合は、本プリンタ専用の「キヤノンカラーレーザOHP用紙TR-3 A4（A4サイズ）」をお使いください。
- 光沢フィルムにプリントする場合は、本プリンタ専用の「キヤノン カラーレーザ 光沢フィルム GF-1 A4」をお使いください。

メモ

- 「アツガミ」、「コウタクフィルム」、「OHP」のいずれかに設定した場合、両面印刷は行えません。また、印刷速度が遅くなります。
- 封筒の場合は、「トレイ用紙サイズ」が「フウトウ Y4」または「フウトウ K2」に設定されていれば、この項目で設定する必要はありません。
- はがきの場合は、「トレイ用紙サイズ」が「ハガキ」に設定されていれば、このメニューで設定する必要はありません。
- セットアップメニューの給紙グループの「トレイ用紙タイプ」（→ P.51）でも同様の設定ができます。

5 両面メニューの設定項目

両面メニューでは、用紙の片面に印刷するか、両面に印刷するかを切り替えることができます。ただし、オプションの両面ユニットが装着されているときに機能します。
本メニューは、（両面）キーの操作によって、（両面）キーのランプが点灯したり消灯したりするだけで、ステータスは表示されません。

片面

用紙の片面にだけ印刷します。選択後、（両面）キーのランプが消灯します。

両面 *

用紙の両面に印刷します。選択後、（両面）キーのランプが点灯します。両面ユニットが装着されていないときは、警告ブザーが1回鳴ります。ランプは点灯せず、設定はできません。

付録

APPENDIX

＊ 本プリンタ内蔵 LIPS フォントのコード表と、ESC/P エミュレーション文字セットコード表が、本プリンタ付属の CD-ROM の［FONTLIST］ディレクトリに収められています。詳しくは、［FONTLIST］ディレクトリ内の Readme ファイルをご覧ください。

＊ 本プリンタが標準で対応している LIPS コントロールコマンドと、ESC/P エミュレーションコントロールコマンドの機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが、本プリンタ付属の CD-ROM の［COMLIST］ディレクトリに収められています。LIPS コントロールコマンドは［LIPSCONT.TXT］というファイル名で、ESC/P エミュレーションコントロールコマンドは［ESCPCONT.TXT］というファイル名で入っています。テキストファイルですので、テキストエディタなどを使ってご覧ください。

＊ LIPS コントロールコマンドと、ESC/P エミュレーションコントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションの「プログラマーズマニュアル」をご覧ください。

1 LIPS 内蔵フォント

●文字セットの属性について

各文字セットは、次のような属性があります。

書体

書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンタ」「ガーランド」など多数の種類があります。

グラフィックセット

あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。

文字ピッチ

文字をプリントする間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI（１インチあたりの文字数）」で示され、コマンドで固定した文字ピッチでプリントされます。「プロポーショナル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。

サイズ

文字の大きさを文字の高さで示します。単位は「ポイント」で示します。１ポイントは約0.35mm（1/72"）です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。

スタイル

スタイルには「直立体（Upright）」と「イタリック体（Italic）」があります。

太さ

文字の太さには「標準（Medium）」「ボールド（Bold）」「ライト（Light）」があります。

●LIPS II+ 内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。
例） ALP10.XXX　→　ALP10.ROMA

1 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ラインプリンタ	ALP10 . X X X	ROMA　N_USA	10.00	12.00	直立体	標準
	ALP15 . X X X	N_JPN　KATA	15.00	7.20		
	ALP1125 . X X X		11.25	9.60		
明朝体	A1224M . X X X	ROMA　N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632M . X X X	N_JPN　KATA	15.00	9.60		
	A2040M . X X X	HIRA　N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412M . X X X	ROMA　N_USA	10.00	3.60		
	A3216M . X X X	N_JPN　KATA	7.50	4.80		
	A4020M . X X X		6.00	6.00		
ゴシック体	A1224G . X X X	ROMA　N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632G . X X X	N_JPN　KATA	15.00	9.60		
	A2040G . X X X	HIRA　N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412G . X X X	ROMA　N_USA	10.00	3.60		
	A3216G . X X X	N_JPN　KATA	7.50	4.80		
	A4020G . X X X		6.00	6.00		
Garland	Garland10 . X X X	ROMA　N_Jpn	10.00	10.80	直立体	標準
	Garland12 . X X X	N / USA　N / GER	12.00			
	Garland17 . X X X	N / SWD N / JPN	17.15			
	GarlandPS11 . X X X	N / UK　N_UK	プロポーショナル			
		N_USA　N_SWD				
		N_JPN　N_GER				
		N_KATA N_HIRA				
		N_GRF				

2 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	K24M . X X X	J78　J83	10.00	7.20	直立体	標準
	K32M . X X X		7.50	9.60		
	K40M . X X X		6.00	12.00		
ゴシック体	K24G . X X X		10.00	7.20		
	K32G . X X X		7.50	9.60		
	K40G . X X X		6.00	12.00		

● LIPSIII／IV 内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） Ncourier10.XXX → Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの「* ①〜⑥」については、次ページの表をご覧ください。

１バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	Ncourier10 . X X X	* ① ② ③ ④	10.00	12.00	直立体	標準
	Ncourier10 I . X X X				イタリック	
	Ncourier10 B . X X X				直立体	ボールド
	Ncourier15 . X X X	* ① ② ③	15.00	8.16		標準
	Ncourier17 . X X X	* ④	16.66	8.16		
	Ncourier20 . X X X	* ① ② ③	20.00	7.2		
		* ④	13.60	8.16		

１バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ゴシック体	Gothic-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
丸ゴシック体注	RoundGothic-Light-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	ライト
ラインプリンタ	LinePrinter-Bold .XXX	ROMA KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド
Courier	Ncourier .XXX	* ① ② ③ ⑤ ⑥	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Ncourier-Bold .XXX					ボールド
	Ncourier-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Ncourier-BoldItalic .XXX					ボールド
Swiss	Swiss .XXX	* ① ② ③ ⑤ ⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Swiss-Bold .XXX					ボールド
	Swiss-Oblique .XXX				イタリック体	標準
	Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド
Dutch	Dutch-Roman .XXX	* ① ② ③ ⑤ ⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Dutch-Bold .XXX					ボールド
	Dutch-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Dutch-BoldItalic .XXX					ボールド
Symbol	Symbol .XXX	SYML SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準

注：「丸ゴシック体」が使えるのは LBP-2360 のみです。

付録

メモ

● **1バイトビットマップフォント表と1バイトスケーラブルフォント表の「* ①～⑥」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。**

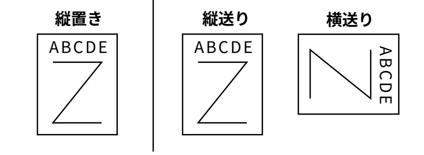
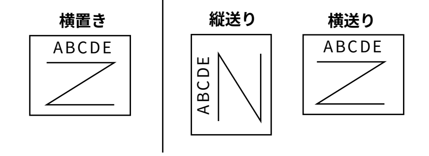
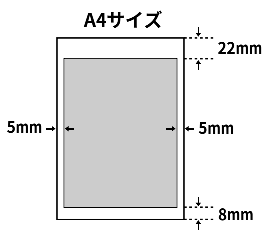
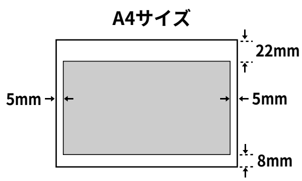
①	ISO_UK　ISO_USA　ISO_S/F　ISO_N/D　ISO_JPN　ISO_GER　ISO_FRC　ISO_ITY　ISO_SPN
②	88_UK　92_NL　92_UK　92_SWD　92_GER　92_FRC　96M_UK　96M_USA　96M_S/F　96M_N/D　96M_GER　96M_FRC　96X_USA　96P_UK　96P_USA　96P_S/F　96P_NOR　96P_GER　96P_FRC
③	CN_CND　CN_NL　CN_SWS　CN_UK　CN_USA　CN_SWD　CN_N/D　CN_JPN　CN_GER　CN_FRC
④	IBMR1　IBMR2　IBM850　IBMP　IBM860　IBM863　IBM865　IBML
⑤	IBMR1　IBMR2　IBM850　IBM819　IBMP　IBM860　IBM863　IBM865　IBM1004　IBML　IBML2　Win31L　Win31R　Win98R　TURKISH
⑥	PSR　PSL

2 バイトスケーラブルフォント

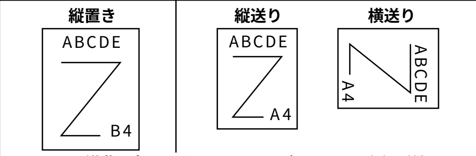
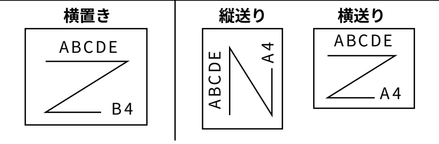
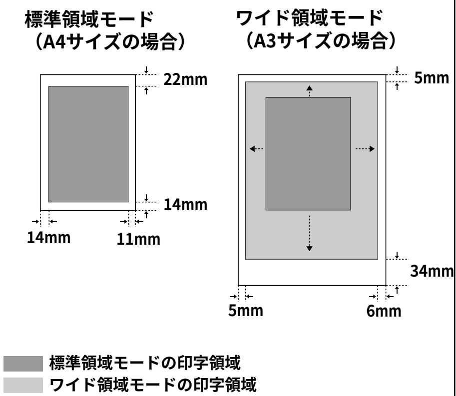
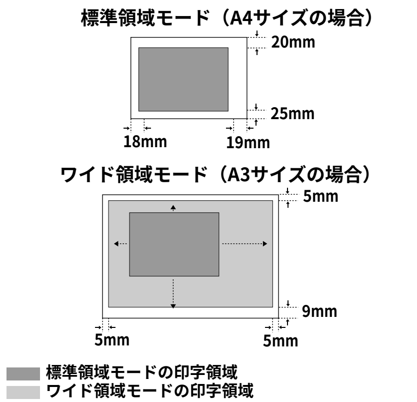
書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium.XXX	J78　J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
角ゴシック体	Gothic-Medium.XXX	J78　J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
丸ゴシック体注	RoundGothic-Light.XXX	J78　J90	固定	スケーラブル	直立体	ライト

注：「丸ゴシック体」が使えるのは LBP-2360 のみです。

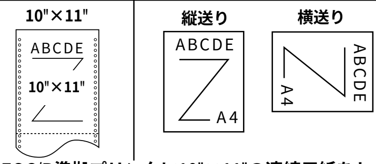
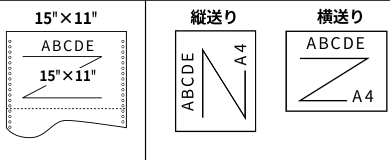
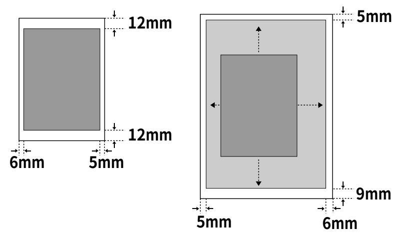
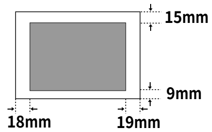
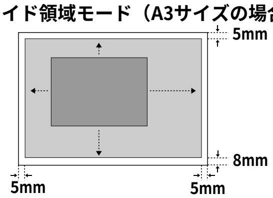
2 ESC/P エミュレーションのページフォーマット

設定値名	実寸　縦（Fmode1）	実寸　横（Fmode2）
ページフォーマット	カット紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンタ／本プリンタ  ESC/P準拠プリンタにカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトでプリント	ESC/P準拠プリンタ／本プリンタ  ESC/P準拠プリンタにカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープでプリント
用紙サイズ	A3,B4,A4,B5,A5,はがきサイズ A3サイズにプリントするときにワイド領域モードを設定できます	Fmode1と同じ
印字文字	初期状態で10ポイントのフォント	Fmode1と同じ
イメージの印字	プリンタの解像度が異なるため、ESC/P準拠プリンタとは印字結果が若干異なります	Fmode1と同じ
印字領域	 印字領域	 印字領域
第一文字目の印字位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置	Fmode1と同じ
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）	Fmode1と同じ
ボトム位置	ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長	Fmode1と同じ

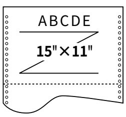
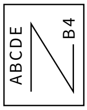
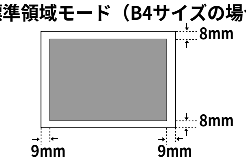
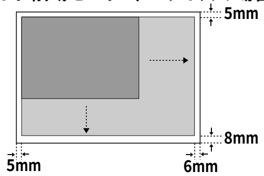
付録

B4→A4　縦（Fmode7）	B4→A4　横（Fmode8）
カット紙の場合のページフォーマット	
ESC/P準拠プリンタ ／ 本プリンタ	ESC/P準拠プリンタ ／ 本プリンタ
 ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット A4サイズに縮小し用紙のほぼ中央（ワイド領域では有効印字領域ほぼいっぱい）に、ポートレイトでプリント	 ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）に、ランドスケープでプリント
A3,B4,A4サイズ（A4より小さい用紙へのプリントは保証しません） A3,B4サイズを使用した場合でも、A4サイズと同じ比率で縮小されプリント	Fmode7と同じ
初期状態で８ポイントのフォントを、若干縮小して印字	Fmode7と同じ
プリンタの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります	Fmode7と同じ
	
標準領域モード：（TOF行）の左マージン位置	Fmode7と同じ
標準領域モード：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータはプリントされません） ワイド領域モード：印字領域は本機の有効印字領域とほぼ同じです	Fmode7と同じ
標準領域モード：ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置	Fmode7と同じ

付録

設定値名	10 ”→A4　縦（Fmode3）	15 ”→A4　横（Fmode4）
ページフォーマット	連続用紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンタ ／ 本プリンタ  ESC/P準拠プリンタに10"×11"の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマットA4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトでプリント	ESC/P準拠プリンタ ／ 本プリンタ  ESC/P準拠プリンタに15"×11"の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマットA4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリント
用紙サイズ	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
印字文字	初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字	初期状態で８ポイントのフォントを、行間をつめて印字
イメージの印字	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）　ワイド領域モード（A3サイズの場合）  標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）  ワイド領域モード（A3サイズの場合）  標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域
第一文字目の印字位置	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
右マージン	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
ボトム位置	標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11"）（実際の用紙上では271.8mm｛10.7"｝）下、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置	標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11"）（実際の用紙上では210.8mm｛8.3"｝）下、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置

付録

<table>
<tr><th colspan="2">15 ”→B4　横（Fmode6）</th></tr>
<tr><td colspan="2">連続用紙の場合のページフォーマット</td></tr>
<tr><td>ESC/P準拠プリンタ</td><td>本プリンタ</td></tr>
<tr><td>15"×11"
</td><td>縦送り
</td></tr>
<tr><td colspan="2">ESC/P準拠プリンタに15"×11"の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット
B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリント</td></tr>
<tr><td colspan="2">A3,A4サイズ（B4より小さい用紙へのプリントは保証しません）
A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率で縮小されプリント</td></tr>
<tr><td colspan="2">初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字</td></tr>
<tr><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準領域モード（B4サイズの場合）

ワイド領域モード（A3サイズの場合）

標準領域モードの印字領域
ワイド領域モードの印字領域</td></tr>
<tr><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11"）（実際の用紙上では266.7mm｛10.5"｝）下、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長
ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置</td></tr>
</table>

メモ

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタ側の用紙サイズも変更します。ESC/P専用セットアップメニューの「用紙サイズ」(→ P.89）で設定します。「カレントヨウシ」を選択すると、用紙サイズに関係なく現在選択されている給紙元から給紙されます。
- Fmode1,2 で ESC/P 専用セットアップメニューの「用紙サイズ」を「A3」に設定している場合、および Fmode3,4,6,7,8 では、用紙の余白を有効に使ってプリントできるワイド領域モードが使えます。
- 10" × 11" の連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。15" × 11" の連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。

付録

●ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

（桁数　10cpi、行数　6lpi）

ﾍﾟｰｼﾞﾌｫｰﾏｯﾄ	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 1	文字数	112	97	78	67	54	35
	行　数	92	78	63	54	42	28
Fmode 2	文字数	136	136	112	97	78	54
	行　数	63	52	42	36	28	16
Fmode 3	文字数	80	80	80	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
Fmode 4	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
Fmode 6	文字数	136	136	×	×	×	×
	行　数	66	66	×	×	×	×
Fmode 7	文字数	97	97	97	×	×	×
	行　数	78	78	82	×	×	×
Fmode 8	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	52	52	52	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ワイド領域モード

（桁数　10cpi、行数　6lpi）

ﾍﾟｰｼﾞﾌｫｰﾏｯﾄ	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 1	文字数	112	—	—	—	—	—
	行　数	95	—	—	—	—	—
Fmode 2	文字数	161	—	—	—	—	—
	行　数	66	—	—	—	—	—
Fmode 3	文字数	115	99	80	×	×	×
	行　数	98	84	68	×	×	×
Fmode 4	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	99	85	68	×	×	×
Fmode 6	文字数	161	139	×	×	×	×
	行　数	77	66	×	×	×	×
Fmode 7	文字数	150	129	104	×	×	×
	行　数	127	109	88	×	×	×
Fmode 8	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	88	76	61	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

3 ダンプリスト

●ヘキサダンプリスト

動作モードメニューで「HEX-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16進コードでプリントします。
１行に32バイトの16進コードを印字します。16進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4サイズポートレイトでのみプリントできます。
（操作方法：「動作モードメニューの機能と操作」→P.18）

Version : R0.08/BEP5C25I　　　　Page : 2

00660	E4 76 3D 1F 90 48 64 52	39 24 96 4D 27 94 4A 65	52 B9 64 B6 5D 2F 90 40	40 80 01 E0 50 38 24 16	ｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$.
00680	0D 07 84 42 61 50 B8 64	36 1D 0F 88 44 62 51 38	A4 56 2D 17 8C 46 63 51	B8 E4 76 3D 1F 90 48 64	.. BaPｸd6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. Hd
006A0	52 39 24 96 4D 27 94 4A	65 52 B9 64 B6 5D 2F 90	40 40 80 01 E0 50 38 24	16 0D 07 84 42 61 50 B8	R9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸ
006C0	64 36 1D 0F 88 44 62 51	38 A4 56 2D 17 8C 46 63	51 B8 E4 76 3D 1F 90 48	64 52 39 24 96 4D 27 94	d6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M'
006E0	4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F	90 40 40 80 01 E0 50 38	24 16 0D 07 84 42 61 50	B8 64 36 1D 0F 88 44 62	JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. Db
00700	51 38 A4 56 2D 17 8C 46	63 51 B8 E4 76 3D 1F 90	48 64 52 39 24 96 4D 27	94 4A 65 52 B9 64 B6 5D	Q8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]
00720	2F 90 40 40 80 01 E0 50	38 24 16 0D 07 84 42 61	50 B8 64 36 1D 0F 88 44	62 51 38 A4 56 2D 17 8C	/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. DbQ8､V-.
00740	46 63 51 B8 E4 76 3D 1F	90 48 64 52 39 24 96 2D	01 00 0F 00 FE 00 04 00	01 00 00 00 00 00 00 00	FcQｸｺﾞv=. HdR9$ -....ｹ............
00760	00 01 03 00 01 00 00 00	91 00 00 00 01 01 03 00	01 00 00 00 25 00 00 00	02 01 03 00 01 00 00 00	....%............
00780	08 00 00 00 03 01 03 00	01 00 00 00 05 00 00 00	06 01 03 00 01 00 00 00	03 00 00 00 11 01 04 00	....
007A0	05 00 00 00 18 06 00 00	15 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 16 01 04 00	01 00 00 00 08 00 00 00	....
007C0	17 01 04 00 05 00 00 00	2C 06 00 00			............,...

● LIPS ダンプリスト

動作モードメニューで「LIPS-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPSのコントロールコマンドの形式でプリントします。
現在選択されている給紙口の用紙サイズでプリントします。
（操作方法：「動作モードメニューの機能と操作」→P.18）

```
                Version : 02.00.R1.00/BEP5D189/FT5D18            Page :  1

00000  ec c  ecP41;600J ec¥  ec<  ec[11h  ec[?6␣I  ec[3000;1.r 72 65 67 72 65 67
00042  72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65
          *** skip 2960 Byte ***
03016  65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67  ec[0;1x  ec[{  ec[0;4x  ec[}  ec[0
03057  ;0x  ec[500;500f  FILE␣NAME␣--->␣HEIGHT.004␣␣T.KAWAI
03104  ecPzMincho-Medium.J78 ec¥  ec[?350␣K  ec[1000␣C  ec[3000;4
03150  500f  !v!v!v!!J8;z9b;XDjL?Na!!!v!v!v  ec[?850␣K  ec[350
03197  ␣C  ec[5000;1500f  ec[4m  !vJ8;z9b;XDjL?Na$G;XDj$7$?  ec[
03243  7m  Bg$-$5$NJ8;z$K$J$k$+  ec[27m  !J#2%P%$%H!&%9%1!<%i%
03291  V%k!&%U%)%s%H!K  ec[24m  ec[27500;12000f  ec[5m  #C#O#M#M
```

枠囲みパターンについて

コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位で枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

改行・改ページを示す記号

|　|　| ：　ｌｆ（改行）、ｖｔ（垂直タブ）、ｎｌ（復帰改行）による改行を伴うコマンド、またはｆｆ（改ページ）による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。　（例：　ｌｆ｜）

異常終了を知らせる記号

|　!　| ：　命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16進コードのダウンロードで16進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】　　　　　　!

00000 |ec [| |ec [5 m| A B C D

LIPS ダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

付録

ベクタモードのLIPSダンプリスト

・命令は全角文字で印字されます
・パラメータは10進コードで、文字パターンは16進コードでそれぞれ印字されます。
・パラメータが2つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。

メモ

- **通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。**
- **ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。**
- **文字コード２０ｈ（16進コード）は「␣」、文字コードＡ０ｈ（16進コード）は「Ａ０」で印字されます。**
- **制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。**
  【例】　改ページ→ｆｆ　　　ＦＦｈ（16進コード）→ＦＦ

付録

4 動作モード共通のリスト

●共通ステータスプリント

搭載しているRAMの容量や共通プリント環境の設定内容などがプリントされます。

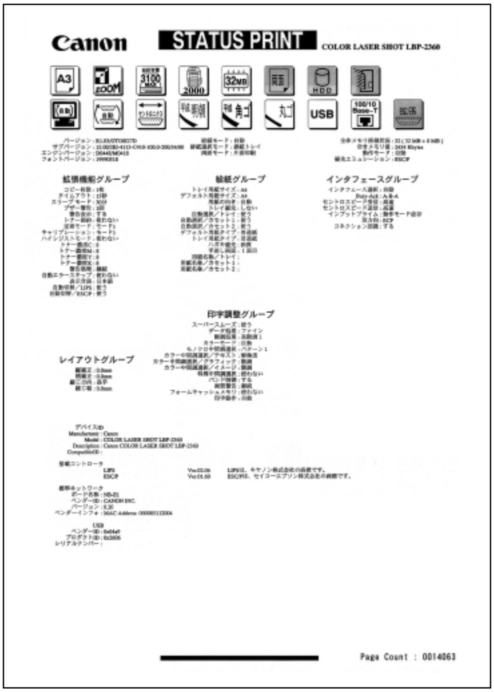
操作方法

①（オンライン）キーを押してオフライン状態にします。

②（ユーティリティ）キーを押してユーティリティメニューを表示します。

③（>）キーを押して「ステータス プリント」を表示します。

④（リセット/実行）キーを押して出力します。



●共通フォントリスト

本プリンタに搭載されているフォントの一覧がプリントされます。

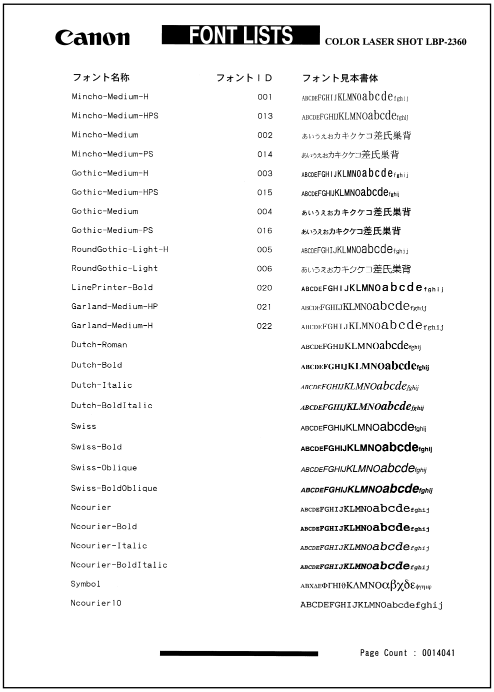
操作方法

①（オンライン）キーを押してオフライン状態にします。

②（ユーティリティ）キーを押してユーティリティメニューを表示します。

③（>）キーを押して「フォントリスト」を表示します。

④（リセット/実行）キーを押して出力します。



Canon FONT LISTS COLOR LASER SHOT LBP-2360

フォント名称	フォントＩＤ	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
RoundGothic-Light-H	005	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
RoundGothic-Light	006	あいうえおカキクケコ差氏巣背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Roman		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Oblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-BoldOblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Symbol		ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚΛΜΝΟαβχδεφγηιφ
Ncourier10		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij

Page Count : 0014041

●共通テストプリント

本プリンタの名称や特長などがプリントされます。

操作方法

①（オンライン）キーを押してオフライン状態にします。
②（ユーティリティ）キーを押してユーティリティメニューを表示します。
③（＞）キーを押して「テストプリント」を表示します。
④（リセット／実行）キーを押して出力します。

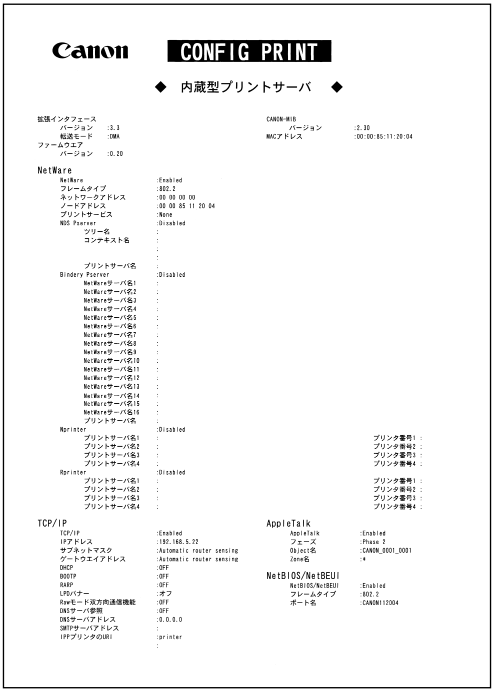


●標準ネットワークプリント（LBP-2360のみ）

LBP-2360に標準で装着されているネットワークボードのバージョン、設定内容などがプリントされます。

操作方法

①（オンライン）キーを押してオフライン状態にします。
②（ユーティリティ）キーを押してユーティリティメニューを表示します。
③（＞）キーを押して「ヒョウジュンネットワークプリント」を表示します。
④（リセット／実行）キーを押して出力します。


Canon　CONFIG PRINT

◆　内蔵型プリントサーバ　◆

拡張インタフェース
　バージョン　:3.3
　転送モード　:DMA
ファームウエア
　バージョン　:0.20

CANON-MIB
　バージョン　:2.30
MACアドレス　:00:00:85:11:20:04

NetWare
　NetWare　:Enabled
　フレームタイプ　:802.2
　ネットワークアドレス　:00 00 00 00
　ノードアドレス　:00 00 85 11 20 04
　プリントサービス　:None
　NDS Pserver　:Disabled
　　ツリー名　:
　　コンテキスト名　:
　　:
　　:
　　プリントサーバ名　:
　Bindery Pserver　:Disabled
　　NetWareサーバ名1　:
　　NetWareサーバ名2　:
　　NetWareサーバ名3　:
　　NetWareサーバ名4　:
　　NetWareサーバ名5　:
　　NetWareサーバ名6　:
　　NetWareサーバ名7　:
　　NetWareサーバ名8　:
　　NetWareサーバ名9　:
　　NetWareサーバ名10　:
　　NetWareサーバ名11　:
　　NetWareサーバ名12　:
　　NetWareサーバ名13　:
　　NetWareサーバ名14　:
　　NetWareサーバ名15　:
　　NetWareサーバ名16　:
　　プリントサーバ名　:
　Nprinter　:Disabled
　　プリントサーバ名1　:　プリンタ番号1 :
　　プリントサーバ名2　:　プリンタ番号2 :
　　プリントサーバ名3　:　プリンタ番号3 :
　　プリントサーバ名4　:　プリンタ番号4 :
　Rprinter　:Disabled
　　プリントサーバ名1　:　プリンタ番号1 :
　　プリントサーバ名2　:　プリンタ番号2 :
　　プリントサーバ名3　:　プリンタ番号3 :
　　プリントサーバ名4　:　プリンタ番号4 :

TCP/IP
　TCP/IP　:Enabled
　IPアドレス　:192.168.5.22
　サブネットマスク　:Automatic router sensing
　ゲートウエイアドレス　:Automatic router sensing
　DHCP　:OFF
　BOOTP　:OFF
　RARP　:OFF
　LPDバナー　:オフ
　Rawモード双方向通信機能　:OFF
　DNSサーバ参照　:OFF
　DNSサーバアドレス　:0.0.0.0
　SMTPサーバアドレス　:
　IPPプリンタのURI　:printer
　:

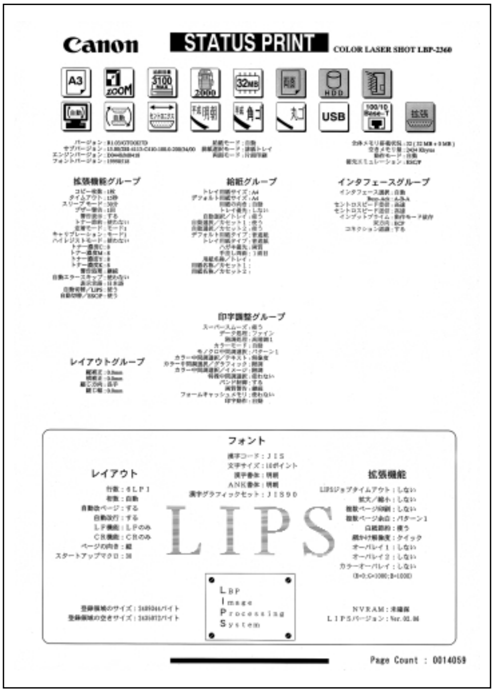
AppleTalk
　AppleTalk　:Enabled
　フェーズ　:Phase 2
　Object名　:CANON_0001_0001
　Zone名　:*

NetBIOS/NetBEUI
　NetBIOS/NetBEUI　:Enabled
　フレームタイプ　:802.2
　ポート名　:CANON112004

付録

5 動作モード専用のリスト

● LIPS ステータスプリント

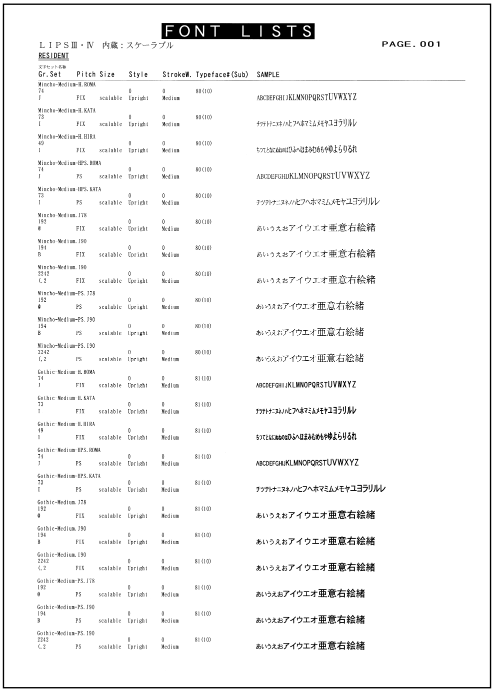


共通ステータスプリントの内容に加えて、LIPS 専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

操作方法

①（オンライン）キーを押してオフライン状態にします。
②（ユーティリティ）キーを押してユーティリティメニューを表示します。
③（>）キーを押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
④（∨）キーを押して、「LIPS ユーティリティ」の専用セットアップメニューに移ります。
⑤（>）キーを押して「ステータス　プリント」を表示します。
⑥（リセット/実行）キーを押して出力します。

● LIPS フォントリスト



LIPS モードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

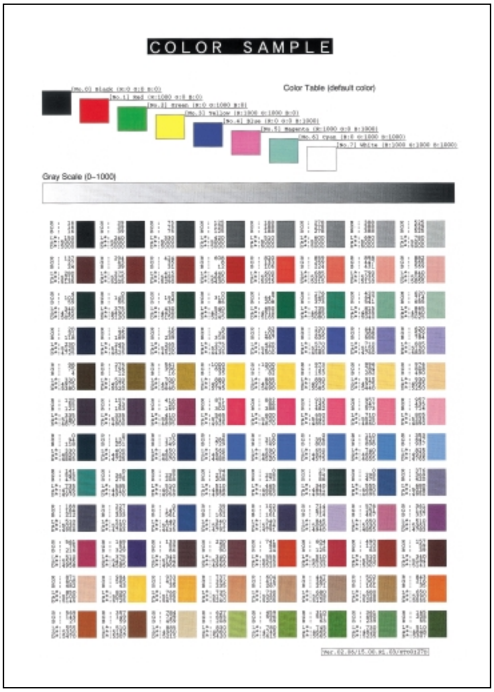
操作方法

①（オンライン）キーを押してオフライン状態にします。
②（ユーティリティ）キーを押してユーティリティメニューを表示します。
③（>）キーを押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
④（∨）キーを押して、「LIPS ユーティリティ」の専用セットアップメニューに移ります。
⑤（>）キーを押して「フォントリスト」を表示します。
⑥（リセット/実行）キーを押して出力します。

付録

●カラーサンプル

本プリンタが内蔵しているカラーテーブルおよびグレースケールと、代表的なカラーパターンのサンプルがプリントされます。

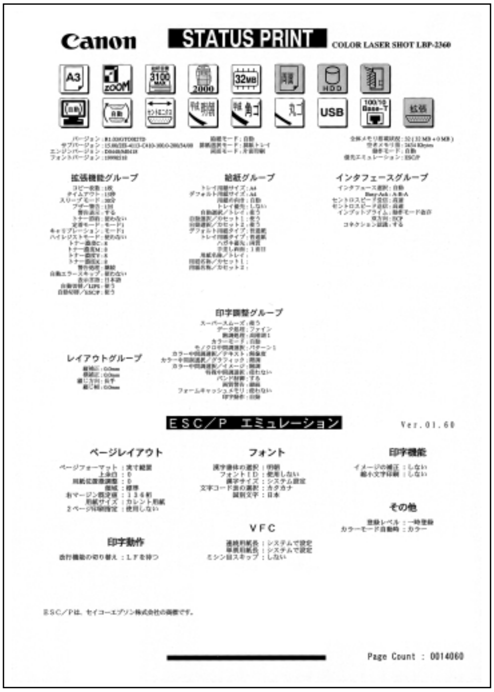


操作方法

①（オンライン）キーを押してオフライン状態にします。
②（ユーティリティ）キーを押してユーティリティメニューを表示します。
③（＞）キーを押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
④（∨）キーを押して、「LIPS ユーティリティ」の専用セットアップメニューに移ります。
⑤（＞）キーを押して「カラーサンプル」を表示します。
⑥（リセット/実行）キーを押して出力します。

● ESC/P ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、ESC/P専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。



操作方法

①（オンライン）キーを押してオフライン状態にします。
②（ユーティリティ）キーを押してユーティリティメニューを表示します。
③（＞）キーを押して「ESC/P　ユーティリティ」を表示します。
④（∨）キーを押して、「ステータス　プリント」を表示します。
⑤（リセット/実行）キーを押して出力します。

メモ

● **この他に、本プリンタに内容が登録されている場合にのみ、「LIPS オーバレイリスト」、「LIPS マクロリスト」、「LIPS オーバレイプリント」がプリントされます。**

付録

6 本プリンタについての注意事項

本プリンタは従来のレーザショットシリーズと仕様が異なる点があり、操作の仕方やプリントの結果が異なることがあります。以下に、本プリンタと従来シリーズとの違いについて主な注意点を説明します。

従来 LIPS III シリーズとの違いについて

＊従来 LIPS III シリーズとは、LBP-A309GII、A304GII、A304EII、A304E、B406GII、B406G、B406EII、B406E、B406S、B406D、A404F、A404GII、A404E、A404、A405Jr です。

フォント

● 本プリンタ内蔵の明朝体・角ゴシック体は「平成」書体を採用しています。従来シリーズとは書体が異なるため文字のデザインや太さなど印字結果が異なります。また、楷書体フォントについても従来シリーズの書体と異なっています。

● 従来機で使用していたグラフィックセット「J83」を「J90」に改名し、JISX0208-1990 で追加された２文字（コード 7425 および 7426）を追加しました。

● クーリエのスケーラブルフォントや従来の JBM1 フォントカード相当など、追加されたフォントがあるためLIPSモードで正確なフォント選択をしていなかった場合、追加されたフォントでプリントされることがあります。

データ処理解像度

● 従来のシリーズでは300dpi／240dpiで入力データを処理していましたが、本プリンタでは600dpi／300dpiで処理をしています。このため、プリント結果などに細かな違いが出てくる場合があります。LIPS／エミュレーション各モードでの主な注意点は下記の各モードの注意点をご参照ください。

● 本プリンタはファインモード／クイックモードの２種類のデータ処理解像度が指定できます。ファインモードを指定したときに、メモリが不足した場合など描画結果をクイックモードに変換してプリントします。

描画処理の違い

● 図形や文字のプリントの描画処理が効率化・統合化等のために変更されており、線のパターンや接続・強調印字など細かなプリント結果やスピードに違いが出ることがあります。

メニュー操作

● 従来シリーズと環境設定メニューの構造が異なっており、LIPS／エミュレーション共通メニューと各動作モード固有のメニューに分かれています。また、設定したメニュー値は操作の都度記憶されリセットや電源オフをしても引き継がれます。

● 本プリンタでは複数のエミュレーションの切り替えをサポートしておりLIPSでもエミュレーションでもひとつのプリント単位を「ジョブ」として取り扱います。ひとつの「ジョブ」がタイムアウトやジョブ終了コマンドで終了するとプリント環境などが初期化されます。

インタフェース関連

- 従来のシリーズではME-CARD以外のエミュレーションではインタフェースを切り替えることができませんでしたが、本プリンタではすべてのエミュレーションでセントロニクス以外のインタフェースも使用して切り替えることができます。ただし、5577エミュレーションなどでホスト側で固有のインタフェースを必要とする場合は、自動インタフェース切り替え・動作モード自動切り替えをオフにする必要があります。詳しくは各エミュレーションのマニュアルをご覧ください。
- 自動インタフェース切り替えでは従来のシリーズと異なりすべてのインタフェースからのデータを同時に受信します。

メモリ

- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。

オプションのメモリなど

- 従来シリーズの拡張RAM、コントロールROM、拡張インタフェースボードは使用できません。本プリンタ専用のオプションをご使用ください。

以下に各モード固有の注意について記載します。

LIPS III モード

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 従来のシリーズでは文字セット登録時、文字セット補助命令でスケーラブルするかどうかを指定しましたが、本プリンタでは指定に関わらずスケーラブル化して登録します。このため、プリント時に正しいサイズを指定していなかった場合、従来と異なるサイズで印字が行われます。
- ファインモードでの注意点
  - ファインモードでは600dpiでデータを処理するためベクタモードの座標範囲が約5.5m四方から半分の約2.8m四方になります。
  - 600dpiでプリントされるため、罫線等の太り方やパターン等に微妙な違いが出ることがあります。
  - メモリの不足などで600dpiで処理できない場合に300dpiに変換されるとき、変換の処理により細かな誤差が出る場合があります。

付録

LIPS II モード

- 従来シリーズではLIPS II モードは240dpi で処理されていましたが、本プリンタでは600dpi ／ 300dpi で処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。
  - ・塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。
  - ・書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによるプリント結果の違いやスピードの違いがあります。
  - ・イメージデータや文字登録データなど240dpiのドットパターンは600dpi／300dpiに自動的に変換されるため、プリント結果の見た目が異なります。
  - ・従来240dpiで印字位置を処理していたのに対し、600dpi／300dpiで処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。
  - ・ベクタモードの座標範囲はLIPS III でのファインモードの注意に加えてクイックモードでも 80%の大きさ（約6.9m 四方→約5.5m 四方）となります。
- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 描画処理の違いにより網掛けを重ねあわせたときにプリント結果が異なることがあります。

従来 LIPS IV シリーズとの違いについて

＊従来 LIPS IV シリーズとは、LBP-730、720、830、450、430、740、750、930 などです。

本プリンタは上記のモノクロプリンタと仕様が異なる点があり、操作の仕方やプリントの結果が異なることがあります。以下に、本プリンタと上記のモノクロプリンタとの違いについて主な注意点を説明します。

LIPS セットアップの拡大／縮小

- LBP-730/720/830/450/430/740/750/930 のモノクロプリンタと処理方式が違うため、プリント結果が若干異なります。登録済みのオーバレイページの拡大率は変更できません。

ステータスプリント等のテストプリント

- LBP-2360/2300 では、必ず A4 用紙にプリントします。

カラーモード対応

- 本プリンタはカラーモードに対応しています。カラーモード時は600dpiの多値処理または二値処理のいずれかの階調でプリントを行います。また、カラーデータの微妙な色調を、解像度優先、階調優先、色調優先、高解像度のいずれでプリントするかを選択できます。カラーモードとモノクロモードでは、プリント結果が異なる場合があります。また、モノクロモードのプリント速度は最高毎分 24 枚となります。
  カラーモードで飾り罫線を使用する場合は、階調優先でプリントしてください。

LIPS IVc 搭載のカラー BJ との違い

● LIPS IV は LIPS IVc を包含したコマンド体系ですが、ハード的な違いなど以下のような注意点があります。
・カラーBJはLIPS IVcのコマンドを360dpiで処理しますが、本プリンタは600dpi／300dpiで処理するためプリント結果の見た目が異なることがあります。
・カラー BJ とは上余白／下余白（非有効印字領域）が異なります。

LBP-2030 機との違いについて

印字領域

● LBP-2030 機と本プリンタとでは、印字が可能な領域（印字領域）が異なります。LBP-2030 機では、用紙の上端から 8mm と下端から 2mm まで印字できませんでしたが、本プリンタでは、上端／下端から 5mm までは印字できません。このため、LBP-2030 用に作成されたデータは、印字領域の下端 3mm が欠けてプリントされます。

色空間

● LBP-2030機と本プリンタとでは、カラーデータの画像処理をするための色空間が異なります。LBP-2030 機ではNTSCの色空間が採用されていましたが、本プリンタではHDTVの色空間が採用されています。NTSC から HDTV への変換式は、以下の通りです。

NTSC RGB　γ（ガンマ）1.0　→　HDTV RGB　γ（ガンマ）1.5への変換式

（パラメータの定義）
hR => NTSC R　　（入力 NTSC 赤）
hR => HDTV R　　（中間演算結果、HDTV 赤）
hR'=> HDTV R　　（最終HDTV ガンマ 1.5）
＊ G、Bの場合は上記に同じ。

0 <= nR,nG,nB,hR,hG,hB <= 1000

（演算式）

$$\begin{vmatrix} hR \\ hG \\ hB \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} 1.4608 & -0.3846 & -0.0761 \\ -0.0265 & 0.9625 & 0.0613 \\ -0.0264 & -0.0413 & 1.0676 \end{vmatrix} \begin{vmatrix} nR \\ nG \\ nB \end{vmatrix} \quad \cdots\cdots (1)$$

hR' = ｛（hR/1000）^（1/1.5）｝×1000
hG' = ｛（hG/1000）^（1/1.5）｝×1000 ……（2）
hB' = ｛（hB/1000）^（1/1.5）｝×1000

（1）式は、行列演算を示しています。
（2）A^Bは、AのB乗（べき乗）を示しています。

付録

本プリンタの制限事項

● 本プリンタで、動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能な環境は以下のとおりです。エミュレーションモードの種類によっては、独自のインタフェース処理を行っているため、自動切り替えができない場合があります。

インタフェース / 動作モード	セントロニクスインタフェース		USB	標準ネットワーク注）	拡張ネットワーク*
	直結パソコン	プリントサーバアダプタ*			
LIPS	○	○	○	○	○
内蔵ESC/P	○	○	○	○	○
I5577*	△	○	○	○	○
HP-GL*	○	○	○	○	○

「＊」印がついているものには、オプション製品が必要です。
注）標準ネットワークはLBP-2360のみです。

○：動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能です。
△:動作モード自動切り替えもインタフェース自動切り替えも行えないことがあります。その場合は、自動切り替えを設定せずに、選択している動作モードとインタフェースに固定させてお使いください。

● LIPSメニューより拡大／縮小を行う場合、LIPS II+モード用ユーザ登録文字セットおよびビットマップフォントGarland PS11／ALP10／ALP15／ALP1125は印字されないことがあります。
● 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
● 印字データや登録データで使用可能なメモリ容量は、プリンタの機種により異なります。また、使用する拡張インタフェースボードによっても異なります。
● 本プリンタでは、印字品質保持のための濃度調節や温度調節、あるいはエンジン状態監視のために、一時的にプリントが中断されることがあります。なお、オプション品の2000枚ペーパーデッキまたは2×500枚ペーパーデッキを接続した場合、本体だけでの使用時よりも一時的な中断の頻度が増えることもあります。

付録

ESC/P 準拠プリンタとの違い

ESC/Pエミュレーションモードでは、ESC/P対応アプリケーションソフトによるプリントができますが、ESC/P準拠プリンタとは異なる点があります。プリントにあたっては以下の点にご注意ください。

解像度の違いについて

ESC/P 準拠プリンタの解像度 180dpi に対し、本プリンタは解像度 600dpi または 300dpi で、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、プリント結果が ESC/P 準拠プリンタと異なることがあります。

●イメージデータ

解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。

とくに15"→B4横では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。

●登録文字

24×24ドット構成の外字は、８ポイント相当、32×32ドット構成の外字は10ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。

●印字間隔等

解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。

●右マージン

文字が右マージンをわずか（１ドット未満）でも超える場合は、改行します。

文字パターンの違いについて

●文字サイズ

実寸縦、実寸横、10"→A4縦、15"→B4横では10ポイント、15"→A4横、B4→A4縦、B4→A4横では８ポイントの文字が印字されるため、ESC/P 準拠プリンタより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。

●フォントデザイン

ESC/P準拠プリンタとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形やANK／漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。

●２バイトコードの未定義領域

２バイトコードの中で、ESC/Pでは未定義の領域に本プリンタ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本プリンタ特有のパターンが印字されます。

その他の制限

●登録文字数とメモリオーバー

文字の登録を行っているとき等にメモリが不足すると、「23　ダウンロードメモリ　フル」のメッセージが表示されます。

登録文字数を増やしたい場合は、以下のような方法で空きメモリを増やして再度プリントしてください。

・オプションの拡張RAMの増設

・「印字動作」の項目を「トウロクユウセン」に、「フォームキャッシュメモリ」の項目を「ツカワナイ」に設定して再立ち上げ

●白紙の排出

ESC/Pエミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。

● ESC/P スーパー

ESC/PエミュレーションモードはESC/P24-J84仕様にのみ対応しているため、ESC/Pスーパーのプリンタ設定では正しくプリントされません。

付録

索引

記号

A

B

C

D

E

H

L

N

R

T

V

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

キー索引

商標について

Canon、Canonロゴ、LBP、LIPS、NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。
LASER SHOTは、キヤノン株式会社の登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintoshは、米国Apple Computer,Inc.の登録商標または商標です。
IBMは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
HP、HP-GLは、米国Hewlett-Packard Companyの米国の商標です。
Ethernetは、米国Xerox Corporationの商標です。
ESC/P、ESC/P-J84は、セイコーエプソン株式会社の商標です。
Unixは、X/Open Company,Ltd.が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

下記の書体は米国ビットストリーム社よりライセンスを受けています。
Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol

Century 702 Century Schoolbook, Century 702 Century Schoolbook Bold, Century 702 Century Schoolbook Bold Italic, Century 702 Century Schoolbook Italic, Chancery 801 ITC Zapf Chancery Medium Italic, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique, ITC ZapfDingbats, Revival 711 ITC Bookman Demi, Revival 711 ITC Bookman Demi Italic, Revival 711 ITC Bookman Light, Revival 711 ITC Bookman Light Italic, Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique, Swiss 721 Narrow Oblique, Zapf Calligraphic 801, Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic, Zapf Calligraphic 801 Italic, Zapf Humanist 601, Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Italic

下記の書体名は米国ビットストリーム社の商標です。
Dutch 801, Swiss 721
下記の書体名は米国インターナショナルタイプフェイス社の商標です。
ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
本プリンタで使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5を使用しています。これらのフォントは(財)日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Canon

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容についてご了解いただいたものとさせていただきます。

■ 情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

❑ キヤノンFAX情報サービス

札幌（011）728-0485　秋田（018）826-0441　仙台（022）211-5730　東京（03）3455-5962
名古屋（052）936-0758　大阪（06）4795-9011　広島（082）240-6729　高松（087）826-1621
福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。
情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASER SHOT】インフォメーション」内に掲載されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

■ ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

❑ CD-ROM・FDの郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMもしくはFDを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はＦＡＸ情報サービス、キヤノン販売ホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。
口座番号：00160-1-51418
口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

- 「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
- 「払込住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
- お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDのメディアが異なります。

Canon

お客様ご相談窓口について

COLOR LASER SHOT LBP-2360/2300の取り扱い方法、消耗品などのお問い合わせ、および修理サービスについてのご相談は、お買い上げの販売店または下記の窓口にご相談ください。

■ 製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター　全国共通電話番号　　キヤノンお客様サポートネット

TEL 0570-01-9000 <該当番号：42>*1

全国64ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、（043）211-9627をご利用ください。

上記窓口の受付時間*2は以下のとおりです。

月曜～金曜（祝日を除く）：9:00～12:00、13:00～18:00、19:00～21:00
土、日、祝日（1/1～1/3は休み）：10:00～12:00、13:00～17:00

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■ 消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。

■ 修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。

この取扱説明書は、
本文に100%の再生紙を
使用しています。

PUB. R-IJ-878AA 112000SZ1 PRINTED IN JAPAN

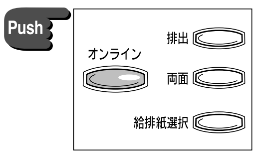
キリトリ線

メニュースタートアップ

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当するMAP AからMAP Cをご覧ください。

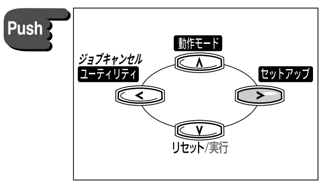
MAP A 共通セットアップメニューを表示する

1. オンライン キーを押して、キーを消灯させます。



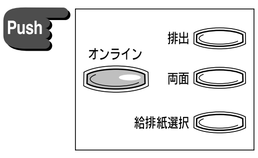
2. セットアップ キーを押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ　キノウ　→



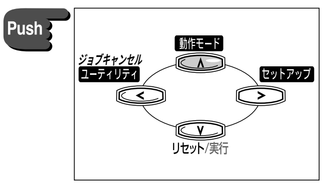
MAP C 動作モードメニューを表示する

1. オンライン キーを押して、キーを消灯させます。



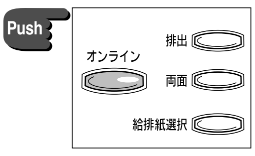
2. 動作モード キーを押します。
動作モードメニューが表示されます。

ドウサモード
=ジドウ　センタク　→



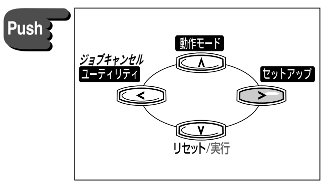
MAP B LIPS専用セットアップメニューを表示する

1. オンライン キーを押して、キーを消灯させます。



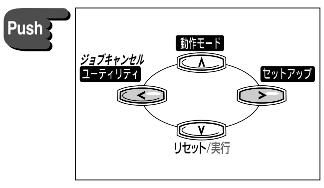
2. セットアップ キーを押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ　キノウ　→



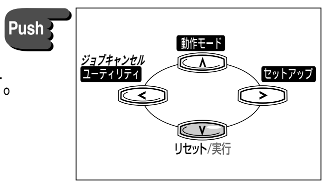
3. 「LIPSｾｯﾄｱｯﾌﾟ」を表示します。
< キーまたは > キーを押します。

セットアップ
LIPS　セットアップ　→



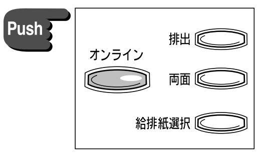
4. 下の階層へ進みます。
∨ キーを押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

LIPS　セットアップ
カクダイ／シュクショウ　→



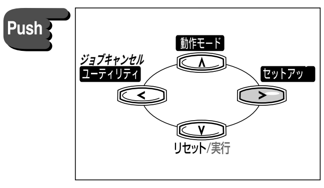
MAP B ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1. オンライン キーを押して、キーを消灯させます。



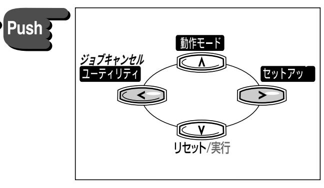
2. セットアップ キーを押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ　キノウ　→



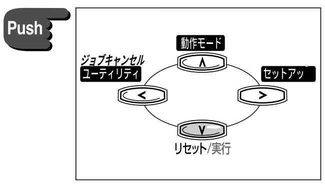
3. 「ESC/Pｾｯﾄｱｯﾌﾟ」を表示します。
< キーまたは > キーを押します。

セットアップ
ESC/P　セットアップ　→



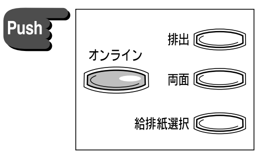
4. 下の階層へ進みます。
∨ キーを押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ESC/P　セットアップ
ページレイアウト　→



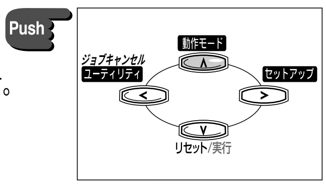
MAP C 優先エミュレーションメニューを表示する

1. オンライン キーを押して、キーを消灯させます。



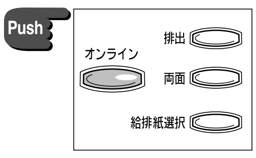
2. 動作モード キーを約3秒以上押します。
優先エミュレーションメニューが表示されます。

ユウセン　エミュレーション
=ESC/P　→



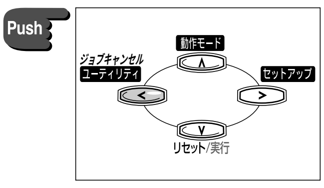
MAP C ユーティリティメニューを表示する

1. オンライン キーを押して、キーを消灯させます。



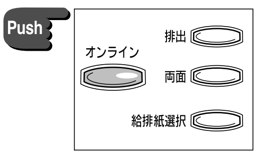
2. ユーティリティ キーを押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
ステータス　プリント　→



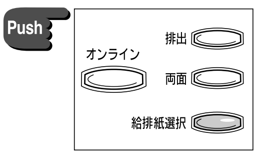
MAP C 給排紙選択メニューを表示する

1. オンライン キーを押して、キーを消灯させます。



2. 給排紙選択 キーを押します。
給排紙選択メニューが表示されます。

キュウハイシ　センタク
キュウシ　モード　→

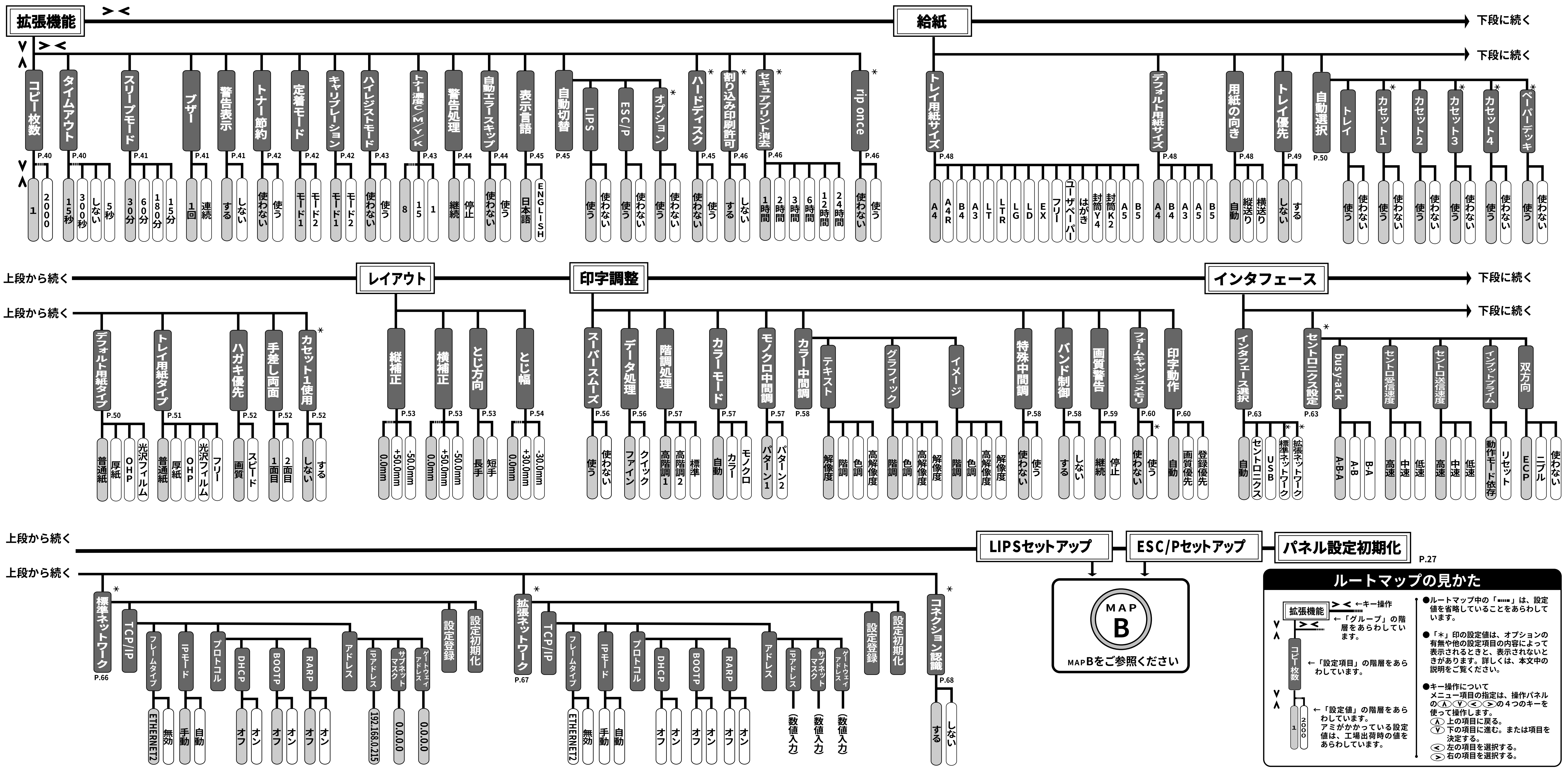


※ 両面メニューでは、ディスプレイには何も表示されません。

MAP A

メニュールートマップ

共通セットアップ編

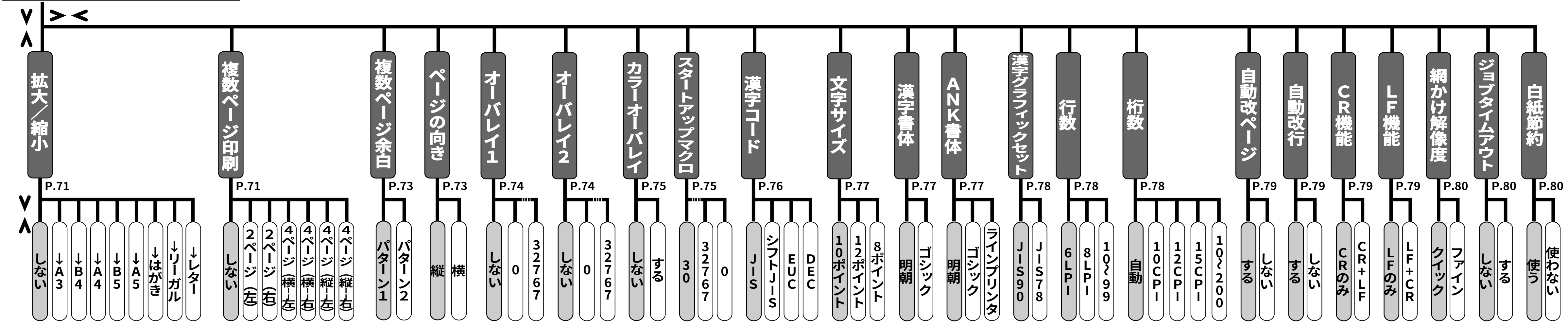


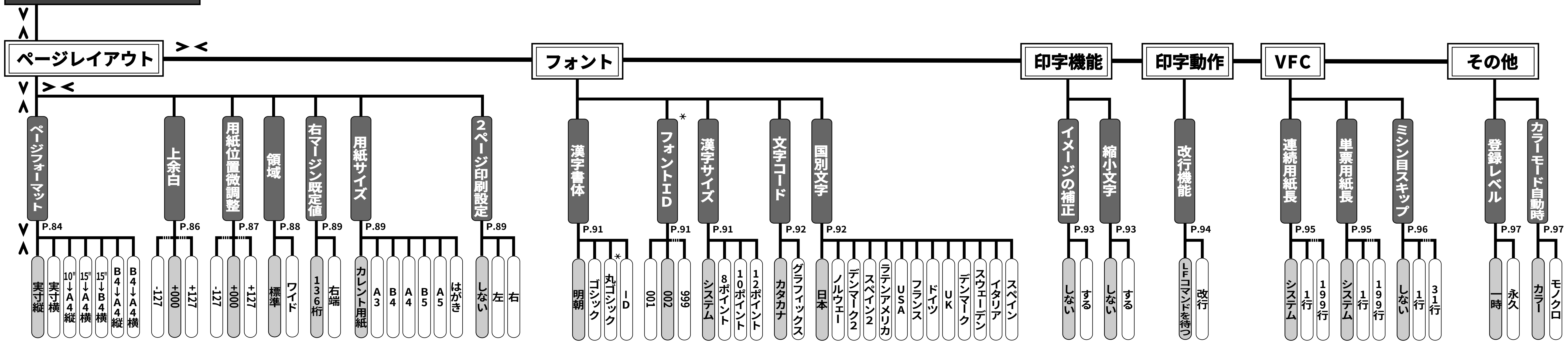
キリトリ線

MAP B

メニュールートマップ

LIPS&ESC/Pセットアップ編





ルートマップの見かた

拡張機能 ＞＜ ←キー操作

←「グループ」の階層をあらわしています。

コピー枚数 ←「設定項目」の階層をあらわしています。

1 2000 ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

- ●ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- ●「＊」印の設定値は、機種の違いオプションの有無、他の設定項目の内容によって、表示されるときと表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明をご覧ください。
- ●キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの∧∨＜＞の４つのキーを使って操作します。
  ∧ 上の項目に戻る。
  ∨ 下の項目に進む。または項目を決定する。
  ＜ 左の項目を選択する。
  ＞ 右の項目を選択する。

キリトリ線

MAP C メニュールートマップ その他のメニュー編

動作モードメニュー

動作モードメニューの機能と操作→P.18
動作モードメニューの設定項目→P.102

- 自動選択
- その他のエミュレーション *
- LIPS
- ESC/P
- HEX-DUMP
- LIPS-DUMP
- シャットダウン *

優先エミュレーションメニュー

優先エミュレーションメニューの機能と操作→P.20
優先エミュレーションメニューの設定項目→P.105

- ESC/P
- なし
- その他のエミュレーション *
- LIPS

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの機能と操作→P.22
ユーティリティメニューの設定項目→P.106

- ステータスプリント
- フラッシュメモリ *
- その他のエミュレーション *
- LIPSユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - フォントリスト
  - オーバレイリスト
  - マクロリスト
  - フォームリスト
  - オーバレイプリント
  - カラーサンプル
- ESC/Pユーティリティ *
  - ステータスプリント
- フォントリスト
- テストプリント
- 標準N／Wプリント *
- 拡張 I／F プリント *
- HDユーティリティ *
  - フォーマット1
  - フォーマット2
- セキュアプリント *

給排紙選択メニュー

給排紙選択メニューの機能と操作→P.27
給排紙選択メニューの設定項目→P.110

- 給紙モード
  - 自動
  - カセット1 *
  - カセット2
  - カセット3 *
  - カセット4 *
  - ペーパーデッキ *
  - トレイ
- 排紙選択モード
  - 排紙トレイ
  - サブ排紙トレイ
  - 自動 *
  - ビン1排紙 *
  - ビン7排紙 *
  - 排紙トレイ *
  - ノンソートビン *
- 自動排紙モード *
  - ユーザセパレート
  - ソート
  - スタック
- ユーザセパレート *
  - 自動
  - 固定
- トレイ用紙サイズ
  - A4
  - A4R
  - B4
  - A3
  - LT
  - LTR
  - LG
  - LD
  - EX
  - フリー
  - ユーザペーパー
  - はがき
  - 封筒Y4
  - 封筒K2
  - A5
  - B5
- トレイ用紙タイプ
  - 普通紙
  - 厚紙
  - OHP
  - 光沢フィルム
  - フリー

両面メニュー

両面メニューの機能と操作→P.30
両面メニューの設定項目→P.115

- 片 面
- 両 面 *

「＊」印の設定値は、機種の違いやオプションの有無、他の設定項目の内容によって、表示されるときと表示されないときがあります。